

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 161

1	事業名	保健衛生一般管理事業	コード	01	04	01	01	02	-
2	担当部課	こども健康部	健康推進課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町職員
2	働きかける相手(対象)	町職員・関係機関
3	どのような状態に したいのか(意図)	関係機関と連携を図り、健康増進法、母子保健法、予防接種法等に基づく各種事業を円滑に実施します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	保健衛生一般管理事業		
		(1) いきいき東郷21推進協議会(2回) いきいき東郷21(第3次)の策定に資するため、「いきいき東郷21(第2次)」の目標値の評価、健康づくりに対するニーズ、実態、及び健康課題を的確に把握する目的でアンケートを実施しました。いきいき東郷21推進協議会においてアンケート内容の検討及び各団体に対するヒアリングを行いました。 (2) 献血活動 町献血推進協議会に補助金を交付しました。(献血回数5回、献血者数146人) (3) 骨髄ドナー助成事業 助成対象者 0人 (4) 災害時に備えた保健活動 ア 1月27日に県と協働で保健師災害初動時体制構築訓練を実施しました。 イ 災害時の保健活動に必要な物品の使用期限の確認を行いました。 ウ 広域災害・救急医療情報システム(EMIS)の入力訓練を実施しました。 エ 医療救護所の設置・運営及び被災者への健康支援活動について非常時優先業務対応マニュアルの更新を行いました。 (5) 会議の参加 ア 尾張東部医療圏域保健医療福祉推進会議(書面会議) 1人 イ 尾張東部地域救急医療対策連絡協議会 2人 ウ 愛知県市町村保健師協議会(書面会議) 1人 エ 健康寿命延伸都市協議会(ウェブ会議) 1人 オ 瀬戸保健所栄養士総会等栄養及び栄養士に関する会議 2人 カ 東名古屋保健連絡協議会事務担当者会議 8人 キ あいち医療通訳システム推進協議会 1人 ク いこまい会議 70人 (5)の合計86人 (6) 研修 感染症、健康増進、母子保健、栄養、歯科、災害及び保健師のスキルアップ等の研修に参加しました。 25人 (5)+(6)=111人		

5	活動指標	指標名	会議及び研修に参加した延べ人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			指標の説明 (指標式)	令和元年度	人 171.00	人	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	人 68.00	人	
				令和3年度	人 113.00	人	
				令和4年度	人 111.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	3,600,086 円	決算額	4,288,768 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	3,600,086	4,288,768	119.1 %	4,974,000
	一般財源②	3,600,086	4,288,768	119.1 %	4,725,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	249,000
	概算人件費⑤	6,270,133	8,656,864	138.1 %	
	総合計(①+⑤)	9,870,219	12,945,632	131.2 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	9,870,219	12,945,632	131.2 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	87,347	116,627	133.5 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	非常時優先業務の対応業務マニュアルの見直しを行いました。 いきいき東郷21推進協議会でいきいき東郷21(第3次)策定のためのアンケート内容について検討し、乳幼児を持つ保護者、小学生、16歳～64歳の住民及び65歳以上の住民に分けてアンケートを実施しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	第6次総合計画及び健康づくり・食育推進計画「いきいき東郷21(第2次)」の取組を推進するため、町民のみならず、関係機関・団体や行政の役割を明らかにするとともに、相互に連携していく必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	健康づくり・食育推進計画「いきいき東郷21(第3次)」を策定します。 また、がん治療による外見変貌を補完する医療用補整具購入に係る経済的負担の軽減を図るため、がん患者アピアランスケア支援事業を開始します。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	現状として40歳未満のがん患者が在宅サービスを利用する際には介護保険が適用されず、全額自己負担となっています。若年のがん患者の在宅における療養生活を支援し、患者及びその家族の経済的負担軽減を図るため、若年がん患者在宅療養支援事業を実施します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	令和5年度は、健康づくり・食育推進計画「いきいき東郷21(第3次)」の策定年度となっています。令和4年度には実態把握のためアンケート調査を行ってまいります。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 162

1	事業名	後期高齢者長寿健診等事業	コード	01	03	01	03	10	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	① 疾病予防・健康増進の推進						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	後期高齢者医療被保険者
2	働きかける相手(対象)	後期高齢者医療被保険者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	生活習慣病またはフレイルを早期に発見することにより、適切な医療につなげて疾病予防、重症化予防及び健康寿命の延伸を図り、将来的な医療費抑制を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	後期高齢者長寿健診等事業 後期高齢者医療制度に加入している被保険者に対して、個別健診による長寿健診及び健康状態の把握を行いました。 (1) 長寿健診 町内15医療機関において令和4年5月1日～11月30日の期間で実施しました。 長寿健診対象者数 5,278人 受診者 2,447人 受診率 46.4% (2) 未受診者に対する受診勧奨 令和4年8月の時点で、長寿健診の未受診者に対し、受診勧奨ハガキを作成し送付しました。 4,039人 (3) 高齢者の健康状態の把握 名古屋大学との共同事業として「東郷いきいき度チェック」を実施しました。参加者 575人 通いの場におけるフレイルチェックを実施しました。実施者432人(29箇所) (4) オーラルフレイル予防教室 口腔機能低下が疑われる高齢者に対し、歯科医師、歯科衛生士、音楽療法士、健康運動指導士を講師とした教室を開催し、講話、口腔評価、嚥下体操、口腔ケア指導等を行いました。参加者 12人	
---	-----------------------	---	--

5	指標名	受診者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	人 1,869.00	人	個別計画による目標値はありません。
活動指標 (指標式)	指標の説明	長寿健診受診者数	令和2年度	人 2,200.00	人	
			令和3年度	人 2,317.00	人	
			令和4年度	人 2,447.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	22,619,714 円	決算額	24,947,745 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	22,619,714	24,947,745	110.3 %	27,292,000
	一般財源②	1,351,728	1,723,596	127.5 %	27,292,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	21,267,986	23,224,149	109.2 %	0
	概算人件費⑤	9,105,064	9,604,776	105.5 %	
	総合計(①+⑤)	31,724,778	34,552,521	108.9 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	10,456,792	11,328,372	108.3 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	4,513	4,629	102.6 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	長寿健診の対象者と受診者が増加したため、町費投入額が増加しました。 歯科医師会及び歯科衛生士会と連携して、オーラルフレイル予防を目的とした教室を開催しました。 長寿健診の未受診者に対し、受診勧奨を実施したため、活動指標が向上しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	超高齢社会において、医療費の適正化を図るため、高齢者自身が健康維持に取り組めるよう、情報発信やリスクの早期発見、生活習慣病重症化対策に取り組む必要があります。 高齢者の保健事業と介護予防事業の一体化実施において、フレイルチェック、オーラルフレイル予防教室、名古屋大学共同事業「東郷いきいき度チェック」等を行うことで、フレイルリスクがある人を発見し、改善に向けての生活指導を行い、必要な人には教室参加を促すなど健康維持へ向けた対策強化が必要です。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	東郷町・名古屋大学共同事業講演会を開催し、研究内容の結果や健康寿命延伸に向けた生活習慣を伝え、高齢者の健康づくりに役立てます。 また、長寿健診受診者のうち、生活習慣病重症化予防事業として、低栄養の疑いや腎臓機能低下の進行がある人への栄養相談を実施します。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	後期高齢者の保健事業について、近隣市の状況を踏まえ検討していきます。 引き続き、長寿健診の健診結果や医療費レセプト等により健康課題を把握し、実施した保健事業について評価を行い、更に対象者の健康維持増進に繋がる教室を計画実施します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	名古屋大学共同事業「東郷いきいき度チェック」の案内を効果的な方法で行うことで、参加者の増加を図ります。 歯科医師会及び歯科衛生士会と連携して、オーラルフレイル予防を目的とした教室を実施します。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 163

1	事業名	福祉医療一般管理事業	コード	01	03	01	03	02	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	福祉医療費受給者
2	働きかける相手(対象)	職員、臨時職員、国民健康保険団体連合会等
3	どのような状態にしたいのか(意図)	福祉医療事務等を確実に処理するとともに、福祉医療費の適正化を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 福祉医療一般管理事業 医療機関から提出されたレセプト（診療報酬明細書）を点検し、医療費請求の適正化を図りました。
		2 福祉医療費支払等事務事業 子ども、障がい者、精神障がい者、母子・父子等の診療に係る医療費審査支払委託料及び医療機関事務費支払手数料等を支出しました。

5	活動指標	指標名	福祉医療費審査委託件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
				令和元年度	186,750.00 件	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)	令和2年度	158,497.00 件		
			令和3年度	170,063.00 件		
			令和4年度	174,613.00 件		

6	直接事業費計	前年度決算額	17,881,360 円	決算額	17,106,408 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	17,881,360	17,106,408	95.7 %	6,217,000
	一般財源②	16,392,360	15,585,408	95.1 %	4,579,500
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	1,489,000	1,521,000	102.1 %	1,637,500
	概算人件費⑤	5,621,388	3,730,780	66.4 %	
	総合計(①+⑤)	23,502,748	20,837,188	88.7 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	22,013,748	19,316,188	87.7 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	129	111	86.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	交付金等返還金の減額により直接事業費が減少しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	福祉医療費等のレセプト点検により医療費請求の適正化を図るとともに、広報紙や町ホームページ等で、適正な医療機関への受診を周知していく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	特にありません。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 164

1	事業名	自立支援医療費事業	コード	01	03	01	03	07	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	更生医療受給者、育成医療受給者
2	働きかける相手(対象)	医療機関、国民健康保険団体連合会、社会保険診療報酬支払基金
3	どのような状態にしたいのか(意図)	身体障がい者の身体機能の回復を図るために必要となる医療費の負担を軽減し、安心して医療を受けられるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>1 更生医療扶助事業 身体障がい者の身体機能の回復を図るために必要となる医療費に係る自己負担分の支給を行いました。 なお、対象者は、視覚、聴覚、言語、心臓、腎臓、小腸、免疫障がい及び肢体不自由の方です。</p> <p>2 育成医療費扶助事業 満18歳に満たない障がい児で、その身体障がいを除去、軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる者に対してその医療に係る自己負担分の支給を行いました。</p>	
---	-----------------------	--	--

5	指標名	更生医療扶助料受給者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	人 119.00	人 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	令和2年度	人 133.00	人	
		令和3年度	人 126.00	人	
		令和4年度	人 130.00	人	
6	直接事業費計	前年度決算額	25,216,743 円	決算額	19,352,286 円

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	25,216,743	19,352,286	76.7 %	19,740,000
	一般財源②	982,464	-2,112,714	-215.0 %	4,935,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	24,234,279	21,465,000	88.6 %	14,805,000
	概算人件費⑤	4,196,248	4,286,428	102.1 %	
	総合計(①+⑤)	29,412,991	23,638,714	80.4 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	5,178,712	2,173,714	42.0 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	41,101	16,721	40.7 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	受給者は増加しましたが公費負担額が減少したため、直接事業費が減少しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	障害者自立支援法等による公費負担医療であり、身体障がい者の機能回復のための医療給付を適正に行うため、受給者に制度周知を図るとともに、更新事務を確実に進めていく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	特にありません。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 165

1	事業名	未熟児養育医療費事業	コード	01	03	01	03	09	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	未熟児養育医療受給者
2	働きかける相手(対象)	医療機関、国民健康保険団体連合会、社会保険診療報酬支払基金
3	どのような状態にしたいのか(意図)	出生時の体重が2,000g以下の未熟児に対する医療費等を助成することで、経済的負担の軽減を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	未熟児養育医療費事業 出生時の体重が2,000g以下の未熟児に対する入院医療費等に係る自己負担分の支給を行いました。	

5	活動指標 指標の説明 (指標式)	未熟児養育医療扶助料受給者	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		権限移譲による平成25年度からの新規事業	令和元年度	9.00	人	個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	17.00	人	
			令和3年度	11.00	人	
			令和4年度	10.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	4,113,792 円	決算額	2,510,051 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	4,113,792	2,510,051	61.0 %	3,300,000
	一般財源②	112,397	598,779	532.7 %	633,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	4,001,395	1,911,272	47.8 %	2,667,000
	概算人件費⑤	1,029,268	873,161	84.8 %	
	総合計(①+⑤)	5,143,060	3,383,212	65.8 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	1,141,665	1,471,940	128.9 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	103,788	147,194	141.8 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	受給者が減少したことにより、直接事業費が減少しました。 また、徴収金について、保護者からの委任により、子ども医療費から直接支払ができるように要領を改正しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	所得に応じた徴収金があることや、子ども医療から徴収金を直接払うことができることなど、制度をさらに周知する必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	所得に応じた徴収金を子ども医療費から充当できるように実施していきます。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	所得に応じた徴収金を子ども医療費から充当できるように実施していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	徴収金について、保護者からの委任により、子ども医療費から直接支払ができるように規則等を改正します。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 166

1	事業名	医師会・歯科医師会関係事業	コード	01	04	01	01	03	-
2	担当部課	こども健康部	健康推進課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	医師会・歯科医師会
3	どのような状態に したいのか(意図)	町と医師会及び歯科医師会との連携を図り、保健事業を円滑に実施します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	医師会・歯科医師会関係事業 町民の健康保持と保健衛生業務を円滑に運営することを目的として、東名古屋東郷町医師会及び愛豊歯科医師会東郷支部に対し、助成金を交付しました。 また、医師及び歯科医師との連絡調整のため、医師連絡会及び歯科医師連絡会（情報提供）を開催しました。 (1) 医師会（医師27人） 助成額 400,000円 ア 簡易的救急セットの購入 各医療機関にて予防接種後のアナフィラキシー等の急変に対応できるよう簡易的な救急セットを購入しました。 イ 医師会講演会 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 ウ 医師連絡会 4回開催 (2) 歯科医師会（歯科医師18人） 助成額 292,000円 ア 8020・8820運動表彰 愛豊歯科医師会に加入するかかりつけ医にて表彰を行いました。 8020表彰 100人 8820表彰 16人 イ 歯科医師連絡会 2回開催 (3) あいち医療通訳システム 愛知県で実施している外国人県民と医療機関の言葉の壁をなくすための通訳派遣及び電話通訳等のシステムに対し助成を行いました。 東郷町利用数 2人	
---	-----------------------	--	--

5	活動指標	指標名	医師・歯科医師連絡会の開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			指標の説明 (指標式)	令和元年度	6.00	回
		令和2年度		1.00	回	
		令和3年度		3.00	回	
		令和4年度		6.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	1,043,803 円	決算額	1,154,974 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	1,043,803	1,154,974	110.7 %	1,233,000
	一般財源②	1,043,803	1,154,974	110.7 %	1,233,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	2,704,642	1,577,117	58.3 %	
	総合計(①+⑤)	3,748,445	2,732,091	72.9 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	3,748,445	2,732,091	72.9 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,249,482	455,348	36.4 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	新型コロナウイルス感染症の影響により医師会講演会を中止しました。また、医師連絡会及び歯科医師連絡会については、定期開催にこだわらず感染状況から判断し、随時情報提供するよう努めました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	住民の健康保持及び保健衛生業務を円滑に推進していくため、町と医師会及び歯科医師会との相互の連携を密に図りながら、事業を進める必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	引き続き、医師会及び歯科医師会と連携・協議して事業を進めていきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 167

1	事業名	国民健康保険一般管理事業	コード	03	01	01	01	01	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	国民健康保険被保険者
2	働きかける相手(対象)	国民健康保険被保険者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	国民健康保険事務を適正かつ円滑に処理するとともに、国民健康保険医療費の適正化を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	国民健康保険一般管理事業 一般事務補助、レセプト点検事務に係る会計年度任用職員報酬、保険証等印刷費、各種通知書郵送料、電算システム改修委託料・電算システム保守委託料を支出しました。		

5	活動指標	指標名	国民健康保険被保険者数 (年度末)	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	7,597.00 件	件	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	7,457.00 件	件	
				令和3年度	7,300.00 件	件	
				令和4年度	6,886.00 件	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	10,683,643 円	決算額	14,962,213 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	10,683,643	14,962,213	140.0 %	8,894,000
	一般財源②	0	0	0.0 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	10,683,643	14,962,213	140.0 %	8,894,000
	概算人件費⑤	5,146,341	7,540,939	146.5 %	
	総合計(①+⑤)	15,829,984	22,503,152	142.2 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	5,146,341	7,540,939	146.5 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	705	1,095	155.3 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	保険証の更新年度であったことや未就学児に係る均等割額減額措置に伴うシステム改修などにより直接事業費が増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	被保険者数が減少している中、安定した運営を行うため、引き続き、業務の効率化を図り、制度改正によるシステム改修を適宜実施していく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	安定した運営を行うため、引き続き、業務の効率化を図り、制度改正によるシステム改修を適宜実施していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 168

1	事業名	国民健康保険団体連合会負担金事業	コード	03	01	01	02	01	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	国民健康保険被保険者
2	働きかける相手(対象)	国民健康保険団体連合会等
3	どのような状態にしたいのか(意図)	国民健康保険事務を適正かつ円滑に処理するとともに、国民健康保険医療費の適正化を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	国民健康保険団体連合会負担金事業 愛知県国民健康保険団体連合会へ一般負担金、共同電算処理システム負担金、レセプト点検記録支払共同処理委託料、保険給付等通知書作成委託料を支出しました。	

5	指標名	年間レセプト(診療報酬明細書)件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	140,100.00	件
令和2年度	127,168.00	件	件		
令和3年度	132,453.00	件	件		
令和4年度	129,329.00	件	件		

6	直接事業費計	前年度決算額	3,378,193 円	決算額	3,333,964 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	3,378,193	3,333,964	98.7 %	3,665,000
	一般財源②	3,378,193	3,333,964	98.7 %	3,665,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	237,523	396,891	167.1 %	
	総合計(①+⑤)	3,615,716	3,730,855	103.2 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	3,615,716	3,730,855	103.2 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	27	29	107.4 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	被保険者数の減少により活動指標が低下しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	医療費適正化のため愛知県国民健康保険団体連合会と調整していく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	医療費の適正化に努めます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 169

1	事業名	国民健康保険運営協議会事業	コード	03	01	03	01	01	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	国民健康保険被保険者
2	働きかける相手(対象)	国民健康保険運営協議会委員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	国民健康保険法第11条の規定に基づく国民健康保険運営協議会を適正に開催するとともに、国民健康保険事業が健全かつ円滑に運営されるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	国民健康保険運営協議会事業 国民健康保険運営協議会を開催しました。 (1) 開催回数 3回(7月20日、12月19日、2月1日) (2) 委員数 9名(公益代表3名、保険医・保険薬剤師代表3名、被保険者代表3名) (3) 任期 令和4年5月1日～令和7年4月30日(3年間)			
		国民健康保険運営協議会事業 国民健康保険運営協議会を開催しました。 (1) 開催回数 3回(7月20日、12月19日、2月1日) (2) 委員数 9名(公益代表3名、保険医・保険薬剤師代表3名、被保険者代表3名) (3) 任期 令和4年5月1日～令和7年4月30日(3年間)			

5	活動指標	指標名	運営協議会開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			指標の説明 (指標式)	令和元年度	4.00	回	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	4.00	回	
				令和3年度	3.00	回	
				令和4年度	3.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	151,780 円	決算額	151,945 円
---	--------	--------	-----------	-----	-----------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	151,780	151,945	100.1 %	179,000
	一般財源②	151,780	151,945	100.1 %	179,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	1,662,664	2,381,349	143.2 %	
	総合計(①+⑤)	1,814,444	2,533,294	139.6 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	1,814,444	2,533,294	139.6 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	604,815	844,431	139.6 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	税制改正の報告、国民健康保険税率等の改正及び一般会計からの法定外繰入金の削減等について継続して説明していく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	国民健康保険の運営が滞ることのないよう努めます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 170

1	事業名	国民健康保険財政調整基金積立金事業	コード	03	05	01	01	01	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	国民健康保険被保険者
2	働きかける相手(対象)	国民健康保険財政調整基金
3	どのような状態にしたいのか(意図)	国民健康保険特別会計の健全かつ安定的な財政運営を確保します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	国民健康保険財政調整基金積立金事業	
		(1) 東郷町国民健康保険財政調整基金の設置及び管理に関する条例に基づく国民健康保険財政調整基金を積み立てました。 (2) 基金残高 ア 令和3年度末残高 92,854,362円 イ 令和4年度中増減 (ア) 予算積立 31,555,251円 (イ) 利子積立 20,473円 (ウ) 取崩し 38,055,000円 ウ 令和4年度末残高 86,375,086円	

5	指標名	財政調整基金残高	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	円 82,571,580.00	円 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	年度末基金残高	令和2年度	円 91,136,131.00	円
			令和3年度	円 92,854,362.00	円
			令和4年度	円 86,375,086.00	円
6	直接事業費計	前年度決算額	42,394,231 円	決算額	31,575,724 円

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	42,394,231	31,575,724	74.5 %	1,000
	一般財源②	42,394,231	31,575,724	74.5 %	1,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	158,349	635,027	401.0 %	
	総合計(①+⑤)	42,552,580	32,210,751	75.7 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	42,552,580	32,210,751	75.7 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	決算剰余金の減少により直接事業費が減少しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	国民健康保険特別会計の健全かつ安定的な財政運営を確保することが必要です。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	国民健康保険特別会計の健全かつ安定的な財政運営に努めます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 171

1	事業名	延滞金事業	コード	03	06	02	01	01	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	国、県、国民健康保険団体連合会、社会保険診療報酬支払基金
2	働きかける相手(対象)	国、県、国民健康保険団体連合会、社会保険診療報酬支払基金
3	どのような状態にしたいのか(意図)	保険給付の支払い遅延における延滞金を適正に執行します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	延滞金事業 保険給付の支払いが遅延した場合に延滞金を支出します。(当該年度については、支出はありませんでした。)	

5	指標名	延滞件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	0.00	件 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	令和2年度	0.00	件	
		令和3年度	0.00	件	
		令和4年度	0.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円
---	--------	--------	-----	-----	-----

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	0	0	0.0 %	1,000
	一般財源②	0	0	0.0 %	1,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	0	0	0.0 %	
	総合計(①+⑤)	0	0	0.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	0	0	0.0 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	保険給付に係る事務を適切に実施し、保険給付の支払い期日を遵守することで、延滞金を生じさせないように努める必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	保険給付の支払い遅延における延滞金を適正に執行します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 172

1	事業名	診療所一般管理事業	コード	05	01	01	01	02	-
2	担当部課	こども健康部	東郷診療所						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	職員及び外来患者
2	働きかける相手(対象)	診療所施設及び業者、医師会等
3	どのような状態にしたいのか(意図)	医療事務に関する必要な知識を身に付けるとともに、医療事務が円滑かつ効率的に運営できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	診療所一般事務事業 受付及び医療費請求事務を医療事務の専門業者に委託し、業務の効率化を図りました。 また、医学の急速な進歩に対応するため、研修会、学術書、専門機関のホームページ等を通じ情報収集や専門知識の習得に努めました。 (1) 医師会及び看護協会への加盟 医師会及び看護協会が主催する会議や研修会へ参加することなどにより、医療に関する社会の動き、医療及び看護の知識・技術の習得を行いました。(オンライン6回、セミナー動画視聴2回) (2) 事務臨時職員の任用 事務補助のための会計年度任用職員1名を任用しました。 (3) 医療受付事務 ア 医療受付事務を専門業者に委託し、専門かつ丁寧な受付や正確かつ適正な診療報酬請求に努めました。 (4) 医療従事者への予防接種等 医療業務に従事する医師、看護師等へのインフルエンザ予防接種やHBS抗原・抗体検査等、放射線被ばく測定を実施しました。 (5) 消費税の納付 人間ドック及び予防接種料等の収入(診療報酬を除く。)に対する令和3年度分消費税(確定納付)、令和4年度分消費税(中間納付)を支出しました。 (6) 往診車両の管理 往診で使用する普通自動車の維持管理を行いました。 (7) 東郷町災害時医療救護活動マニュアルに基づき、令和4年8月26日、令和5年3月24日に2回の訓練を実施しました。		
---	-----------------------	---	--	--

5	指標名	医師会学会、看護師研修参加回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	8.00	回
	令和2年度	5.00	回		
	令和3年度	8.00	回		
	令和4年度	8.00	回		
活動指標	指標の説明(指標式)				

6	直接事業費計	前年度決算額	12,730,105 円	決算額	13,948,715 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	12,730,105	13,948,715	109.6 %	17,459,000
	一般財源②	12,239,265	13,825,255	113.0 %	17,398,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	490,840	123,460	25.2 %	61,000
	概算人件費⑤	10,904,683	10,625,289	97.4 %	
	総合計(①+⑤)	23,634,788	24,574,004	104.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	23,143,948	24,450,544	105.6 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,892,994	3,056,318	105.6 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	インボイス制度に対応するため、適格請求書発行事業者の登録を完了しました。尾三消防本部と連携し通報訓練を実施しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	各職員が常に来院者、往診患者等の方へのサービス向上意識をもって業務を行い、適正な診療、環境整備に取り組みます。また、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症対策等、町民の方の健康を守るため迅速に対応することが求められています。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	消費税のインボイス制度開始に向け、円滑に制度に対応できるよう準備を進めます。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	今後も信頼される診療所であるために、サービス向上意識を持ち、安定経営を目指します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	消費税のインボイス制度開始に向け、円滑に制度に対応できるよう準備を進めます。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 173

1	事業名	診療所運営委員会運営事業	コード	05	01	02	01	01	-
2	担当部課	こども健康部	東郷診療所						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	地域住民及び外来患者
2	働きかける相手(対象)	東郷診療所運営委員会
3	どのような状態にしたいのか(意図)	診療所運営委員会を適正に開催するとともに、診療所事業が適正かつ円滑に運営できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	診療所運営委員会運営事業 東郷町国民健康保険東郷診療所運営委員会規則に基づき、東郷診療所運営委員会を開催し、診療所の運営に関する重要な事項について審議しました。 (1) 開催回数 2回(令和4年7月29日、令和5年2月7日) (2) 委員数 9名(公益代表3名、学識経験者3名、住民代表3名) (3) 任期 令和4年4月1日から令和7年3月31日まで	

5	指標名	運営委員会開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	回 2.00	回 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	令和2年度	回 2.00	回	
		令和3年度	回 2.00	回	
		令和4年度	回 2.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	117,933 円	決算額	112,405 円
---	--------	--------	-----------	-----	-----------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの 推移	直接事業費①(②+③+④)	117,933	112,405	95.3 %	120,000
	一般財源②	117,933	112,405	95.3 %	120,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	2,197,843	2,175,255	99.0 %	
	総合計(①+⑤)	2,315,776	2,287,660	98.8 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	2,315,776	2,287,660	98.8 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,157,888	1,143,830	98.8 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	東郷診療所運営委員会を適正に開催し、東郷診療所の予算・決算等診療所運営に関する重要事項を審議します。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	引き続き、診療所運営委員会を適正に開催するとともに、診療所事業が適正かつ円滑に運営できるようにします。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 174

1	事業名	診療所管理事業	コード	05	03	01	01	01	-
2	担当部課	こども健康部	東郷診療所						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	診療の必要がある人、町民、職員等
2	働きかける相手(対象)	東郷診療所施設設備、職員等
3	どのような状態にしたいのか(意図)	施設の機能を適正に維持することで、快適な診療環境を提供します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	診療所管理事業 (1) 快適な診療環境を保つため、施設の日常的な清掃、受水槽清掃、消防設備保守点検、空調設備保守点検、自家用電気工作物保守点検、自動ドア保守点検、機械警備及び樹木剪定の業務を委託しました。 (2) 施設整備費 ア 給水ポンプユニットの修繕を行いました。 イ 屋外案内看板の修繕を行いました。 ウ 待合室ガラスの修繕を行いました。	

5	指標名	施設管理委託業務数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	7.00	件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	保守点検や維持管理について業者委託している件数	令和2年度	8.00	件	
			令和3年度	8.00	件	
			令和4年度	8.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	3,158,803 円	決算額	2,867,861 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	3,158,803	2,867,861	90.8 %	3,838,000
	一般財源②	3,158,803	2,744,441	86.9 %	3,699,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	123,420	0.0 %	139,000
	概算人件費⑤	3,296,765	3,179,220	96.4 %	
	総合計(①+⑤)	6,455,568	6,047,081	93.7 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	6,455,568	5,923,661	91.8 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	806,946	740,458	91.8 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	施設設備修繕料の減少により、事業費が減少しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	東郷診療所を受診される外来患者の皆様が快適に診察できるよう、診療所施設の安全や衛生面に配慮しつつ適正に維持管理をしていきます。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	老朽化した空調設備や給水ポンプ等の予防修繕を行うことで、快適で安全な院内環境を維持していきます。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、職員や住民の方が安全に利用できるよう保守点検や修繕など適正な維持管理をしていきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	老朽化した設備の予防修繕を行うことで、快適で安全な院内環境を維持していきます。

内部事務評価表（ 令和4年度 ）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 175

1	事業名	東郷診療所財政調整基金積立金事業	コード	05	05	01	01	01	-
2	担当部課	こども健康部	東郷診療所						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	診療の必要がある人
2	働きかける相手(対象)	東郷診療所財政調整基金
3	どのような状態に したいのか(意図)	診療所の財政運営安定化のため、東郷町国民健康保険東郷診療所財政調整基金の設置及び管理に関する条例に基づき積み立てを行います。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	東郷診療所財政調整基金積立金事業	
		(1) 財政運営安定のため東郷町国民健康保険東郷診療所財政調整基金に積立を行いました。	
		(2) 基金残高	
		ア 令和3年度末残高	76,646,632円
		イ 令和4年度中増減	
		(ア) 決算積立	23,425,449円
		(イ) 利子積立	36,336円
		(ウ) 取崩し	4,065,000円
		ウ 令和4年度末残高	96,043,417円

5	指標名	財政調整基金残高	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	円 78,109,116.00	円 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	年度末基金残高	令和2年度	円 71,071,735.00	円
			令和3年度	円 76,646,632.00	円
			令和4年度	円 96,043,417.00	円

6	直接事業費計	前年度決算額	31,765 円	決算額	36,336 円
---	--------	--------	----------	-----	----------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	31,765	36,336	114.4 %	1,000
	一般財源②	31,765	36,336	114.4 %	1,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	253,598	250,992	99.0 %	
	総合計(①+⑤)	285,363	287,328	100.7 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	285,363	287,328	100.7 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	診療所を安定的に運営していくために、基金への積み立てが必要です。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	引き続き、条例に基づき積み立てを行います。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 176

1	事業名	後期高齢者医療一般管理事業	コード	10	01	01	01	01	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	後期高齢者医療被保険者
2	働きかける相手(対象)	後期高齢者医療被保険者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	後期高齢者医療被保険者に対して適正かつ円滑な医療制度が受けられるよう、後期高齢者医療事務を効率的に運営します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	後期高齢者医療一般管理事業	
		(1) 被保険者証を7月と9月に一斉更新しました。 (2) 7月に保険料決定通知書を送付しました。また、75歳年齢到達者等に対しては、年齢到達月の2か月後に決定通知書を送付しました。 (3) 確定申告に使用する保険料支払い証明書(後期高齢者医療分)を郵送しました。 (4) 制度の周知と収納率の向上のため、新規年齢到達者等に対して、口座振替依頼書を送付しました。 (5) 広報紙への掲載・広報活動 ア 協定保養所の利用助成(4月号) イ 保険料率の改定及び被保険者証の一斉更新(7月号) ウ 新型コロナウイルス感染症による保険料の減免(7月号) エ 新型コロナウイルス感染症による傷病手当金の支給(11月号)	

5	活動指標	指標名	広報紙への啓発記事掲載回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	3.00	回	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	6.00	回	
				令和3年度	4.00	回	
				令和4年度	4.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	3,747,475 円	決算額	5,645,009 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	3,747,475	5,645,009	150.6 %	4,589,000
	一般財源②	3,747,475	3,832,009	102.3 %	4,589,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	1,813,000	0.0 %	0
	概算人件費⑤	5,304,690	4,207,051	79.3 %	
	総合計(①+⑤)	9,052,165	9,852,060	108.8 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	9,052,165	8,039,060	88.8 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,263,041	2,009,765	88.8 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	2割負担導入に伴う保険証更新に係る郵送料が生じたため、直接事業費が増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	被保険者が制度を理解しやすいよう丁寧な説明を心がけるとともに、広報紙や町ホームページを活用して周知を図っていく必要があります。 また、収納率向上のため、的確な滞納整理業務を行っていく必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	収納課による債権一元化に向け、収納滞納業務の整理を行います。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	収納課による債権一元化により、収納滞納業務が滞ることのないよう、相互に連携を図っていきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 177

1	事業名	社会福祉一般管理事業	コード	01	03	01	01	02	-
2	担当部課	福祉部	福祉課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	02 地域福祉を充実する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	福祉サービス対象者とその家族
2	働きかける相手(対象)	福祉サービス対象者
3	どのような状態に したいのか(意図)	社会福祉事業を円滑に実施するため全般的な庶務業務を行うとともに、適切な福祉サービスを受けられるよう福祉関係の分かりやすい情報を多くの方が入手できるようにします。また、障がいに対する理解や社会福祉活動に関心を持つ人が増えるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 福祉一般事務費 生活に困窮する町民に対し、その困窮の程度に応じ、自立を促すため必要な相談・支援を行いました。 生活困窮等に関する相談件数 50件
		2 障がい者福祉一般事務費 (1) 町民の福祉に関する情報を提供するため「福祉のしおり」を作成し、障がい者手帳新規交付者及び希望者に配布するとともに、ホームページに掲載しました。 (2) 障害者差別解消法に関する研修 障害者差別解消法に関する研修 1回(対象者:新規採用職員) (3) 避難行動要支援者名簿の登録を窓口等で案内しました。 (4) 障がいのある方が切れ目のない支援を受けられることを目的に作成されたサポートブックを希望者に配布しました。 (5) 障がい者が周囲に支援を求めやすくするためにヘルプマーク及びヘルプカードの周知、頒布を行いました。
		3 社会福祉大会開催費 第38回東郷町社会福祉大会を東郷町社会福祉協議会と合同で開催し、東郷町社会福祉大会福祉事業功労者表彰要綱に基づき顕彰しました。 (1) 日時 令和4年11月6日(日) 午前10時から午前10時45分まで (2) 場所 町民会館 ホール (3) 顕彰 ア 町長表彰 3名、1団体 イ 町長感謝 9名、4団体 (4) 記念品 図書券

5	活動指標	指標名	生活困窮者に関する相談件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			指標の説明 (指標式)	令和元年度	件 55.00	件	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	件 78.00	件	
				令和3年度	件 53.00	件	
				令和4年度	件 50.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	152,221 円	決算額	1,190,455 円
---	--------	--------	-----------	-----	-------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	152,221	1,190,455	782.1 %	530,000
	一般財源②	139,298	1,180,455	847.4 %	468,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	12,923	10,000	77.4 %	62,000
	概算人件費⑤	12,471,095	8,817,127	70.7 %	
	総合計(①+⑤)	12,623,316	10,007,582	79.3 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	12,610,393	9,997,582	79.3 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	237,932	199,952	84.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	生活保護の他、町社会福祉協議会の総合支援資金や尾張福祉相談センターの困窮者自立支援事業に関する相談に対応しました。 障害者差別解消等に関する研修会を新規採用職員に対して実施しました。 障がいに対する理解が深まるよう、11月の文化産業まつり福祉ブースや12月の障害者週間には、役場1階の展示スペースにて啓発しました。また、災害時の支援活動をスムーズに行うため、災害バンドナを作成しました。 自殺予防対策に関する講座を民生委員・児童委員に対して実施しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	東郷町障がい者福祉ビジョンに基づき、障がいへの理解や地域共生について推進していくと共に、東郷町地域福祉グランドデザインにより地域福祉を推進し、安心して暮らせるまちを目指していく必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	包括的支援体制を構築するため、関係機関との連携を深めるよう協議をしていきます。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	障がいに対する理解促進が図られるよう、研修や講演会等を実施していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	避難行動要支援者名簿を活用しやすいものにするため、登録項目の見直しを行います。 障がいに対する理解を持つ人が増えるよう、11月の文化産業まつりの福祉ブース及び12月の障害者週間には役場1階の展示スペースにて、障がい理解の啓発コーナーを設けます。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 178

1	事業名	国民年金事業	コード	01	03	01	06	02	-
2	担当部課	福祉部	保険医療課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	02 地域福祉を充実する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	20歳到達者や資格の異動者等
2	働きかける相手(対象)	第1号被保険者（町内に住所を有する農業、自営業、学生などで20歳から60歳未満の人）
3	どのような状態にしたいのか(意図)	国民年金法及び国民年金市町村事務処理基準に基づく国民年金事務を適正に遂行し、将来の年金生活の向上が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	国民年金事業 国民年金市町村事務処理基準に基づく国民年金に関する事務を行い、日本年金機構へ進達しました。 (1) 資格の取得等各種届出の受理 (2) 転入、転出者の調査 (3) 保険料免除、学生納付特例申請、産前産後期間の保険料免除申請の受理 (4) 裁定請求その他給付に係る申請等の受理 (5) 20歳前障がい年金受給者の所得状況調査及び現況届の受付 (6) 年金に関する各種相談 (7) 年金生活者支援給付金に係る事務	

5	活動指標	指標名	第1号被保険者数（年度末）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
				令和元年度	人 4,285.00	人 個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	人 4,344.00	人
				令和3年度	人 4,299.00	人
				令和4年度	人 4,245.00	人

6	直接事業費計	前年度決算額	2,807,063 円	決算額	2,200,616 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	2,807,063	2,200,616	78.4 %	1,398,000
	一般財源②	-8,058,537	-7,282,528	90.4 %	-2,930,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	10,865,600	9,483,144	87.3 %	4,328,000
	概算人件費⑤	7,996,627	9,366,641	117.1 %	
	総合計(①+⑤)	10,803,690	11,567,257	107.1 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	-61,910	2,084,113	-3,366.4 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	-14	491	-3,507.1 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	国民年金の申請・相談に対応する会計年度任用職員の勤務体制を見直したことにより直接事業費が減少しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	年金制度についての周知を図りながら、窓口申請事務を滞りなく行う必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	国民年金法及び国民年金市町村事務処理基準に基づく国民年金事務を適正に遂行します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 179

1	事業名	地域福祉基金積立金事業	コード	01	13	01	05	01	-
2	担当部課	福祉部	福祉課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	02 地域福祉を充実する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	地域福祉基金
3	どのような状態に したいのか(意図)	地域福祉の推進に必要な財源を確保するため、東郷町地域福祉基金の設置及び管理に関する条例に基づき予算で定める額を積み立てます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	地域福祉基金積立事業	
		(1) 地域福祉基金利子積立金	0円
		(2) 基金残高	
		ア 令和3年度末残高	183,879円
		イ 令和4年度利子積立	0円
		ウ 令和4年度末残高	183,879円

5	指標名	利子積立額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	円 0.00	円 個別計画による目標値はありません。
	活動指標 指標の説明 (指標式)	令和2年度	円 0.00	円	
		令和3年度	円 0.00	円	
		令和4年度	円 0.00	円	

6	直接事業費計	前年度決算額	0円	決算額	0円
---	--------	--------	----	-----	----

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	0	0	0.0 %	1,000
	一般財源②	0	0	0.0 %	1,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	0	0	0.0 %	
	総合計(①+⑤)	0	0	0.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	0	0	0.0 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	東郷町地域福祉基金の設置及び管理に関する条例に定められた目的を鑑み、廃止も含めて今後の方向性について検討します。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度 (令和5年度) の改善内容	今後の方向性について検討します。
2 来年度 (令和6年度) 以降の方向性	今後の方向性について検討します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 180

1	事業名	災害救助事業	コード	01	03	03	01	01	-
2	担当部課	福祉部	福祉課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	02 地域福祉を充実する						
		施策の展開方向	① 地域福祉活動の推進						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	被災者
2	働きかける相手(対象)	被災者
3	どのような状態に したいのか(意図)	災害により被害を受けた町民の支援を迅速に行うことで、被災者の生活の安定が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	災害救助事業 災害救助は、ありませんでした。	

5	指標名	被災者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	人 0.00	人 個別計画による目標値はありません。
	活動指標 指標の説明 (指標式)	令和2年度	人 0.00	人	
		令和3年度	人 0.00	人	
		令和4年度	人 0.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円
---	--------	--------	-----	-----	-----

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	0	0	0.0 %	2,000
	一般財源②	0	0	0.0 %	2,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	0	0	0.0 %	
	総合計(①+⑤)	0	0	0.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	0	0	0.0 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	災害により、被害を受けた町民の支援を迅速に行うことで、被災者の生活の安定を図る必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	災害により、被害を受けた町民の支援を迅速に行うことで、被災者の生活の安定が図られるようにします。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 181

1	事業名	民生委員活動事業	コード	01	03	01	01	03	-
2	担当部課	福祉部	福祉課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	02 地域福祉を充実する						
		施策の展開方向	② 地域福祉推進体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	民生委員・児童委員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	民生委員・児童委員が地域住民の身近な相談相手となり、必要な支援を行えるようにします。また、福祉サービスに関する情報が提供され、対象者がサービスを利用できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	民生委員活動事業 (1) 民生委員・児童委員の主な活動 民生委員・児童委員は、子育てに関すること、高齢者に関すること、健康・医療に関すること等を始め、町民と行政のパイプ役や調整役を務めるなど地域に根ざした活動に取り組みました。 また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、ひとり暮らし高齢者等の見守りや声掛けなどの支援を行いました。 ア 民生委員・児童委員 47人（令和4年12月1日改選後） イ 内、主任児童委員 3人 (2) 民生委員児童委員協議会の主な活動 ア 毎月の定例会による情報交換（新型コロナウイルス感染症の影響により10回開催） イ ネットワーク会議の開催 ウ（生活福祉資金の説明、関係課の説明、ゲートキーパー養成講座、認知症サポーター養成講座） エ 保育園・児童館・小中学校の行事への参加（新型コロナウイルス感染症の影響により参加制限有） オ 社会を明るくする運動等への参加（新型コロナウイルス感染症の影響により参加制限有） カ 敬老訪問 9月12日（月）～23日（金） キ 文化産業まつり福祉ブースの出演 (3) 東郷町民生委員児童委員協議会の主な部会活動 ア 生活福祉部会（勉強会開催、新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛） イ 高齢者福祉部会（勉強会開催、新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛） ウ 児童福祉部会（勉強会開催、施設訪問、新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛） エ 障がい者福祉部会（勉強会開催、新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛） オ 全体 東郷町総合防災訓練（新型コロナウイルス感染症の影響により参加中止） 町社会福祉協議会主催「一人暮らし高齢者支援事業（講談会）」協力			
---	-----------------------	--	--	--	--

5	活動指標	指標名	民生委員活動延べ日数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
				令和元年度	日 5,731.00	日 個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	日 4,322.00	日
				令和3年度	日 4,571.00	日
				令和4年度	日 5,428.00	日
6	直接事業費計	前年度決算額	3,861,760 円	決算額	4,296,322 円	

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	3,861,760	4,296,322	111.3 %	5,128,000
	一般財源②	906,000	1,357,883	149.9 %	2,112,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	2,955,760	2,938,439	99.4 %	3,016,000
	概算人件費⑤	4,706,073	3,640,099	77.3 %	
	総合計(①+⑤)	8,567,833	7,936,421	92.6 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	5,612,073	4,997,982	89.1 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,228	921	75.0 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	コロナ禍と比較して状況が落ち着き、民生委員児童委員の参加する活動や研修が増えたため、活動指標が向上しました。 愛知県のオンライン研修に参加しやすいように、役場で受講出来る環境を提供し、自宅で受講する場合のオンライン会議への参加方法について学習の場を設けるなどの支援をしました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	委員には、困りごとを抱えた町民と関係機関とのパイプ役を担っていただくことが期待されていることから、関係機関との連携や各地区委員との交流の場である定例会を継続して開催するほか、勉強会や研修など、今後も委員活動を支援する必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	関係機関との連携を深めるため、ネットワーク会議を実施します。新任委員にも分かりやすいように会議内容については、役員会で協議します。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	役員会にて、内容を検討しながら、今後も委員活動を支援します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部活動の自粛が続きますが、民生委員児童委員の活動に役立つように研修の機会を設けます。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 182

1	事業名	福祉サービス支給決定等事業	コード	01	03	01	01	12	-
2	担当部課	福祉部	福祉課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03 障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	① 障がい者(児)福祉サービスの充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者
2	働きかける相手(対象)	介護給付を受けようとする障がい者及びその家族、主治医、認定審査会委員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	介護給付の必要性を表す障がい支援区分を認定し、障がい者が介護給付の必要度に応じて適切なサービスが利用できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 審査会運営事業 障がい支援区分を認定するため、5人の委員による障害支援区分等認定審査会を開催し、審査を実施しました。 (1) 審査会開催回数 10回 (2) 審査件数 57件(新規17件、更新34件、区分変更5件、利用延長確認1件) (3) 区分別内訳 区分1 1人 区分2 17人 区分3 15人 区分4 4人 区分5 9人 区分6 10人 判定なし 1人 計57件
		2 障がい支援区分認定調査事業 障がい支援区分の認定のため、調査員(福祉課保健師)が障がい者の家庭等を訪問し、心身の状況に関する106項目のアセスメントを実施し、障がい支援区分の一次判定を行いました。また、審査に必要な医師意見書の作成を医療機関に依頼しました。

5	活動指標	指標名	障がい者支援区分等認定審査会審査件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			指標の説明(指標式)	令和元年度	37.00	件	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	58.00	件	
				令和3年度	66.00	件	
				令和4年度	57.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	1,268,787 円	決算額	1,300,097 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	1,268,787	1,300,097	102.5 %	1,367,000
	一般財源②	1,268,787	1,300,097	102.5 %	1,367,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	3,451,120	3,559,208	103.1 %	
	総合計(①+⑤)	4,719,907	4,859,305	103.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	4,719,907	4,859,305	103.0 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	71,514	85,251	119.2 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	支援区分の審査件数が減少したため、活動指標が低下しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	支援区分の必要な障害福祉サービスの新規申請者や、継続して障害福祉サービスを利用するための支援区分更新申請者が、適切なサービス利用となるように努めます。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	今後も適正に支援区分の審査を実施していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 183

1	事業名	障がい者計画策定事業	コード	01	03	01	01	15	-
2	担当部課	福祉部	福祉課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03 障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	① 障がい者(児)福祉サービスの充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民
3	どのような状態に したいのか(意図)	障害者総合支援法に基づく「障がい者計画」を策定し、地域共生社会の実現に向けて障がい者施策の充実を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	障がい者計画策定事業 「第5次障がい者計画・第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画」を一体化した「東郷町障がい福祉ビジョン2021」の中間評価及び第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画策定の基礎資料とするためのアンケート調査、団体ヒアリング調査を実施しました。 (1) 策定委員会の開催（自立支援協議会を策定委員会として実施） ア 開催日 令和4年10月26日、令和5年2月3日 イ 策定委員 16名（障がい者団体、保健所、障害福祉サービス事業所等） (2) アンケート調査の実施 ア 実施日 令和5年2月28日から令和5年3月24日まで イ 対象者 障害福祉サービス事業所64事業所 ウ 調査方法 調査票への記入方式 (3) 団体ヒアリング調査の実施 ア 実施日 令和5年2月24日から令和5年3月13日まで イ 対象者 障がい者団体4団体、町民活動センター登録団体8団体、特別支援学校・特別支援学級12校 ウ 調査方法 調査票への記入方式 (4) アンケート及び団体ヒアリング調査の結果報告書の作成		
---	-----------------------	--	--	--

5	活動指標	指標名	策定委員会の開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
				令和元年度	2.00	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	4.00	
				令和3年度	1.00	
				令和4年度	2.00	

6	直接事業費計	前年度決算額	円	決算額	5,879 円
---	--------	--------	---	-----	---------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)		5,879	%	200,000
	一般財源②		5,879	%	200,000
	起債③		0	0.0 %	0
	その他④		0	0.0 %	0
	概算人件費⑤		970,639	%	
	総合計(①+⑤)		976,518	%	
	町費投入額(②+③+⑤)		976,518	%	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)		488,259	%	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	策定委員会を年2回開催したことから、活動指標が向上しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	「東郷町障がい福祉ビジョン2021」中間評価のためのアンケート調査及び団体ヒアリング調査を実施した結果を踏まえ、適切な中間評価のうえ、第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画を策定する必要があります。 令和8年度に「東郷町障がい福祉ビジョン2027」の策定を控え、引き続き自立支援協議会での地域課題の把握、共有に努める必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	第5次障がい者計画・第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画を一体化した「東郷町障がい福祉ビジョン2021」の中間評価及び第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画を策定します。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	第6次障がい者計画・第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画を一体化した「東郷町障がい福祉ビジョン2027」の策定準備として、令和7年度にアンケート調査、令和8年度に計画策定を行います。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容

内部事務評価表（ 令和4年度 ）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 184

1	事業名	小学校特別支援教育奨励事業	コード	01	10	02	02	03	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03 障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	① 障がい者(児)福祉サービスの充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	障がいのある児童の保護者
2	働きかける相手(対象)	障がいのある児童の保護者
3	どのような状態に したいのか(意図)	障がいのある児童の保護者の経済的負担の軽減を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	小学校特別支援教育奨励事業 特別支援学級に在籍する児童の保護者に対し、学校に係る経費の一部を支給しました。 (1) 支給人数 69人 (2) 支給費目 学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費 (3) 費目別支給金額 ア 学用品費 313,260円 イ 学校給食費 1,211,215円 ウ 新入学用品費 255,550円 エ 校外活動費 42,595円 オ 修学旅行費 84,940円	

5	活動指標	指標名	支給人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
				令和元年度	人 47.00	人
令和2年度	人 53.00	人				
令和3年度	人 57.00	人				
令和4年度	人 69.00	人				

6	直接事業費計	前年度決算額	1,674,301 円	決算額	1,907,560 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	1,674,301	1,907,560	113.9 %	2,136,000
	一般財源②	942,093	1,119,560	118.8 %	1,247,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	732,208	788,000	107.6 %	889,000
	概算人件費⑤	721,003	795,937	110.4 %	
	総合計(①+⑤)	2,395,304	2,703,497	112.9 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	1,663,096	1,915,497	115.2 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	29,177	27,761	95.1 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	支給対象人数が増加し、直接事業費が増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	制度について、適切に保護者に周知し、必要な給付を行う必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	障がいのある児童の保護者の経済的負担の軽減のため、今後も継続して実施していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 185

1	事業名	中学校特別支援教育奨励事業	コード	01	10	03	02	03	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03 障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	① 障がい者(児)福祉サービスの充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	障がいのある生徒の保護者
2	働きかける相手(対象)	障がいのある生徒の保護者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	障がいのある生徒の保護者の経済的負担の軽減を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	中学校特別支援教育奨励事業 特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対し、学校に係る経費の一部を支給しました。 (1) 支給人数 22人 (2) 支給費目 学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費 (3) 費目別支給金額 ア 学用品費 178,920円 イ 学校給食費 347,730円 ウ 新入学用品費 202,930円 エ 校外活動費 28,305円 オ 修学旅行費 128,696円	

5	指標名	支給人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	人 21.00	人	個別計画による目標値はありません。
令和2年度	人 23.00	人				
令和3年度	人 25.00	人				
令和4年度	人 22.00	人				
	指標の説明 (指標式)					

6	直接事業費計	前年度決算額	1,193,328 円	決算額	886,581 円
---	--------	--------	-------------	-----	-----------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	1,193,328	886,581	74.3 %	1,041,000
	一般財源②	635,536	531,581	83.6 %	588,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	557,792	355,000	63.6 %	453,000
	概算人件費⑤	721,003	795,937	110.4 %	
	総合計(①+⑤)	1,914,331	1,682,518	87.9 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	1,356,539	1,327,518	97.9 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	54,262	60,342	111.2 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	支給対象人数が減少したため、直接事業費が減少しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	制度について、適切に保護者に周知し、必要な給付を行う必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	障がいのある児童の保護者の経済的負担の軽減のため、今後も継続して実施していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 186

1	事業名	老人憩の家管理事業	コード	01	03	01	05	01	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	① 高齢者の社会参加と介護予防の推進						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	管理者（東郷町）
2	働きかける相手(対象)	老人憩の家の施設・設備
3	どのような状態にしたいのか(意図)	東郷町老人憩の家解体までの間、施設の維持管理を行います。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	老人憩の家管理事業 (1) 東郷町老人憩の家（令和4年7月解体） ア 警備業務（令和4年7月11日まで） イ 消防設備保守点検（令和4年7月14日まで）1回 (2) 西部老人憩の家 空調機が故障したため、現行の空調機を撤去し、新規で設置しました。	

5	指標名	老人憩の家開放日数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	日 0.00	日 個別計画による目標値はありません。
	活動指標 指標の説明 (指標式)	土、日、祝日及び年末年始を除く毎日	令和2年度	日 0.00	日
			令和3年度	日 0.00	日
			令和4年度	日 0.00	日
6	直接事業費計		前年度決算額	443,803 円	決算額

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	443,803	1,958,988	441.4 %	0
	一般財源②	443,803	1,958,988	441.4 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	1,035,577	2,368,818	228.7 %	
	総合計(①+⑤)	1,479,380	4,327,806	292.5 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	1,479,380	4,327,806	292.5 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	西部老人憩の家の空調機の故障に伴い、新規でエアコンを設置したことから、直接事業費が増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	老人クラブ活動を継続するため、新たな活動拠点施設を整備する必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	令和6年度に新たな老人クラブ活動拠点を開所し、高齢者の社会参加と介護予防を推進します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	老人憩の家を解体します。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 187

1	事業名	高齢者生きがい活動拠点施設管理事業	コード	01	03	01	05	02	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	① 高齢者の社会参加と介護予防の推進						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	シニアハウスを利用する高齢者
2	働きかける相手(対象)	シニアハウスの施設・整備
3	どのような状態にしたいのか(意図)	施設の機能を適正に維持管理することで、利用者が快適に利用できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	高齢者生きがい活動拠点施設管理事業 老人クラブの活動場所となるシニアハウスの施設管理を行いました。 (1) 利用者数 210人 (2) その他 ア シニアハウス消耗品購入 イ シニアハウス老人クラブ活動業務委託 通年 ウ 通信カラオケ装置賃貸借業務 1台	

5	指標名	シニアハウス利用者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	人 2,445.00	人 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	シニアハウスの年間利用者数(老人クラブ)	令和2年度	人 60.00	人
			令和3年度	人 120.00	人
			令和4年度	人 210.00	人

6	直接事業費計	前年度決算額	2,334,007 円	決算額	2,617,938 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	2,334,007	2,617,938	112.2 %	39,373,000
	一般財源②	2,334,007	2,617,938	112.2 %	6,273,000
	起債③	0	0	0.0 %	33,100,000
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	716,938	1,658,173	231.3 %	
	総合計(①+⑤)	3,050,945	4,276,111	140.2 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	3,050,945	4,276,111	140.2 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	25,425	20,362	80.1 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、施設利用の休止や利用人数及び利用方法の制限並びに老人クラブ活動自粛の影響により、活動指標が低い水準となっています。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	令和6年度に新たな老人クラブ活動拠点に機能を移転することから、シニアハウスの活用方法を検討する必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	高齢者の社会参加と介護予防を推進するため、旧和合保育園を活用して老人クラブの新たな活動拠点を整備します。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	令和6年度に新たな老人クラブ活動拠点を開所し、高齢者の社会参加と介護予防を推進します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	老人クラブの情報交換の場において、シニアハウスについて周知を徹底し、コロナ禍の状況でも可能な施設運営及び管理方法を検討します。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 188

1	事業名	老人福祉施設入所事業	コード	01	03	01	04	03	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	家庭環境や経済的理由により居宅での生活が困難な高齢者及びその家族
2	働きかける相手(対象)	家庭環境や経済的理由により居宅での生活が困難な高齢者及びその家族
3	どのような状態にしたいのか(意図)	老人福祉法に基づく入所措置を適正に行い、家庭環境や経済的理由により居宅での生活が困難になっても、高齢者が安心して生活を送ることができるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	老人福祉施設入所事業 (1) 入所判定事業 入所判定委員会の開催はありませんでした。 (2) 老人福祉施設入所措置事業 入所措置はありませんでした。		

5	指標名	養護老人ホーム措置者数 (実人数)	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	人 2.00	人	個別計画による目標値はありません。
活動指標 (指標式)	指標の説明	養護老人ホーム入所者数	令和2年度	人 1.00	人	
			令和3年度	人 1.00	人	
			令和4年度	人 0.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	48,403 円	決算額	0 円
---	--------	--------	----------	-----	-----

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	48,403	0	0.0 %	914,000
	一般財源②	24,326	0	0.0 %	914,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	24,077	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	4,301,627	0	0.0 %	
	総合計(①+⑤)	4,350,030	0	0.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	4,325,953	0	0.0 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	4,325,953	0	0.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	虐待等による保護措置案件が無かったため、町費投入額は発生しませんでした。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	今後も虐待等による保護措置の際には、法に基づき適正に対応していく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	虐待等による保護措置の必要性について、事例ごとに適正な判断ができるよう、機会を捉えて積極的に研修等へ参加し、対応力を高めていきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 189

1	事業名	介護保険特別対策事業	コード	01	03	01	08	02	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	要介護(要支援)者
2	働きかける相手(対象)	サービス事業者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	要介護(要支援)者の経済的な負担を軽減するとともに、安全かつ安心して介護サービスを利用できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	介護保険特別対策事業 社会福祉法人が行う介護保険サービスの利用者のうち、低所得等の要件に当てはまる方に対して社会福祉法人が利用料の4分の1を負担しているため、その負担額に対して補助金を支出しました。 (1) 軽減確認証発行者数 12人 (2) 補助対象者及び施設 12人(愛厚ホーム東郷苑、日進ホーム)	

5	指標名	社会福祉法人等利用者負担軽減の補助対象者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	人 10.00	人	個別計画による目標値はありません。
	令和2年度	人 9.00	人			
	令和3年度	人 10.00	人			
	令和4年度	人 12.00	人			
活動指標	指標の説明(指標式)					

6	直接事業費計	前年度決算額	187,104 円	決算額	100,565 円
---	--------	--------	-----------	-----	-----------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	187,104	100,565	53.7 %	228,000
	一般財源②	70,104	42,565	60.7 %	82,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	117,000	58,000	49.6 %	146,000
	概算人件費⑤	477,959	631,685	132.2 %	
	総合計(①+⑤)	665,063	732,250	110.1 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	548,063	674,250	123.0 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	54,806	56,188	102.5 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	低所得者に対する負担軽減のため、今後も適正に実施していく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
2 来年度 (令和6年度) 以降の方向性	補助金制度を適正に継続し、低所得者への経済的な負担を軽減します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 190

1	事業名	介護保険一般管理事業	コード	08	01	01	01	01	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	被保険者
2	働きかける相手(対象)	被保険者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	被保険者の資格管理事務、介護認定事務、保険料賦課徴収事務及び給付管理事務を電算システムを活用し、適正かつ効率的に行うようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	介護保険一般管理事業 (1) 地域包括支援センター運営協議会 地域包括支援センターの適正な運営を図るため、介護保険の被保険者始め介護サービス利用者等の委員で組織する運営協議会を2回開催しました。 (2) 地域密着型サービス運営委員会 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため会議は行いませんでした。 (3) 尾張東部権利擁護支援センター負担金 尾張東部権利擁護支援センターに成年後見に関する業務を委託していることについて、負担金を支出しました。 ア 会議 (7) 尾張東部権利擁護支援センター運営協議会開催回数 2回 (4) 尾張東部権利擁護支援センター適正運営委員会開催回数 6回 イ 相談業務 (7) 相談人数 40人(延べ相談件数 602件) (4) 相談者の種別 認知症20人、高齢者5人、障がい者14人、その他1人 ウ 後見業務 法人受任件数 7人(高齢者4人、精神障がい者3人) エ 市民後見人推進事業 市民後見人バンク登録者数(構成市町全体) 55人 オ 成年後見制度に関する研修事業 成年後見制度勉強会を尾張東部圏域の住民及び専門職に対して行いました。 (7) 住民向け研修会 11回 (4) 専門職向け研修会 18回 カ 周知啓発事業 成年後見制度、尾張東部権利擁護支援センターの周知を図るため、住民等を対象に講演会を開催しました。 (7) 開催日 令和4年6月10日(金) (4) 場所 長久手市文化の家 (9) 参加人数 133人 (4) 第9期高齢者福祉計画を策定するため、アンケート調査を実施しました。 ア 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査:配布数 2,200通、有効回答数 1,547通 イ 在宅介護実態調査:配布数 1,000通、有効回答数 575通 ウ 高齢者福祉計画策定のためのアンケート(ケアマネジャー):配布数 42通、有効回答数 32通 エ 高齢者福祉計画策定のためのアンケート(サービス事業者):配布数 35通、有効回答数 35通	
---	-----------------------	---	--

5	指標名	第1号被保険者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	人 9,771.00	人
	指標の説明 (指標式)	実績値は各年度9月末数値 (中間値)	令和2年度	人 9,866.00	人
			令和3年度	人 9,893.00	人
			令和4年度	人 9,929.00	人
6	直接事業費計	前年度決算額	8,678,830 円	決算額	8,888,453 円

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの 推移	直接事業費①(②+③+④)	8,678,830	8,888,453	102.4 %	9,220,000
	一般財源②	7,238,830	8,844,373	122.2 %	9,148,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	1,440,000	44,080	3.1 %	72,000
	概算人件費⑤	10,594,748	10,027,996	94.7 %	
	総合計(①+⑤)	19,273,578	18,916,449	98.1 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	17,833,578	18,872,369	105.8 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,803	1,901	105.4 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	高齢者福祉計画に係るアンケート調査を実施したため直接事業費が増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	高齢者施策に係る各種会議の実施、尾張東部権利擁護支援センターの負担金支出、制度改正に伴う介護システムの改修など適正に実施していく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	高齢者福祉計画に沿った高齢者福祉施策や事業計画を実施していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 191

1	事業名	介護認定事業	コード	08	01	03	01	01	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	介護を必要とする人及びその介護者
2	働きかける相手(対象)	要介護認定を受けようとする人及びその家族、主治医、介護認定審査会委員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	介護保険サービスを必要とする人に対し、遅滞なく認定申請を促すとともに、調査対象者の要介護・要支援状態を適正に把握し、介護状態に応じた認定を速やかに行えるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	介護認定事業 (1) 介護認定審査会事業 保健・医療・福祉に関する各分野の委員による介護認定審査会において、要介護（要支援）又は非該当の判定を行いました。 ア 審査会開催回数 46回 イ 申請種類別内訳 新規 402人 更新 696人 区分変更 241人 計1,339人 ウ 介護度別内訳 非該当 17人 要支援1 162人 要支援2 257人 要介護1 248人 要介護2 223人 要介護3 146人 要介護4 160人 要介護5 126人 計1,339人 (2) 認定調査等事業 要介護（要支援）認定申請者に対し、認定調査員が訪問により心身の状況や介護負担などを調査するとともに主治医から意見書を徴収しました。 なお、調査対象者が遠方の施設等にいる場合は、所在の介護支援専門員に調査を委託しました。 ア 訪問調査実施件数 1,382件 イ 調査委託した件数（遠方、新型コロナ） 8件 計1,390件	
---	-----------------------	--	--

5	指標名	介護認定審査会の審査判定件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	1,331.00 件	個別計画による目標値はありません。
	活動指標 指標の説明 (指標式)	令和2年度	999.00 件		
		令和3年度	1,284.00 件		
		令和4年度	1,339.00 件		

6	直接事業費計	前年度決算額	21,221,177 円	決算額	21,754,219 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	21,221,177	21,754,219	102.5 %	23,035,000
	一般財源②	21,221,177	21,754,219	102.5 %	23,035,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	10,116,790	8,922,547	88.2 %	
	総合計(①+⑤)	31,337,967	30,676,766	97.9 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	31,337,967	30,676,766	97.9 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	24,407	22,910	93.9 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	要介護認定の新規申請者の増加により、活動指標が向上しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	介護認定調査及び介護認定審査会は、介護サービスを利用するための重要な事業です。そのため、認定調査員、審査会委員及び事務局職員は、研修に参加し、審査の水準を維持する必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	制度改正等に対応しながら、介護認定事業の適正な実施を行っていきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 192

1	事業名	高額介護サービス費貸付金事業	コード	08	06	01	03	01	-
2	担当部課	福祉部	高齢者支援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	1割負担が困難な要介護(要支援)者
2	働きかける相手(対象)	要介護(要支援)者及びその家族
3	どのような状態にしたいのか(意図)	1割負担が困難な世帯の負担を軽減し、安心して介護サービスを受けられるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	高額介護サービス費貸付金事業 高額介護サービス費が一定上限額を超えた場合にその超えた金額を貸付しますが、今年度の利用実績はありませんでした。	

5	活動指標	指標名	高額介護サービス費貸付件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			指標の説明 (指標式)	令和元年度	0.00	件	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	0.00	件	
				令和3年度	0.00	件	
				令和4年度	0.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	0円	決算額	0円
---	--------	--------	----	-----	----

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	0	0	0.0 %	1,000
	一般財源②	0	0	0.0 %	1,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	79,660	78,961	99.1 %	
	総合計(①+⑤)	79,660	78,961	99.1 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	79,660	78,961	99.1 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	経済的に介護サービスの利用が困難な者に対する負担軽減のため、今後も制度を運用していく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	制度の適正な運用を継続していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 193

1	事業名	スポーツ一般管理事業	コード	01	10	05	01	02	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05 運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	研修会参加者、町民
2	働きかける相手(対象)	他県近隣市町村研修担当者、町民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	他県や近隣市町村の研修会及び大会への参加を通して、各種スポーツの情報を習得し、スポーツ事業を円滑に運営するなど、誰もが運動・スポーツを楽しむことができるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	保健体育一般事務事業 (1) 全国ボート場所在市町村協議会に加盟して、負担金を支払いました。 (2) 全国ボート場所在市町村協議会主催の第31回全国市町村交流レガッタ潮来大会（茨城県潮来市）に本町代表クルーを派遣しました。（開催期間 令和4年9月24日（土）から令和4年9月25日（日）まで） (3) 東郷町スポーツ推進審議会を開催しました。 ア 開催回数 1回 イ 委員数 10人	

5	指標名	研修会等への参加回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	10.00	回
令和2年度	1.00	回	回		
令和3年度	4.00	回	回		
令和4年度	5.00	回	回		

6	直接事業費計	前年度決算額	1,772,341 円	決算額	2,142,354 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	1,772,341	2,142,354	120.9 %	4,374,000
	一般財源②	1,772,341	2,115,354	119.4 %	4,374,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	27,000	0.0 %	0
	概算人件費⑤	3,622,326	3,428,346	94.6 %	
	総合計(①+⑤)	5,394,667	5,570,700	103.3 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	5,394,667	5,543,700	102.8 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,348,667	1,108,740	82.2 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	全国市町村交流レガッタが3年ぶりに開催され、茨城県潮来市に本町の代表クルー選手団を派遣したことに伴い、直接事業費が増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	東郷町スポーツ推進計画の基本理念である「誰もがスポーツを楽しむまち」の実現に向け、ライフステージに応じた運動・スポーツの機会の提供を推進する必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	東郷町スポーツ推進計画の進捗管理を適切に実施し、「誰もが運動・スポーツを楽しむまち」の実現に向け、スポーツの推進を図ります。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 194

1	事業名	児童委員活動事業	コード	01	03	02	01	02	-
2	担当部課	こども健康部	子育て応援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	児童、児童の保護者、妊婦
2	働きかける相手(対象)	児童委員、児童、児童の保護者、妊婦
3	どのような状態にしたいのか(意図)	児童委員が子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援等を行うことにより、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	児童委員活動事業 生活が不安定な家庭の見守りや虐待が懸念される家庭の情報提供を依頼するとともに、要保護児童対策地域協議会委員に委嘱し、意見を伺いました。 活動支援の一助として、民生委員児童委員協議会に対し、活動費補助金を交付しました。 (1) 児童委員数 49人（うち、主任児童委員3人） (2) 活動状況 ア 相談・支援件数 子育て・母子保健 2件 子どもの地域生活 18件 子どもの教育・学校生活 4件 その他子どもに関すること 3件 合計 27件 イ その他の活動件数 要保護児童の発見の通告・仲介 3件	

5	指標名	児童委員の活動件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	42.00	件 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	福祉行政報告例に基づく社会福祉統計	令和2年度	10.00	件
			令和3年度	10.00	件
			令和4年度	30.00	件

6	直接事業費計	前年度決算額	970,000 円	決算額	970,000 円
---	--------	--------	-----------	-----	-----------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	970,000	970,000	100.0 %	990,000
	一般財源②	970,000	970,000	100.0 %	990,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	797,274	550,478	69.0 %	
	総合計(①+⑤)	1,767,274	1,520,478	86.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	1,767,274	1,520,478	86.0 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	176,727	50,683	28.7 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	昨年度と比較すると、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により、活動件数は大きく増加しましたが、コロナ禍以前と比較すると減少しています。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	支援が必要と思われる家庭の見守りができるように研修会等を開催し、児童相談についての知識や理解を深め、児童委員との連携体制を構築していく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	引き続き、支援の必要があると思われる児童について情報共有を行い、児童委員と連携して見守りを行います。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 195

1	事業名	児童手当支給事業	コード	01	03	02	02	01	-
2	担当部課	こども健康部	子育て応援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	児童及び児童を養育している人
2	働きかける相手(対象)	広報紙やインターネット等の情報媒体、転入出者、出生届出者、児童養育者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	家庭における生活の安定と次世代を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資するため、児童手当法に基づく児童手当を適正に支給します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	児童手当関係事業 中学校卒業までの児童を養育している方に対して、児童手当を支給しました。 なお、児童手当法の改正により、令和4年10月支給分から所得上限限度額以上の所得の方は支給対象外となりました。	
		(1) 手当額 ア 3歳未満児 15,000円/月 イ 3歳以上小学生まで (ア) 第1子 10,000円/月 (イ) 第2子 10,000円/月 (ウ) 第3子以降 15,000円/月 ウ 中学生 10,000円/月 エ 所得制限限度額以上の所得がある場合は、上記に関わらず一律5,000円/月（特例給付） (2) 支給額 ア 6月期定期支払（2～5月分） 264,590,000円（うち学校給食費等 301,800円） イ 10月期定期支払（6～9月分） 260,270,000円（うち学校給食費等 188,580円） ウ 2月期定期支払（10～1月分） 264,350,000円（うち学校給食費等 304,009円） エ 随時支払 10,675,000円 オ 合計 799,885,000円（うち学校給食費等 794,389円） (3) 受給者数（10月期定期支払時受給者数） 3,643人	

5	指標名	児童手当受給者数（10月期定期支払時受給者数）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	人 3,916.00	人 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	令和2年度	人 3,889.00	人	
		令和3年度	人 3,820.00	人	
		令和4年度	人 3,643.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	829,353,286 円	決算額	801,149,487 円
---	--------	--------	---------------	-----	---------------

項 目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの 推移	直接事業費①(②+③+④)	829,353,286	801,149,487	96.6 %	798,367,000
	一般財源②	138,928,288	125,207,822	90.1 %	120,777,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	690,424,998	675,941,665	97.9 %	677,590,000
	概算人件費⑤	3,189,096	5,032,937	157.8 %	
	総合計(①+⑤)	832,542,382	806,182,424	96.8 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	142,117,384	130,240,759	91.6 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	37,204	35,751	96.1 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や 新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	児童手当事務取扱要領の規定に基づき、適正に支給します。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休 廃 止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
2 来年度 (令和6年度) 以降の方向性	国の施策動向を注視していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 196

1	事業名	保育総務一般管理事業	コード	01	03	02	04	02	-
2	担当部課	こども健康部	こども保育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	② 多様な保育サービスの提供						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	園児の保護者
2	働きかける相手(対象)	園児の保護者、保育士、事業者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	保育士の資質の向上を図るとともに、保育料の算定、徴収など保育業務全般にわたる管理業務を行い、保育事業を円滑かつ効率的に運営します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 保育総務一般事務事業 (1) 保育料の徴収を口座振替で実施しました。 (2) 口座振替ができなかった未納者に対し、園長を経由して保護者へ未納のお知らせとコンビニ納付が可能な納付書を渡し、納付勧奨をしました。 (3) 未納者に対しては、保護者からの申出による児童手当からの徴収をしました。 (4) 保護者への緊急メール配信サービスを実施しました。 (5) 園児の怪我や事故への保険対応として日本スポーツ振興センター災害共済給付金事務を実施しました。 (6) 新型コロナウイルス感染により休園した施設の園児の利用者負担額・給食費を日割りで算定し、減免する特別措置を実施しました。 対象期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日 対象者(延べ人数) 利用者負担額2,276人・給食費1,560人 (7) 町公式LINEから町立保育園の欠席連絡ができるようになりました。 開始時期 令和4年11月1日		
		2 保育士研修事業 (1) 研修の開催 ア 全体研修会 15回(各園3回) 参加者延べ 205人 イ 園長主任研修 1回 参加者延べ 57人 ウ 内部研修(年齢別、役職別等) 延べ 247人 (2) 研修への参加 ア 愛知県現任保育士研修運営協議会主催研修 (ア) 園長研修 2人 (イ) 初任者研修 2人 (ウ) その他研修 10人		

5	活動指標	指標名	研修参加人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
				令和元年度	人 692.00	人
		指標の説明 (指標式)	令和2年度	人 157.00	人	
			令和3年度	人 460.00	人	
			令和4年度	人 523.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	4,008,253 円	決算額	3,173,914 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	4,008,253	3,173,914	79.2 %	4,301,000
	一般財源②	3,563,354	2,815,685	79.0 %	3,921,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	444,899	358,229	80.5 %	380,000
	概算人件費⑤	16,081,166	17,762,478	110.5 %	
	総合計(①+⑤)	20,089,419	20,936,392	104.2 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	19,644,520	20,578,163	104.8 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	42,705	39,346	92.1 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	研修の再開やオンライン実施により、活動指標が向上しました。 名古屋柳城女子大学の講師による研修を実施し、私立保育所等の職員も参加しました。 園児の人権に関する研修を公立・私立の全ての保育所で実施しました。 公立園で医療的ケア児の受入れを開始するにあたり、研修を実施しました。 徴収困難な債権の一部について、収納課と協力し調査を実施しました。 園児を保育園から病院に連れていく必要がある場合に、タクシーを利用できるようにしました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	町立保育園は、ここ数年「子ども主体の保育」に取り組んでおり、質の高い保育を提供するため、保育士の研修を継続的に実施する必要があります。 保育料等の利用者負担については、公平性を保つため、未納者に対し、適正な徴収体制の構築が必要です。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	担当課だけでは徴収困難な債権の一部について、収納課と協力して滞納整理を行います。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	未納者のうち在園者や町内在住者については、できる限り児童手当からの徴収を実施します。町外転出者等の債権については、担当課だけでは徴収が困難であることから、収納課と協力して滞納整理の強化を検討します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	徴収困難な債権の一部について、収納課と協力して調査をします。 園児を保育園から病院に連れていく必要がある場合に、タクシーを利用できるようにします。 新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況が変化しているにもかかわらず、休園のガイドラインが見直しができていないことから、必要な見直しをします。 医療的ケア児の受入れに関し、保育士に対し研修を実施します。 公立保育所の延長保育料の見直しを検討します。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 197

1	事業名	保育園保健事業	コード	01	03	02	05	02	-
2	担当部課	こども健康部	こども保育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	② 多様な保育サービスの提供						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	保育園児
2	働きかける相手(対象)	保育園児、保育士、医師
3	どのような状態にしたいのか(意図)	園児の健康管理を充実し、疾患等の早期発見に努めます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 保健一般事務事業 (1) 保育園で使用する洗口液や絆創膏などの医薬材料を購入し、子どものけが等に対応しました。 (2) 消毒液やペーパータオルなどの消耗品を購入し、感染症対策を実施しました。 (3) 園児の歯科検診・耳鼻科検診で使用する器具をリースしました。	
		2 園医等設置事業 町立保育園に必要な嘱託医（内科医、歯科医、耳鼻咽喉科医、眼科医）を配置し、健診を実施しました。	

5	指標名	内科健診受診者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	人 628.00	人	個別計画による目標値はありません。平成30年度からは5園分。
	指標の説明 (指標式)	前期検診と後期検診の内、多い方の受診者数	令和2年度	人 606.00	人	
		令和3年度	人 576.00	人		
		令和4年度	人 552.00	人		
6	直接事業費計	前年度決算額	5,014,508 円	決算額	5,079,121 円	

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	5,014,508	5,079,121	101.3 %	5,156,000
	一般財源②	5,014,508	5,079,121	101.3 %	5,156,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	11,766,708	13,420,539	114.1 %	
	総合計(①+⑤)	16,781,216	18,499,660	110.2 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	16,781,216	18,499,660	110.2 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	29,134	33,514	115.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	保育園の保健活動は、心身の発達が著しい時期に、心身の状態や発達の状況を把握し、子どもの成長を支援するために重要な活動であるため、健康診断を全ての園児が受診できるよう努めます。健康診断の機会は、疾病等の早期発見や児童虐待等の発見に繋がることもあることから、引き続き実施する必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	引き続き、基準に基づき健康診断を実施していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 198

1	事業名	保育園管理事業	コード	01	03	02	05	03	-
2	担当部課	こども健康部	こども保育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	③ 幼児教育・保育の質の向上						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	園児及び保育士
2	働きかける相手(対象)	保育所の施設
3	どのような状態にしたいのか(意図)	保育需要に対応するため園舎・設備を適正に維持管理することで、良好な保育環境や職場環境を保ちます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	保育園一般管理事業 (1) 主な物品供給 ア 和合保育園 オープン棚、ジョイントついたて イ 中部保育園 看護用木製折りたたみベッド、保健室薬品棚、ジョイントクッション ウ 南部保育園 ダストボックス (2) 主な業務委託 浄化槽保守点検業務、浄化槽清掃業務、事業系一般廃棄物収集運搬業務、遊具体育用具保守点検業務、消防用設備等保守点検業務、児童福祉施設清掃業務、植栽維持管理業務、粗大ごみ処理業務等 (3) 主な工事 ア 和合保育園 エアコン更新工事 イ 中部保育園 LED取付工事、誘導灯ランプ取替工事、トイレ改修工事 ウ 南部保育園 エアコン更新工事、ガスファンヒータ取替工事 エ 音貝保育園 ガスファンヒータ取替工事、エアコン更新工事、ガスファンヒータ設置工事 オ たかね保育園 遊具設置工事、エアコン更新工事 (4) 土地の賃借 ア 南部保育園用地について、借地料を支払いました。 イ 押草団地内の駐車場（8区画）をたかね保育園の駐車場として借り上げました。		
---	-----------------------	---	--	--

5	指標名	改修工事を施工した件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	9.00	件 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	令和2年度	13.00	件	
		令和3年度	12.00	件	
		令和4年度	11.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	30,443,434 円	決算額	36,402,577 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	30,443,434	36,402,577	119.6 %	45,835,000
	一般財源②	29,516,630	34,726,577	117.7 %	41,826,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	926,804	1,676,000	180.8 %	4,009,000
	概算人件費⑤	30,985,663	31,183,017	100.6 %	
	総合計(①+⑤)	61,429,097	67,585,594	110.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	60,502,293	65,909,594	108.9 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	5,041,858	5,991,781	118.8 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	<p>中部保育園南棟トイレの改修工事を実施しました。その他、施設の修繕や工事、備品整備についての基本的な考え方に沿って、改修工事等を計画的に行いました。 施設維持管理の委託業務については、児童館と連携し、効率的に実施しました。 園児名簿や保育の記録を管理する職員室の防犯対策のため、警備システムの導入を検討しました。</p>	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	園児や職員にとって安全で快適な保育環境及び職場環境を保つため、計画的な施設整備を進める必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	<p>南部保育園の民営化について、実施事業者を決定します。 園舎の防犯対策のため、警備システムを導入します。 園児にとって良好な保育環境を整えるため、中部保育園の園児用手洗い場について、混合水栓増設工事を実施します。 保育士の事務負担軽減のため、ICT化を行うことで、保育の質の向上を図ります。</p>
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	<p>南部保育園の民営化について、計画的に整備を進めます。</p>

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	<p>子ども・子育て支援事業計画及び保育所等長寿命化計画に従って、令和5年度からの南部保育園の民営化について計画的に進めます。 中部保育園南棟トイレの改修工事を実施します。 園児名簿や保育の記録を管理する職員室の防犯対策のため、警備システムの導入を検討します。</p>

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 199

1	事業名	小学校就学援助事業	コード	01	10	02	02	04	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	④ 支援を必要とする子どもや家庭への取組の推進						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	経済的な事情により、就学困難な町立小学校児童
2	働きかける相手(対象)	町立小学校児童の保護者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	経済的な事情により就学困難な児童の保護者を援助することにより、全ての児童が安心して義務教育を受けることができるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	小学校就学援助事業 町立小学校の保護者からの申請に基づき、就学困難な世帯と認定された保護者に対し、就学に必要な費用を援助しました。 また、令和5年度小学校入学予定者及び中学校入学予定者に対し、新入学用品費を入学前に支給しました。 (1) 支給人員 158人（うち、13人は令和5年度小学校入学予定者） (2) 支給費目 学用品費、通学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、卒業アルバム等購入費、PTA会費 (3) 費目別支給金額 ア 学用品費 1,513,630円 イ 通学用品費 254,900円 ウ 学校給食費 4,687,010円 エ 新入学用品費 324,360円 オ 校外活動費 442,635円 カ 修学旅行費 342,656円 キ 卒業アルバム等購入費 149,100円 ク PTA会費 194,700円 ケ 入学前支給 1,704,780円（小学校入学予定者 744,780円、中学校入学予定者 960,000円）	

5	指標名	支給人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	人 142.00	人
	令和2年度	人 146.00	人		
	令和3年度	人 143.00	人		
	令和4年度	人 158.00	人		
活動指標	指標の説明 (指標式)				

6	直接事業費計	前年度決算額	9,529,654 円	決算額	9,613,771 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	9,529,654	9,613,771	100.9 %	12,498,000
	一般財源②	9,529,654	9,613,771	100.9 %	12,498,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	1,762,452	1,671,468	94.8 %	
	総合計(①+⑤)	11,292,106	11,285,239	99.9 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	11,292,106	11,285,239	99.9 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	78,966	71,426	90.5 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	支給対象人数が増加したため、直接事業費が増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	児童が就学に支障が生じないように、必要な支援を継続する必要があります。制度について、適切に保護者に周知し、必要な給付を行う必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	経済的な事情により就学困難な児童の保護者を援助し、義務教育の円滑な実施に資するため、今後も継続して実施していきます。 この制度から多面的な支援を要する世帯として把握できた場合は、町の関係課と連携し、包括的な支援につなげます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 200

1	事業名	中学校就学援助事業	コード	01	10	03	02	04	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	④ 支援を必要とする子どもや家庭への取組の推進						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	経済的な事情により、就学困難な町立中学校生徒
2	働きかける相手(対象)	町立中学校生徒の保護者
3	どのような状態に したいのか(意図)	経済的理由により就学困難な生徒の保護者を援助することにより、全ての生徒が安心して義務教育を受けることができるよう円滑な義務教育の運営を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	中学校就学援助事業 町立中学校の保護者からの申請に基づき、就学困難な世帯と認定された保護者に対し、就学に必要な費用を援助しました。 (1) 支給人員 80人 (2) 支給費目 学用品費、通学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、卒業アルバム等購入費、PTA会費、生徒会費 (3) 費目別支給金額 ア 学用品費 1,752,260円 イ 通学用品費 125,540円 ウ 学校給食費 2,695,100円 エ 新入学用品費 240,000円 オ 校外活動費 698,565円 カ 修学旅行費 1,522,429円 キ 卒業アルバム等購入費 354,700円 ク PTA会費 132,300円 ケ 生徒会費 32,349円	
---	-----------------------	--	--

5	指標名	支給人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	人 76.00	人	個別計画による目標値はありません。
令和2年度	人 84.00	人				
令和3年度	人 82.00	人				
令和4年度	人 80.00	人				

6	直接事業費計	前年度決算額	6,959,349 円	決算額	7,553,243 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの 推移	直接事業費①(②+③+④)	6,959,349	7,553,243	108.5 %	8,335,000
	一般財源②	6,934,349	7,540,243	108.7 %	8,335,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	25,000	13,000	52.0 %	0
	概算人件費⑤	1,522,118	1,432,687	94.1 %	
	総合計(①+⑤)	8,481,467	8,985,930	105.9 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	8,456,467	8,972,930	106.1 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	103,128	112,162	108.8 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	支給人数は減りましたが、校外学習のある学年が多かったため、直接事業費は増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	生徒が就学に支障が生じないように、必要な支援を継続する必要があります。制度について、適切に保護者に周知し、必要な給付を行う必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	経済的な事情により就学困難な生徒の保護者を援助し、義務教育の円滑な実施に資するため、今後も継続して実施していきます。 この制度から多面的な支援を要する世帯として把握できた場合は、関係課と連携し、包括的な支援につなげます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 201

1	事業名	教育委員会運営事業	コード	01	10	01	01	01	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民、小中学校の児童生徒及びその保護者
2	働きかける相手(対象)	教育委員
3	どのような状態に したいのか(意図)	教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により設置が義務付けられており、教育行政の政治的中立性や政策決定、行政運営などを確保することを目的に設置されている合議制の行政委員会です。この教育委員会が円滑に運営できるように事務処理を行います。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	教育委員会運営事業 教育委員5名により本町の教育行政の政策決定及び行政運営を実施しました。	
		(1) 定例会 12回(月1回)開催しました。 ア 議事 0件 イ 議案 59件 (ア) 人事関係 21件 (イ) 予算関係 6件 (ウ) 条例、規則等 16件 (エ) 後援名義使用許可 9件 (オ) 表彰、褒賞等 0件 (カ) その他 7件 (2) 臨時会 2回(4月、12月)開催しました。 ア 議事 1件 イ 議案 1件 (ア) その他 1件	

5	指標名	教育委員会開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	14.00	回
	指標の説明 (指標式)	定例会開催回数+臨時会開催回数	令和2年度	13.00	回
			令和3年度	13.00	回
			令和4年度	14.00	回
個別計画による目標値はありません。					

6	直接事業費計	前年度決算額	1,479,717 円	決算額	1,740,520 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	1,479,717	1,740,520	117.6 %	2,063,000
	一般財源②	1,479,717	1,740,520	117.6 %	2,063,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	4,864,226	4,860,384	99.9 %	
	総合計(①+⑤)	6,343,943	6,600,904	104.1 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	6,343,943	6,600,904	104.1 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	487,996	471,493	96.6 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止になっていた、各種協議会の会議及び研修会が再開され、負担金が増額したことにより、直接事業費が増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	教育委員会は、地方分権の進展による責任の増大、政治的中立性の確保、継続性・安定性の確保、地域住民の意向の反映、文化・スポーツの進行といった多くの課題を抱えています。 そのため、現場の意見に基づいた議論が必要であり、各種会議・行事等に参加し、学校経営案の説明を受けるなど、学校現場の状況を踏まえた活動を通じて、教育行政の推進に努める必要があります。 なお、児童生徒の保護者を含む町民に対して、開かれた教育委員会とするため、教育委員会の活動内容について情報を提供することがますます重要になっています。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	教育委員会が円滑に運営できるよう継続して実施していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 202

1	事業名	教育振興一般管理事業	コード	01	10	01	02	02	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	児童、生徒、保護者
2	働きかける相手(対象)	教育機関、教職員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	児童生徒の教育を受ける権利を保障するため就学関係事務を執行することにより、義務教育の円滑な運営を図ります。教育委員会内の他部署、学校及びその他教育機関の円滑な運営を支えています。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	教育振興一般管理事業	
		(1) 全ての学齢児童生徒が義務教育を受けるための学齢簿の整理、就学指導を行いました。 (2) 教育委員会内の他部署、学校及びその他教育機関との連絡調整、予算・決算等庶務的事務を行いました。 (3) 各小中学校の校長による校長会を毎月1回開催し、連絡調整及び各種の取組みを協議・決定しました。 (4) スクールソーシャルワーカー3名を学校教育課に配置しました。 (5) 会計年度任用職員を配置しました。 ア 一般事務 1名 (学校教育課配置) イ 学校教育専門員 1名 (学校教育課配置) ウ 養護教諭補助員 3名 (小中学校巡回) エ 建築技術専門員 1名 (学校教育課配置) (6) 外国語指導助手(JETプログラム)を7名小中学校に配置しました。 (7) 医療的ケア児が安心して学校生活を送られるよう看護師を派遣しました。 (8) 音貝小学校及び高嶺小学校で学校運営協議会を開催しました。	

5	指標名	義務教育諸学校就学率	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	% 100.00	%
令和2年度	% 100.00	%			
令和3年度	% 100.00	%			
令和4年度	% 100.00	%			

6	直接事業費計	前年度決算額	54,023,820 円	決算額	73,930,236 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	54,023,820	73,930,236	136.8 %	87,678,000
	一般財源②	49,088,059	66,319,069	135.1 %	80,582,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	4,935,761	7,611,167	154.2 %	7,096,000
	概算人件費⑤	12,189,335	12,946,898	106.2 %	
	総合計(①+⑤)	66,213,155	86,877,134	131.2 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	61,277,394	79,265,967	129.4 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	612,774	792,660	129.4 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	<p>年間を通じて直接雇用の英語指導助手が全校に配置されたこと、医療的ケア児の受入れに伴う看護師の配置、令和3年度収入の指定寄附による備品購入費の増加のため、直接事業費が増加しました。 学校での問題解決支援を図るため、スクールソーシャルワーカーを2人から3人に増員しました。</p>	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	<p>直接雇用の英語指導助手の渡航・帰国に係るコストを減らし、英語の指導力の高い講師を配置するため、民間事業者を活用した英語指導助手へと順次切替えを進めていきます。 学校での問題解決支援を継続するため、スクールソーシャルワーカーを引き続き3人態勢で任用します。</p>	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	<p>小学校6年生の学級編成を県基準が40人のところ町で35人学級を編成します。 複数のスクールソーシャルワーカーの役割分担を明確にし、組織的な支援を進めます。 学校の複雑化する諸問題に法律的な見地から助言を得られるよう、尾三連携によりスクールロイヤーを配置します。</p>
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	<p>小学校全学年30人学級の導入に向け、町費任期付教員の処遇を改善します。 教員の働き方改革を推進するため、スクール・サポート・スタッフの配置を進めます。</p>

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	<p>スクールソーシャルワーカーへの相談件数が増加傾向にあり、また、内容も複雑化する中、スクールソーシャルワーカー1人当たりの負担が増していることから、1名増員して3名体制とします。 教員の働き方改革を推進するため、スクール・サポート・スタッフ及び小学校における少人数学級の導入を検討します。</p>

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 203

1	事業名	小学校保健事業	コード	01	10	02	01	01	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町立小学校児童、教職員
2	働きかける相手(対象)	町立小学校児童、教職員、医療関係者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	疾病の早期発見と健康指導の徹底を図り、健康で健やかな学校生活を送れるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 小学校保健一般事業 (1) 児童健診(対象者数: 2,756人) 尿(2回)、心電図(1・4年生)、胸部X線(結核精密検査該当者9人) (2) 教職員健診(受診者数: 194人) 胃(35歳以上)、尿、胸部X線(結核)、血液、心電図、大腸がん、B型肝炎、内科、眼底(35歳以上)
		2 小学校学校医等設置事業 (1) 学校医 内科検診(児童、教職員)と就学時健診 眼科分(2・3・5・6年生)と就学時健診 (2) 歯科医 歯科検診(児童)と就学時健診 (3) 耳鼻科医 耳鼻科検診(1・4年生) (4) 眼科医 眼科検診(1・4年生) (5) 薬剤師 環境測定、プール水質検査

5	指標名	健康診断受診者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	人 3,080.00	人 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	健康診断を受診した児童・ 教職員数	令和2年度	人 3,037.00	人
			令和3年度	人 2,990.00	人
			令和4年度	人 2,950.00	人

6	直接事業費計	前年度決算額	19,581,706 円	決算額	19,410,681 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	19,581,706	19,410,681	99.1 %	20,403,000
	一般財源②	19,581,706	19,410,681	99.1 %	20,403,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	3,758,391	3,895,130	103.6 %	
	総合計(①+⑤)	23,340,097	23,305,811	99.9 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	23,340,097	23,305,811	99.9 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	7,806	7,900	101.2 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	教職員のストレスチェックについて、例年9月に実施していましたが、前月の業務についての質問が多く、夏休み期間の業務について回答することとなり、正しい結果が出ない可能性があるため、本年度は10月に実施しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	学校保健安全法・労働基準法に基づく健康診断を実施し、学校の児童生徒及び教職員の健康を確保します。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	児童及び教職員が健康を確保するため、健康診断を継続して実施していく必要があります。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	教職員のストレスチェックは前月の業務について回答する形式のため、9月に実施すると夏休み期間の業務について回答することとなります。これにより、正しく結果がでない可能性があるため、職員のストレスチェックについて、実施時期を見直します。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 204

1	事業名	小学校運営事業	コード	01	10	02	02	01	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町立小学校の児童
2	働きかける相手(対象)	町立小学校の児童、教職員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	小学校の運営に必要な公費で負担すべき経費を支出し、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	小学校一般運営事業	
		(1) 教科用消耗品の購入、教材備品の購入・修理、部活動に対する補助を行いました。	
		(2) 学校評議員を21名委嘱し、学校評議員会を年間延べ11回開催し、延べ47人が出席しました。	
		(3) 小学校の状況(令和4年5月1日現在)	
		ア	東郷小学校
イ	春木台小学校	児童数 428人、学級数 17学級、教職員数 27人	
ウ	諸輪小学校	児童数 367人、学級数 17学級、教職員数 26人	
エ	音貝小学校	児童数 418人、学級数 16学級、教職員数 25人	
オ	高嶺小学校	児童数 483人、学級数 18学級、教職員数 30人	
カ	兵庫小学校	児童数 593人、学級数 23学級、教職員数 35人	
	計	児童数 2,756人、学級数 111学級、教職員数 176人	
	(4) 水泳指導業務	小学校(兵庫小学校を除く)で水泳指導の委託を行いました。	
	(5) オーストラリア姉妹校とオンラインで交流しました。		

5	指標名	児童数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	人 2,889.00	人 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	毎年5月1日現在	令和2年度	人 2,848.00	人
			令和3年度	人 2,791.00	人
			令和4年度	人 2,756.00	人

6	直接事業費計	前年度決算額	30,679,999 円	決算額	40,607,600 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	30,679,999	40,607,600	132.4 %	113,873,000
	一般財源②	30,154,383	40,121,600	133.1 %	113,387,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	525,616	486,000	92.5 %	486,000
	概算人件費⑤	2,842,938	2,994,791	105.3 %	
	総合計(①+⑤)	33,522,937	43,602,391	130.1 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	32,997,321	43,116,391	130.7 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	11,823	15,645	132.3 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	兵庫小学校を除く5小学校のプールの授業を外部委託したことにより、直接事業費が増加しました。 高嶺小学校を除く5小学校で、オーストラリア姉妹校とオンラインで交流を実施しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	地域に開かれた学校づくりを推進し、保護者や地域住民の協力を得て、学校運営に関する意見を広く求めながら、学校としての説明責任を果たすために学校運営協議会制度を拡充する必要があります。 水泳指導を民間事業者へ委託し、天候に左右されずに授業が実施できる点や指導の充実について効果があったため、今後も継続する必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	学校ごとの指導水準の均衡を図るため、兵庫小学校の水泳の授業に外部指導者を配置します。オーストラリア姉妹校の日本への旅行の際に、東郷中学校・東郷小学校で交流事業をします。これまでの学校評議員会から、地域の意見を一層学校運営に反映させるため、学校運営協議会への移行を進めます。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	令和7年度の郷土読本改訂に当たり編集作業を行います。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	小学校(兵庫小学校を除く)において、水泳指導を外部委託にします。 外国語英語指導助手を派遣委託からJETプログラムを活用した会計年度任用職員の雇用に変更します。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 205

1	事業名	中学校保健事業	コード	01	10	03	01	01	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町立中学校生徒、教職員
2	働きかける相手(対象)	町立中学校生徒、教職員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	疾病の早期発見と健康指導の徹底を図り、健康で健やかな学校生活を送れるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 中学校保健一般事業 (1) 生徒健診(対象者数:1,433人) 尿(2回)、心電図(1年生)、血液検査(2年生)、胸部X線(結核精密検査該当者1人) (2) 教職員健診(受診者数:116人) 胃(35歳以上)、尿、胸部X線(結核)、血液、心電図、大腸がん、B型肝炎、内科、眼底(35歳以上) (3) 産業医の委託(春木中1名)
		2 中学校学校医等設置事業 (1) 学校医 内科検診(生徒、教職員) 眼科分(2・3年生) (2) 歯科医 歯科検診(生徒) (3) 耳鼻科医 耳鼻科検診(1年生) (4) 眼科医 眼科検診(1年生) (5) 薬剤師 環境測定、プール水質検査

5	指標名	健康診断受診者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	人 1,539.00	人 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	健康診断を受診した生徒・ 教職員数	令和2年度	人 1,531.00	人
			令和3年度	人 1,571.00	人
			令和4年度	人 1,549.00	人

6	直接事業費計	前年度決算額	11,312,946 円	決算額	11,081,061 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	11,312,946	11,081,061	98.0 %	12,038,000
	一般財源②	11,312,946	11,081,061	98.0 %	12,038,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	2,957,278	3,337,978	112.9 %	
	総合計(①+⑤)	14,270,224	14,419,039	101.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	14,270,224	14,419,039	101.0 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	9,084	9,309	102.5 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	教職員のストレスチェックについて、例年9月に実施していましたが、前月の業務についての質問が多く、夏休み期間の業務について回答することとなり、正しい結果が出ない可能性があるため、本年度は10月に実施しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	学校保健安全法・労働基準法に基づく健康診断を実施し、学校の児童生徒及び教職員の健康を確保します。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	生徒及び教職員が健康を核のするため、健康診断を継続して実施していく必要があります。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	教職員のストレスチェックは前月の業務について回答する形式のため、9月に実施すると夏休み期間の業務について回答することとなります。これにより、正しく結果がでない可能性があるため、職員のストレスチェックについて、実施時期を見直します。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 206

1	事業名	中学校運営事業	コード	01	10	03	02	01	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町立中学校の生徒
2	働きかける相手(対象)	町立中学校の生徒、教職員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町立中学校の運営に必要な公費で負担すべき経費を支出し、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	中学校一般運営事業 (1) 教科用消耗品の購入、教材備品の購入・修理、外部講師の謝礼、部活動に対する補助を行いました。 (2) 学校評議員を13名委嘱し、学校評議員会を年間延べ6回開催し、延べ26人が出席しました。 (3) 中学校の状況(令和4年5月1日現在) ア 東郷中学校 生徒数 449人、学級数 15学級、教職員数 33人 イ 春木中学校 生徒数 725人、学級数 24学級、教職員数 49人 ウ 諸輪中学校 生徒数 259人、学級数 9学級、教職員数 19人 計 生徒数 1,433人、学級数 48学級、教職員数 101人 (4) オーストラリア姉妹校とオンラインで交流しました。	

5	指標名	生徒数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	人 1,425.00	人
令和2年度	人 1,419.00	人			
令和3年度	人 1,451.00	人			
令和4年度	人 1,433.00	人			
	指標の説明(指標式)	毎年5月1日現在			

6	直接事業費計	前年度決算額	26,431,260 円	決算額	22,771,525 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	26,431,260	22,771,525	86.2 %	27,687,000
	一般財源②	26,153,876	22,487,525	86.0 %	27,403,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	277,384	284,000	102.4 %	284,000
	概算人件費⑤	2,362,270	2,529,633	107.1 %	
	総合計(①+⑤)	28,793,530	25,301,158	87.9 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	28,516,146	25,017,158	87.7 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	19,653	17,458	88.8 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	部活動の上位大会の参加に伴う輸送費が減少し、直接事業費が減少しました。 全中学校で、オーストラリア姉妹校とオンラインで交流を実施しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	国から検討することを示されている部活動の地域移行について、現在の部活動のあり方をどのように承継していくかを検討する必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	オーストラリア姉妹校の日本への旅行の際に、東郷中学校・東郷小学校で交流事業をします。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	令和7年度の教科書改訂において、教員用指導書や教材備品を整備します。 部活動の地域移行に向け、受け皿の確保を含めた検討を進めます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 207

1	事業名	小学校維持管理事業	コード	01	10	02	01	02	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	② 教育環境の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	小学校で学ぶ児童、教諭及び施設利用者
2	働きかける相手(対象)	小学校施設・設備
3	どのような状態にしたいのか(意図)	施設の機能を適正に維持することで、安全で快適に利用できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	小学校維持管理事業 (1) 小学校一般維持管理費 学校の健全かつ正常な運営が損なわれないように機能維持を図りました。 ア 小学校施設の維持管理、機械設備の保守点検(全28件)を実施しました。 (ア) 事業系ごみ収集運搬処分業務 (イ) 兵庫小学校維持管理業務 (ウ) 浄化槽保守点検業務 (エ) 学校用消防設備等保守点検業務 (オ) 学校植栽維持管理業務 (カ) 緊急倒木処理業務 (キ) 危険樹木調査 (ク) 緊急伐採業務 (ケ) 学校遊具体育用具等保守点検業務 (コ) 学校施設設備等清掃業務 (サ) 浄化槽清掃業務 (シ) 学校昇降機維持保全業務 (ク) 自家用電気工作物保安管理業務 (セ) 学校施設機械警備業務 (ソ) ガス空調設備保守点検業務 始め14件 イ 小学校に会計年度任用職員を配置しました。 (ア) 学校用務員 6人 (イ) 学校給食配膳員 6人 (ウ) 非常勤講師 7人 (エ) 学校生活支援員 55人 (オ) 学校生活介護員 2人 (カ) 学校図書館司書教諭補助員 6人 ウ 屋内運動場の照明をLEDにリースで更新しました。(春木台小学校、諸輪小学校、音貝小学校、高嶺小学校、兵庫小学校) (2) 小学校施設改修費 学校の老朽化や管理運営上必要となる施設設備の補修、修繕、改修工事等を実施しました。 ア 屋上防水改修工事(諸輪小学校南校舎及び渡り廊下) イ 屋上防水改修工事設計業務(諸輪小学校南校舎及び渡り廊下) ウ 屋上防水改修工事監理業務(諸輪小学校南校舎及び渡り廊下) エ トイレ改修工事設計業務(音貝小学校南校舎) オ 長寿命化基本設計業務(諸輪小学校南校舎) カ 昇降機改修工事設計業務(音貝小学校南校舎) キ トイレ改修工事(春木台小学校南校舎) ク トイレ改修工事設計業務(春木台小学校南校舎) ケ トイレ改修工事監理業務(春木台小学校南校舎) コ 板柵設置工事(諸輪小学校) 始め14件	
---	-----------------------	--	--

5	活動指標 指標の説明 (指標式)	保守点検等の委託業務数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	27.00 件	個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	24.00 件	
			令和3年度	22.00 件	
			令和4年度	28.00 件	

6	直接事業費計	前年度決算額	304,898,152 円	決算額	348,896,001 円
---	--------	--------	---------------	-----	---------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	304,898,152	348,896,001	114.4 %	553,200,000
	一般財源②	244,827,152	262,193,498	107.1 %	507,760,000
	起債③	47,700,000	75,700,000	158.7 %	45,400,000
	その他④	12,371,000	11,002,503	88.9 %	40,000
	概算人件費⑤	12,860,291	13,560,909	105.4 %	
	総合計(①+⑤)	317,758,443	362,456,910	114.1 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	305,387,443	351,454,407	115.1 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	13,881,247	12,551,943	90.4 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	春木台小学校南校舎トイレ改修工事・諸輪小学校南校舎屋上防水工事の実施に伴い、町費投入額が増加しました。 国庫財源を活用するため、あらかじめ設計を行っていた春木台小学校南校舎トイレ改修工事を実施しました。 東郷小学校を除く5小学校の屋内運動場の照明のLED化をリースにより更新しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	多くの老朽化した施設の予防保全のための改修を実施する必要があります。 老朽化したプールを今後どのように活用するのか等を検討する必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	老朽化した春木台小学校、諸輪小学校、音貝小学校の昇降機を人荷用に改修し、障がい等のある児童が移動できるようにします。 屋内運動場の空調設備の整備方針を定めます。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	諸輪小学校の長寿命化改修工事は、国庫財源の活用のため、令和6年度の単年度の実施を計画します。 屋内運動場の空調整備の設計を行います。 小学校30人学級の導入に伴い、将来的な教室数の不足が見込まれる東郷小学校、春木台小学校、諸輪小学校は、対策を検討します。 東郷小学校の校舎については、長寿命化改修か建て替えかを再度検討します。 校舎の一部及び屋内運動場の窓ガラスへの飛散防止フィルムの貼付工事を検討します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	施設の改修を計画的に進めていく中で、諸輪小学校の屋上防水改修工事を行います。また、春木台小学校では、バリアフリートイレの整備、洋式化等の改修工事を行います。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 208

1	事業名	中学校維持管理事業	コード	01	10	03	01	02	-
2	担当部課	教育部	学校教育課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	② 教育環境の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	中学校で学ぶ生徒、教諭及び施設利用者
2	働きかける相手(対象)	中学校施設・設備
3	どのような状態に したいのか(意図)	施設の機能を適正に維持することで、安全で快適に利用できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	中学校維持管理事業 (1) 中学校一般維持管理費 学校の健全かつ正常な運営が損なわれないように機能維持を図りました。 ア 中学校施設の維持管理、機械設備の保守点検(全22件)を実施しました。 (ア) 事業系ごみ収集運搬処分業務 (イ) 浄化槽保守点検業務 (ウ) 学校用消防設備等保守点検業務 (カ) 学校植栽維持管理業務 (ク) 危険樹木調査 (ケ) 学校施設設備等清掃業務 (コ) 浄化槽清掃業務 (ク) 学校昇降機維持保全業務 (ケ) 自家用電気工作物保管管理業務 (コ) 学校施設機械警備業務 (ケ) 学校遊具体育用具等保守点検業務 始め12件 イ 中学校に会計年度任用職員を配置しました。 (ア) 学校用務員 3人 (イ) 学校給食配膳員 3人 (ウ) 非常勤講師 7人 (エ) 学校生活支援員 11人 (オ) 学校図書館司書教諭補助員 3人 ウ 屋内運動場の照明をLEDにリースで更新しました。(全中学校) (2) 中学校施設改修費 学校の老朽化や管理運営上必要となる施設設備の補修、修繕、改修工事等を実施しました。 ア トイレ改修工事(春木中学校南校舎) イ トイレ改修工事設計業務(春木中学校南校舎) ウ トイレ改修工事監理業務(春木中学校南校舎) エ クラブ室欠損補修工事(東郷中学校) 始め15件	
---	-----------------------	--	--

5	指標名	保守点検等の委託業務数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	20.00	件 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	中学校施設の維持管理等の 委託業務数	令和2年度	19.00	件
			令和3年度	16.00	件
			令和4年度	22.00	件
6	直接事業費計	前年度決算額	92,411,852 円	決算額	166,644,187 円

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	92,411,852	166,644,187	180.3 %	217,441,000
	一般財源②	92,411,852	109,769,819	118.8 %	163,612,000
	起債③	0	42,100,000	0.0 %	53,800,000
	その他④	0	14,774,368	0.0 %	29,000
	概算人件費⑤	9,342,233	10,302,527	110.3 %	
	総合計(①+⑤)	101,754,085	176,946,714	173.9 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	101,754,085	162,172,346	159.4 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	6,359,630	7,371,470	115.9 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	春木中学校南校舎トイレ改修工事の実施に伴い、町費投入額が増加しました。国庫財源を活用するため、あらかじめ設計を行っていた春木中学校南校舎トイレ改修工事を実施しました。 全中学校の屋内運動場の照明のLED化をリースにより更新しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	多くの老朽化した施設の予防保全のための改修を実施する必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	老朽化した春木中学校北校舎の屋上防水工事、東郷中学校体育館の屋上防水工事を実施します。 屋内運動場の空調設備の整備方針を定めます。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	東郷中学校のプール施設は、老朽化が進んでおり、点検を実施し、必要に応じ改修を検討します。 屋内運動場の空調整備の設計を行います。 中学校の少人数指導の充実のため、町費任期付教員の任用を検討します。 校舎の一部及び屋内運動場の窓ガラスへの飛散防止フィルムの貼付工事を検討します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	施設の改修を計画的に進めていく中で、春木中学校では、バリアフリートイレの整備、洋式化等の改修工事を行います。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 209

1	事業名	社会教育委員会運営事業	コード	01	10	04	01	02	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	03 生涯を通じた学びを推進する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	社会教育委員
3	どのような状態に したいのか(意図)	社会教育委員としての見聞を広め、地域と行政の連携を促進し、効果的な生涯学習を推進します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	社会教育委員会運営事業 (1) 社会教育法第15条に基づく社会教育委員20人により、年間6回の委員会を開催（内、書面1回、庁外研修1回）し、社会教育行事の内容及び運営方法について検討し、社会教育の充実を図りました。 (2) 第53回東海北陸社会教育研究大会愛知大会 ア 日時 令和4年10月13日（木）・14日（金） イ 会場 東海市芸術劇場・東海市立市民活動センター ウ 内容 全体会、分科会等 (3) 第5回社会教育委員会（視察研修） ア 日時 令和4年12月7日（水） イ 場所 トヨタ産業技術記念館、ノリタケの森クラフトセンター ウ その他 社会教育委員県外研修は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、県内の視察としました。		

5	指標名	委員会開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	6.00	回
	令和2年度	3.00	回		
	令和3年度	6.00	回		
	令和4年度	6.00	回		
活動指標	指標の説明 (指標式)				

6	直接事業費計	前年度決算額	821,204 円	決算額	873,517 円
---	--------	--------	-----------	-----	-----------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	821,204	873,517	106.4 %	986,000
	一般財源②	821,204	873,517	106.4 %	986,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	1,399,535	1,285,631	91.9 %	
	総合計(①+⑤)	2,220,739	2,159,148	97.2 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	2,220,739	2,159,148	97.2 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	370,123	359,858	97.2 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	コンサート等のイベントの際は、会場での人員整理など社会教育委員と協力して行いました。 第53回東海北陸社会教育研究大会が愛知県で実施され、社会教育委員全員で参加し、見聞を広めることができたため、今後も、各種研修や研究大会など社会教育委員の学びの機会を提供していく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	今後も効率的に社会教育委員会を開催し、生涯学習の需要に対応していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（ 令和4年度 ）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 210

1	事業名	社会教育一般管理事業	コード	01	10	04	01	03	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	03 生涯を通じた学びを推進する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	社会教育委員、社会教育指導員
3	どのような状態に したいのか(意図)	県社会教育委員連絡協議会における研修等に積極的に参加し、情報交換しながら本町に合った施策を実施することによって生涯学習を推進します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	社会教育総務一般事務事業 県社会教育委員連絡協議会の会議等に参加しました。 (1) 県社会教育委員連絡協議会東尾張支部総会・講演会 ア 開催日 令和4年5月18日(水) イ 会場 各市町オンライン会場 ウ 出席者 4名 (2) 県社会教育委員連絡協議会評議員会・総会 ア 開催日 令和4年6月3日(金) イ 会場 へきしんギャラクシープラザ ウ 出席者 4名 (3) 愛知県社会教育委員連絡協議会東尾張支部研修会 東海北陸社会教育研究大会が愛知県開催のため休会となりました。	

5	活動指標	指標名	県社会教育委員連絡協議会 会議及び研修への参加日数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			指標の説明 (指標式)	令和元年度	日 3.00	日	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	日 2.00	日	
				令和3年度	日 2.00	日	
				令和4年度	日 2.00	日	

6	直接事業費計	前年度決算額	1,120 円	決算額	2,240 円
---	--------	--------	---------	-----	---------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	1,120	2,240	200.0 %	9,000
	一般財源②	1,120	2,240	200.0 %	9,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	987,907	942,796	95.4 %	
	総合計(①+⑤)	989,027	945,036	95.6 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	989,027	945,036	95.6 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	494,514	472,518	95.6 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	県社会教育委員連絡協議会に参加し、他市町の社会教育委員同士の情報交換の機会を提供していく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	引き続き、県社会教育委員連絡協議会における会議や研修に、積極的に参加していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 211

1	事業名	公民館一般管理事業	コード	01	10	04	03	01	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	03 生涯を通じた学びを推進する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	公民館利用者
2	働きかける相手(対象)	社会教育委員及び職員
3	どのような状態に したいのか(意図)	公民館連合会等の研修・研究事業に参加し情報交換することによって、充実した社会教育活動を展開していきます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	公民館一般事務事業 (1) 県公民館連合会の会議等に出席しました。 ア 県公民館連合会東尾張支部総会 (ア) 出席者 1人 (イ) 開催日 令和4年5月26日(木) (ウ) 会場 知多市勤労文化会館 イ 県公民館連合会総会 (ア) 出席者 4人 (イ) 開催日 令和4年6月1日(水) (ウ) 会場 へきしんギャラクシープラザ ウ 県公民館連合会東尾張支部研究発表会 (ア) 出席者 4人 (イ) 開催日 令和5年2月2日(木) (ウ) 会場 東海市芸術劇場		

5	活動指標	指標名	愛知県公民館連合会会議における社会教育委員等参加数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	人 24.00	人	個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	人 6.00	人	
			令和3年度	人 6.00	人	
			令和4年度	人 9.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	16,192 円	決算額	19,272 円
---	--------	--------	----------	-----	----------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	16,192	19,272	119.0 %	22,000
	一般財源②	16,192	19,272	119.0 %	22,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	740,930	771,379	104.1 %	
	総合計(①+⑤)	757,122	790,651	104.4 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	757,122	790,651	104.4 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	126,187	87,850	69.6 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	町民にも身近な学習拠点であり、交流の場である中央公民館としての役割を認識し、その時代や地域にあった公民館の在り方について、研究していく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	引き続き、必要な研修を受講し、公民館の在り方について研究します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（ 令和4年度 ）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 212

1	事業名	図書館整備基金積立金事業	コード	01	13	01	06	01	-
2	担当部課	教育部	生涯学習課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	03 生涯を通じた学びを推進する						
		施策の展開方向	③ こころの豊かさを育てる機会の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	図書館を利用する人
2	働きかける相手(対象)	図書館整備基金
3	どのような状態にしたいのか(意図)	図書館を利用する人が情報収集や調査研究などで図書館を快適に利用できるよう、図書資料等の購入に充てるための基金を積み立てておきます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	図書館整備基金利子積立金事業 東郷町立図書館整備基金の設置及び管理に関する条例に基づき図書館整備基金利子を56円積立てました。 基金残高 (1) 令和3年度末残高 3,073,932円 (2) 令和4年度利子積立 56円 (3) 令和4年度末残高 3,073,988円	

5	指標名	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				円	円
活動指標	指標の説明 (指標式)	令和元年度	1,950.00	円	個別計画による目標値はありません。
		令和2年度	3,660.00	円	
		令和3年度	1,438.00	円	
		令和4年度	56.00	円	
6	直接事業費計	前年度決算額	1,438 円	決算額	56 円

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	1,438	56	3.9 %	1,000
	一般財源②	1,438	56	3.9 %	1,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	164,651	171,418	104.1 %	
	総合計(①+⑤)	166,089	171,474	103.2 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	166,089	171,474	103.2 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	116	3,062	2,639.7 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	図書館を利用する人が情報収集や調査研究などで図書館を快適に利用できるよう、図書資料等の購入に充てるための基金を積み立てる必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	図書資料等の購入に充てるための基金を継続して積み立てます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 213

1	事業名	地域協働一般管理事業	コード	01	02	08	01	02	-
2	担当部課	企画部	地域協働課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	05 多文化の人々が共生できる社会をつくる						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町民が安心して暮らせるよう暮らしに関する相談業務を行います。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	地域協働一般管理事業 (1) 無料法律相談を開催して土地、家屋、相続、家庭問題等に関する相談に弁護士が対応しました。 ア 実施回数 年12回(毎月第4木曜日) イ 定員 事前予約制で各回14人まで ウ 実績 年間137人 (2) 愛知県事務処理特例条例に基づく、市町村権限移譲事務として実施しました。 ア 家庭用品品質表示法(3事業者)、消費生活用製品安全法(3事業者)、電気用品安全法(2事業者)に基づく立入検査を実施しました。 イ 計量法に基づく商品量目検査を冬季に1回実施しました(夏季は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりました。) (3) 外国人通訳及び翻訳職員を毎週月曜日と金曜日に配置し、窓口業務や行政手続きなどの通訳及び翻訳を行いました。		

5	指標名	無料法律相談回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	回 11.00	回	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	無料法律相談の実施回数	令和2年度	回 11.00	回	
			令和3年度	回 12.00	回	
			令和4年度	回 12.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	3,855,494 円	決算額	4,050,583 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	3,855,494	4,050,583	105.1 %	4,259,000
	一般財源②	3,855,494	4,050,583	105.1 %	4,259,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	4,819,001	4,430,923	91.9 %	
	総合計(①+⑤)	8,674,495	8,481,506	97.8 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	8,674,495	8,481,506	97.8 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	722,875	706,792	97.8 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	<p>より多くの方の相談に対応するため、無料法律相談の相談枠を1回につき4枠と拡大し、14枠としました。 英語・ポルトガル語以外の外国人来庁者に対応するため、翻訳機を購入しました。各課の事業(訪問等)で必要な場合には貸出しも行いました。 無料法律相談の相談枠を拡大したことにより、直接事業費が増加しました。</p>	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	<p>無料法律相談の枠を14枠としたことで、より多くの相談実績がありました。町民ニーズも高いため、適切な相談枠を把握する必要があります。 在住・在勤外国人が公共サービスを公平に受けられるように外国人通訳及び翻訳業務を継続していきます。</p>	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	<p>無料法律相談枠拡大後の利用状況を集積し、適切な相談枠を把握します。 また、無料法律相談の相談時間の厳守、相談場所(会議室)の見直し等により、効率的に相談ができる体制を整えます。</p>
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	<p>引き続き、外国人通訳・翻訳業務及び無料法律相談を実施していきます。</p>

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	<p>無料法律相談の申込が非常に多く、中には相談できない方がいるため、より多くの方が相談できるように、1月当たりの枠を10人から14人に拡大します。 また、英語・ポルトガル語以外の外国人来庁者に対応するため、翻訳機を購入し、各課へ貸出を行っていきます。</p>

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 214

1	事業名	尾三消防組合負担金事業	コード	01	09	01	01	01	-
2	担当部課	総務部	安全安心課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	③ 消防体制の強化						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民、事業所、町内一時滞在者
2	働きかける相手(対象)	尾三消防組合
3	どのような状態にしたいのか(意図)	消防・救急等の消防力の強化を図り、町民の生命、身体及び財産を守ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	尾三消防組合負担金事業 尾三消防組合に対し、負担金を支出しました。	

5	指標名	尾三消防組合負担金額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	千円 533,093.00	千円 個別計画による目標値はありません。
	活動指標 指標の説明 (指標式)	令和2年度	千円 542,280.00	千円	
		令和3年度	千円 548,833.00	千円	
		令和4年度	千円 568,288.00	千円	
6	直接事業費計	前年度決算額	548,833,000 円	決算額	568,228,000 円

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	548,833,000	568,228,000	103.5 %	586,192,000
	一般財源②	548,833,000	568,228,000	103.5 %	586,192,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	4,977,141	5,014,359	100.7 %	
	総合計(①+⑤)	553,810,141	573,242,359	103.5 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	553,810,141	573,242,359	103.5 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,009	1,009	100.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	組合負担金の算定について、企画部門、財政部門の担当者を加えて査定を実施し適正額の算定に努めました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	町民の生命、財産を守る観点から必要不可欠なため事業を継続する必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	町民の生命、財産を守る観点から必要不可欠なため事業を継続します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 215

1	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	コード	01	02	01	07	03	-
2	担当部課	企画部	企画情報課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤ 感染症対策						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	給付金対象者、ワクチン接種希望者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的に影響を受けている子育て世帯が安心して生活できるようにします。 また、ワクチン追加接種に伴う事務が効率的に遂行できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	新型コロナウイルス感染症対策事業 (1) 低所得の子育て世帯に対する給付金のシステム改修を行いました。 (2) 新型コロナワクチン接種（4回目、5回目及び乳幼児）に伴うシステム改修等を行いました。			
		新型コロナウイルス感染症対策事業 (1) 低所得の子育て世帯に対する給付金のシステム改修を行いました。 (2) 新型コロナワクチン接種（4回目、5回目及び乳幼児）に伴うシステム改修等を行いました。			

5	活動指標	指標名	子育て世帯への臨時特別給付金受給者数(国事業)	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	人	人	個別計画による目標値はありません。	
			令和2年度	人	人		
			令和3年度	4,253.00	人		
			令和4年度	82.00	人		
6	直接事業費計	前年度決算額	94,103,691 円	決算額	2,996,400 円		

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	94,103,691	2,996,400	3.2 %	0
	一般財源②	94,103,691	2,996,400	3.2 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	4,716,431	1,567,092	33.2 %	
	総合計(①+⑤)	98,820,122	4,563,492	4.6 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	98,820,122	4,563,492	4.6 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	23,235	55,652	239.5 %	

Ⅲ. (Check)内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	国からの交付金により実施する新型コロナウイルス感染症対応事業のため、事業内容に応じたシステム改修等を速やかに実施する必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	国からの交付金により実施する新型コロナウイルス感染症対応事業のため、事業内容に応じたシステム改修等を速やかに実施します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 216

1	事業名	価格高騰緊急支援給付金支給事業	コード	01	02	01	07	04	-
2	担当部課	企画部	企画情報課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤ 感染症対策						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	支給対象者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、様々な困難に直面した町民の生活・暮らしの負担を軽減します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	価格高騰緊急支援給付金支給事業 電力・ガス・食料品等の価格高騰に伴い、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対する給付金のシステム改修を行いました。	

5	指標名	受付件数、支給件数(町独自事業分)	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	件	件
令和2年度	件	件			
令和3年度	2,102.00	件			
令和4年度	1,369.00	件			

6	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	2,189,000 円
---	--------	--------	-----	-----	-------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	0	2,189,000	0.0 %	3,300,000
	一般財源②	0	0	0.0 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	2,189,000	0.0 %	3,300,000
	概算人件費⑤	0	705,192	0.0 %	
	総合計(①+⑤)	0	2,894,192	0.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	0	705,192	0.0 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	515	0.0 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	価格高騰緊急支援給付金支給事業は、令和4年度に限った事業であるため、廃止とします。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input checked="" type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	特にありません。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 217

1	事業名	物価高騰対策事業	コード	01	02	01	07	05	-
2	担当部課	企画部	企画情報課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤ 感染症対策						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	子ども及びその養育者
2	働きかける相手(対象)	子どもを養育している人
3	どのような状態にしたいのか(意図)	食費等の物価高騰の影響により、経済的に影響を受けている子育て世帯が安心して生活できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	物価高騰対策事業 食料品等の物価高騰の影響を受ける子育て世帯等を支援するため、給付金のシステム改修を行いました。	

5	活動指標	指標名	東郷町による愛知県子育て世帯臨時特別給付金(県事業)の受給者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
		指標の説明(指標式)	令和元年度	人	人	個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人 3,555.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	1,380,500 円
---	--------	--------	-----	-----	-------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	0	1,380,500	0.0 %	1,876,000
	一般財源②	0	0	0.0 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	1,380,500	0.0 %	1,876,000
	概算人件費⑤	0	470,127	0.0 %	
	総合計(①+⑤)	0	1,850,627	0.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	0	470,127	0.0 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)		132	%	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	国からの交付金により実施する物価高騰対策事業のため、事業内容に応じたシステム改修等を速やかに実施する必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	国からの交付金により実施する物価高騰対策事業のため、事業内容に応じたシステム改修等を速やかに実施します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 218

1	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	コード	01	03	01	01	17	-
2	担当部課	福祉部	福祉課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤ 感染症対策						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	支給対象者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、様々な困難に直面した町民の生活・暮らしの負担を軽減します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 住民税非課税世帯等臨時特別給付金 (1) 支給対象者 基準日時点において、町の住民基本台帳に記録されている者であって、次のいずれかに該当する世帯の世帯主。(令和3年度要綱対象者は除外) ア 住民税非課税世帯 世帯全員が令和4年度分の市町村民税均等割が課されていない世帯 イ 家計急変世帯 令和4年1月以後の収入が減少し「住民税非課税相当」の収入となった世帯 (2) 給付額 1世帯につき10万円 (3) 受付件数 847件 (4) 処理件数 847件 ア 支給件数 845件(非課税 830件、家計急変 15件) イ 辞退件数 0件 ウ 却下件数 2件(支給対象外によるもの)
		2 住民税非課税世帯等臨時特別給付金(町独自事業分) (1) 支給対象者 次のア及びイを満たすもの ア 国の制度に基づき、本町又は他市町で住民税非課税世帯等臨時特別給付金を受給した世帯主 イ 同一世帯に18歳以下の子ども(平成15年4月2日～令和4年3月31日生)がいる世帯 (2) 給付額 子ども1人につき5万円 (3) 処理件数 522件 ア 支給件数 522件 イ 辞退件数 0件

5	指標名	処理件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	件	件
令和2年度	件	件			
令和3年度	2,102.00	件			
令和4年度	1,369.00	件			

6	直接事業費計	前年度決算額	212,706,604 円	決算額	113,512,447 円
---	--------	--------	---------------	-----	---------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	212,706,604	113,512,447	53.4 %	0
	一般財源②	265,528	24,550,208	9,245.8 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	212,441,076	88,962,239	41.9 %	0
	概算人件費⑤	5,333,550	4,772,575	89.5 %	
	総合計(①+⑤)	218,040,154	118,285,022	54.2 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	5,599,078	29,322,783	523.7 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	2,664	21,419	804.0 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	国の行う臨時特別給付金事業が完了したため、廃止します。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input checked="" type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	特にありません。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 219

1	事業名	価格高騰緊急支援給付金支給事業	コード	01	03	01	01	18	-
2	担当部課	福祉部	福祉課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤ 感染症対策						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	支給対象者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	電力・ガスを含むエネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担を軽減します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 住民税非課税世帯等価格高騰緊急支援給付金 (1) 支給対象者 基準日時点において、町の住民基本台帳に記録されている者であって、次のいずれかに該当する世帯の世帯主。 ア 住民税非課税世帯 世帯全員が令和4年度分の市町村民税均等割が課されていない世帯 イ 家計急変世帯 令和4年1月以後の収入が減少し「住民税非課税相当」の収入となった世帯 (2) 給付額 1世帯につき5万円 (3) 受付件数 2,556件 (4) 処理件数 2,556件 ア 支給件数 2,543件(非課税 2,529件、家計急変 14件) イ 辞退件数 5件 ウ 却下件数 8件(支給対象外によるもの)	

5	指標名	処理件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度		
	令和2年度				
	令和3年度				
	令和4年度	2,556.00			
指標の説明(指標式)					

6	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	130,254,892 円
---	--------	--------	-----	-----	---------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	0	130,254,892	0.0 %	0
	一般財源②	0	-2,189,000	0.0 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	132,443,892	0.0 %	0
	概算人件費⑤		4,772,575	%	
	総合計(①+⑤)		135,027,467	%	
	町費投入額(②+③+⑤)		2,583,575	%	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)		1,011	%	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	国の行う価格高騰緊急支援給付金事業が完了したため、廃止します。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input checked="" type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	特にありません。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 220

1	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	コード	01	03	02	01	12	-
2	担当部課	こども健康部	子育て応援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤ 感染症対策						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	子ども及びその養育者
2	働きかける相手(対象)	子どもを養育している人
3	どのような状態にしたいのか(意図)	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的に影響を受けている子育て世帯が安心して生活できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策事業</p> <p>(1) 低所得子育て世帯生活支援特別給付金（その他世帯） 令和4年4月分の児童手当または特別児童扶養手当の支給を受けている方等で、かつ令和4年度分の住民税均等割が非課税である方等に対して給付金を支給しました。</p> <p>ア 手当額 児童1人当たり50,000円 イ 支給額 9,950,000円 ウ 受給者数 104人（対象児童199人）</p> <p>(2) 子育て世帯への臨時特別給付金（国事業） 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子育て世帯を支援するため、18歳以下の児童を養育している世帯に対して給付金を支給しました。（所得制限あり）</p> <p>ア 手当額 児童1人当たり100,000円 イ 支給額 9,200,000円 ウ 受給者数 82人（対象児童92人）</p> <p>2 子育て世帯への臨時特別給付金支給事業（町単独事業） 国事業の子育て世帯への臨時特別給付金において、所得制限により対象外となる方に対して、新型コロナウイルス感染症の影響を同様に受けていることから町独自で給付金の支給を行いました。</p> <p>(1) 手当額 児童1人当たり100,000円 (2) 支給額 10,900,000円 (3) 受給者数 92人（対象児童109人）</p>
---	-----------------------	---

5	活動指標	指標名	子育て世帯への臨時特別給付金受給者数（国事業）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	人	人	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	人	人	
				令和3年度	4,253.00	人	
				令和4年度	82.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	847,015,900 円	決算額	79,123,584 円
---	--------	--------	---------------	-----	--------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	847,015,900	79,123,584	9.3 %	0
	一般財源②	38,973,900	65,123,584	167.1 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	808,042,000	14,000,000	1.7 %	0
	概算人件費⑤	6,378,191	3,931,982	61.6 %	
	総合計(①+⑤)	853,394,091	83,055,566	9.7 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	45,352,091	69,055,566	152.3 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	10,664	842,141	7,897.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	新型コロナウイルス感染症対策事業として、国事業の子育て世代への臨時特別給付金支給事業で所得制限により対象外となる家庭について、町独自で給付金を支給しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	国が行う給付金事業が完了したため、廃止します。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input checked="" type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	特にありません。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 221

1	事業名	物価高騰対策事業	コード	01	03	02	01	13	-
2	担当部課	こども健康部	子育て応援課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤ 感染症対策						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	子ども及びその養育者
2	働きかける相手(対象)	子どもを養育している人
3	どのような状態にしたいのか(意図)	食費等の物価高騰の影響により、経済的に影響を受けている子育て世帯が安心して生活できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 物価高騰対策事業	
		(1) 東郷町による愛知県子育て世帯臨時特別給付金（県事業） 食費等の物価高騰の影響を受ける子育て世帯に対して、臨時特別に給付金を支給し子育て世帯の支援を行いました。 ア 手当額 児童1人当たり10,000円 イ 支給額 59,740,000円 ウ 受給者数 3,555人（対象児童5,974人） (2) 子育て世帯臨時特別給付金（特例給付）（町単独事業） 県事業の子育て世帯への臨時特別給付金において、所得制限により対象外となる方についても、食費等の物価高騰の影響を同様に受けていることから町独自で給付金の支給を行いました。 ア 手当額 児童1人当たり10,000円 イ 支給額 6,670,000円 ウ 受給者数 412人（対象児童667人）	

5	活動指標	指標名	東郷町による愛知県子育て世帯臨時特別給付金（県事業）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	人	人	個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人 3,555.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	67,851,054 円
---	--------	--------	-----	-----	--------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	0	67,851,054	0.0 %	15,857,000
	一般財源②	0	5,240,141	0.0 %	15,857,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	62,610,913	0.0 %	0
	概算人件費⑤	0	3,538,784	0.0 %	
	総合計(①+⑤)	0	71,389,838	0.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	0	8,778,925	0.0 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)		2,469	%	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	物価高騰の影響を受ける子育て世帯への支援として給付金等を支給する県事業において、所得制限により対象外となる世帯に対して町独自の給付金を支給しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	物価高騰対策事業として今後同様の給付金等の事業があった際には、適正に支給します。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	国や県の動向を注視し、適切に対応していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 222

1	事業名	環境衛生一般管理事業	コード	01	04	01	05	02	-
2	担当部課	経済環境部	環境課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	04 環境にやさしいまちをつくる						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民、職員
2	働きかける相手(対象)	職員
3	どのような状態に したいのか(意図)	環境行政全般を円滑に推進します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	環境衛生一般事務事業 (1) 愛知県主催の災害廃棄物処理計画研修、騒音・振動・悪臭担当者研修や関係機関の会議に参加しました。 (2) 作業服、防寒着、ハチやクモの駆除剤等を購入しました。	

5	指標名	研修会、協議会等への参加回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	回 37.00	回 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	令和2年度	回 23.00	回	
		令和3年度	回 26.00	回	
		令和4年度	回 28.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	88,491 円	決算額	479,410 円
---	--------	--------	----------	-----	-----------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	88,491	479,410	541.8 %	153,000
	一般財源②	88,491	479,410	541.8 %	153,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	2,158,270	2,192,512	101.6 %	
	総合計(①+⑤)	2,246,761	2,671,922	118.9 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	2,246,761	2,671,922	118.9 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	86,414	95,426	110.4 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	会計年度任用職員を採用したことにより、事業費が増加しました。 また、公共用地に発生した害虫を安全に駆除するため、クモの巢用ジェットスプレー、へび用捕獲棒、高所噴射用器具等を購入したため、直接事業費が増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	環境行政は、地球温暖化対策や公害対策、廃棄物処理など範囲が多岐にわたることから、積極的に研修や会議に参加し、知識習得や情報収集を行っていきます。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	地球温暖化や再資源化に関する会議・研修等に積極的に参加し、環境面で住みやすい町にするための知識の習得及び情報の収集をしていきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 223

1	事業名	土木行政一般管理事業	コード	01	08	01	01	02	-
2	担当部課	都市建設部	維持管理課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	職員、関係団体、町道等
3	どのような状態にしたいのか(意図)	土木関係事務を適切かつ効率的に処理するとともに、関係団体又は関係機関との連絡調整を行い、円滑に事務を行う必要があります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	土木一般管理事務事業	
		(1) 事務関係及び設計関係の消耗品を購入しました。 (2) 道路照明灯の電気料を支出しました。 (3) 公共用地価格審査会を2回開催しました。 (4) 土木積算システムのデータ作成を委託しました。 (5) 雨水貯留タンクの設置費の一部を補助しました。 5件 (6) 各種協議会等の総会又は研修会に参加し、負担金を支出しました。 (7) 道路等に係る境界確認申請、占用許可申請、承認工事申請等を824件審査しました。 ア 境界確認申請 144件 イ 道路占用許可申請 316件 ウ 道路承認工事申請 77件 エ 河川占用許可申請 9件 オ 公共用物使用許可申請 43件 カ 公共用物承認工事申請 12件 キ 道路使用許可申請 53件 ク 特殊車両許可申請 148件 ケ 雨水浸水阻害行為許可申請 13件 コ 後退用地に関する事前協議 9件	

5	活動指標	指標名	道路等の境界確認申請、占用許可申請、承認工事申請等の受理件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
				令和元年度	880.00 件	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)	令和2年度	996.00 件		
			令和3年度	865.00 件		
			令和4年度	824.00 件		

6	直接事業費計	前年度決算額	23,921,790 円	決算額	27,238,397 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	23,921,790	27,238,397	113.9 %	43,828,000
	一般財源②	23,921,790	27,238,397	113.9 %	43,828,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	18,871,201	33,003,045	174.9 %	
	総合計(①+⑤)	42,792,991	60,241,442	140.8 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	42,792,991	60,241,442	140.8 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	49,472	73,109	147.8 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	道路台帳補正業務において、多くの新規路線の供用開始をしたため、概算人件費が増加しました。 各協議会の配布資料により、専門的な知識の向上や自治体間の情報共有ができました。 雨水貯留タンクの設置を促進するため、町ホームページや広報紙に記事を掲載しました。 土地の境界を確定させるため、新規に地籍調査の実施を検討しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	引き続き、道路台帳システムの周知を図る必要があります。 また、道路台帳システムに急傾斜地崩壊危険箇所の図面を掲載する等、来庁者の利便性の向上を図っていく必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	安心して通行できる道路を整備するため、諸輪地区において、地籍調査を実施します。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	道路関連事務の適切な処理を行うとともに、関係団体との連絡調整を行い、円滑な道路維持管理を行います。また、特殊車両の通行許可に伴う協議の迅速化・効率化を図るため、道路情報閲覧収録作業を行うことを検討します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	窓口にて道路台帳の閲覧システムを設置したため、システムの導入を広く周知します。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 224

1	事業名	道路橋りょう一般管理事業	コード	01	08	02	01	02	-
2	担当部課	都市建設部	都市整備課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	職員、関係団体、町道等
3	どのような状態に したいのか(意図)	道路関係事務を適切かつ効率的に処理するとともに、関係団体又は関係機関との連絡調整を行い、円滑に事務を行う必要があります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	道路橋りょう一般管理事務事業 (1) 事務関係及び設計関係の消耗品を購入しました。 (2) 土木積算システムのデータ作成を委託しました。 (3) 各種協議会等の総会又は研修会に参加し、負担金を支出しました。			

5	指標名	協議会等への参加回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	回	回
	指標の説明 (指標式)	令和2年度	回	回	
		令和3年度	回	回	
		令和4年度	回 15.00	回	
6	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	2,189,176 円

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	0	2,189,176	0.0 %	3,144,000
	一般財源②	0	2,189,176	0.0 %	3,144,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	0	1,191,450	0.0 %	
	総合計(①+⑤)	0	3,380,626	0.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	0	3,380,626	0.0 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)		225,375	%	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	各協議会への参加及び配布資料により、専門的な知識の向上や自治体間での情報共有ができました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	機構改革により本事業を予算化しましたが、更なる機構改革により他課と合併されたことから今後は類似事業と統合を図っていく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	令和6年度当初予算編成において、他事業との統合することで事務及び予算の効率化を図ります。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	他事業と統合することで事務及び予算の効率化に努めていきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 225

1	事業名	都市計画一般管理事業	コード	01	08	04	01	02	-
2	担当部課	都市建設部	都市計画課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	03 魅力ある市街地を整備する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民及び窓口サービス利用者
2	働きかける相手(対象)	町職員、関係機関、愛知県都市計画協会及び愛知県街路事業促進協議会
3	どのような状態に したいのか(意図)	内部事務を適切かつ効率的に処理し、関係課及び関係機関との連絡調整を行い、都市計画事業を円滑に運営します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	都市計画関係一般事務事業	
		(1) 地区計画の区域内における行為の届出 審査件数 71件 (2) 都市計画基本図のコピー、都市計画図等の販売 件数 571件 (3) 愛知県都市計画協会負担金を支出し、都市計画の調査研究に努めました。 (4) 愛知県街路事業促進協議会負担金を支出し、未整備区間のある都市計画道路整備に関する要望、陳情等を実施しました。	

5	活動指標	指標名	都市計画基本図のコピー及び都市計画図売払件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
				令和元年度	519.00	件 個別計画による目標値はありません。
		令和2年度	486.00	件		
		令和3年度	470.00	件		
		令和4年度	571.00	件		
	指標の説明 (指標式)					

6	直接事業費計	前年度決算額	115,608 円	決算額	65,764 円
---	--------	--------	-----------	-----	----------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	115,608	65,764	56.9 %	172,000
	一般財源②	73,188	27,264	37.3 %	123,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	42,420	38,500	90.8 %	49,000
	概算人件費⑤	8,227,461	9,525,071	115.8 %	
	総合計(①+⑤)	8,343,069	9,590,835	115.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	8,300,649	9,552,335	115.1 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	17,661	16,729	94.7 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	人件費の事業ごとの割合の見直しに伴い、概算人件費が増加しました。 地区計画の届出手続きについて、手引きの見直しを行い、事務の効率化を図りました。 都市計画支援システムの導入によりGISを活用した都市計画情報の提供がインターネット上で可能となり利便性が向上しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	地区計画については、秩序あるまちを形成するため、適切な審査が必要です。 都市計画支援システムの活用により庁内各課の事務効率化が検討されるよう周知する必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	都市計画支援システムの活用により事務効率化を図るため、庁内各課に対して情報提供を行います。 また、当該システムを活用した都市計画やまちづくりに関する情報管理等の事務を行うためのデータの整備等を行います。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	都市計画支援システムを活用した事務改善の実施やインターネット上での情報提供等を進めることにより、事務の効率化及び住民や事業者の利便性の向上を図ります。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	地区計画の届出手続きについて、マニュアル等を作成しホームページの内容を充実させることで、問合せ等に迅速に対応し、事務の効率化を図ります。 都市計画基本図を最新の内容に更新するとともに、都市計画基本図を活用する関係課間での効率的なGIS導入のための準備を行います。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 228

1	事業名	農業委員会運営事業	コード	01	06	01	01	02	-
2	担当部課	経済環境部	産業振興課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	農業者
2	働きかける相手(対象)	農地所有者、農業委員、農地利用最適化推進委員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	農地を効率的に利用する耕作者の権利取得等を促進するなど農地の利用関係を調整するとともに、貴重な資源である農地の転用を適切に規制し、町内で良好な農業経営が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農業委員会運営事業 農地の効率的な利用を図るため、農業的土地利用の観点からの確な農業委員会活動を行いました。 (1) 農業委員会総会開催回数 12回(毎月1回) (2) 農地法関係の届出及び許可の取扱件数 ア 3条許可 4件 イ 4条許可 1件 ウ 4条1項8号届出 13件 エ 5条許可 21件 オ 5条1項7号届出 53件 合計 92件 (3) 先進地視察研修 豊田市農ライフ創生センター及び豊田市中心間地域で集落営農を担う一般社団法人押井営農組合を視察しました。 (4) 農業委員用タブレット端末の購入 全額国費を活用し、農業委員用のタブレット端末を5台購入しました。	
---	-----------------------	--	--

5	指標名	農業委員会の開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	回 12.00	回
	令和2年度	回 12.00	回		
	令和3年度	回 12.00	回		
	令和4年度	回 12.00	回		
活動指標	指標の説明(指標式)				

6	直接事業費計	前年度決算額	4,009,542 円	決算額	4,309,589 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	4,009,542	4,309,589	107.5 %	5,689,000
	一般財源②	2,560,542	2,194,599	85.7 %	3,353,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	1,449,000	2,114,990	146.0 %	2,336,000
	概算人件費⑤	12,322,610	12,276,048	99.6 %	
	総合計(①+⑤)	16,332,152	16,585,637	101.6 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	14,883,152	14,470,647	97.2 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,240,263	1,205,887	97.2 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	農業委員会の委員を含め、町内農業者、関連団体等と農地の集積、集約について意見交換を行いました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	農地利用の最適化の推進を図るために、農業委員と農地利用最適化推進委員の更なる連携を図るとともに、各委員の農地利用最適化に対する理解を深め、活動を促進していく必要があります。 国庫事業を活用して購入したタブレットを適切に活用するために、タブレットに導入されている国の農地情報管理システム(サポートシステム)の情報を最新化する必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	令和4年度に、国事業を活用して購入した農業委員用タブレットの機能、活用方法等を確認しながら、これまで前例踏襲で実施していた事務について見直しを行い、事務の効率化等を図ります。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	引き続き農業委員会を適切に運営していく中で、農地法等関係法令に基づく農地転用案件等の適正な審査や農地の担い手への集約、集積の実現を図っていきます。 タブレットの効果的な利用方法について、引き続き近隣団体と情報共有しながら検討していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	農地最適化等の課題に対して、農業委員、農地最適化推進委員の農地パトロール、地元農業者との連絡調整等日々の活動を更に促進させるとともに、タブレット端末導入による農地の現地調査の効率化の方法を検討します。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 229

1	事業名	農業総務一般管理事業	コード	01	06	01	02	02	-
2	担当部課	経済環境部	産業振興課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	農業者、職員
2	働きかける相手(対象)	職員
3	どのような状態に したいのか(意図)	農業行政全般を円滑に推進できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農業総務一般事務事業 職員の知識向上を図るため、下記の研修会に参加しました。 (1) 管内農地転用・農振制度実務者研修会 (2) 農地事務担当者研修会 (3) 農地中間管理事業の推進に向けた研修会 (4) 農業者年金業務研修会 (5) その他農政関係の各種研修会	

5	指標名	会議、研修会等への参加回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	3.00	回
令和2年度	6.00	回	回		
令和3年度	8.00	回	回		
令和4年度	12.00	回	回		

6	直接事業費計	前年度決算額	77,290 円	決算額	37,742 円
---	--------	--------	----------	-----	----------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	77,290	37,742	48.8 %	56,000
	一般財源②	77,290	37,742	48.8 %	56,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	2,937,841	1,093,073	37.2 %	
	総合計(①+⑤)	3,015,131	1,130,815	37.5 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	3,015,131	1,130,815	37.5 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	376,891	94,235	25.0 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた研修会等が再開したことで、会議、研修会への参加回数が増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	農地法等の法令に基づく事務を適切に執行するため、今後も各職員が積極的に研修会等に参加し、知識の醸成に努める必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	職員の知識向上のため積極的に研修等に参加していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 230

1	事業名	土地改良一般管理事業	コード	01	06	01	05	03	-
2	担当部課	経済環境部	産業振興課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	農業者
2	働きかける相手(対象)	愛知用水東郷利水組合組合員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	愛知用水を利用する農業団体及び農業者と密接な連携を保ち、地区間相互の均衡を図ることで、農業用施設の維持管理や農業経営の円滑化、合理化及び効率化が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	土地改良事業一般事務事業 愛知県土地改良事業団体連合会に賦課金を支払いました。 次のとおり会議等に出席しました。 (1) 管内土地改良事業担当者会議 (2) ブロック別懇談会	
		愛知用水を利用する農業団体、農家等と密接なる連携を保つ愛知用水東郷利水組合の6管理区に対し、活動の活性化を図るため、活動奨励金として計162,000円を交付しました。	

5	指標名	会議、研修会の参加回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	5.00	回
	令和2年度	2.00	回		
	令和3年度	3.00	回		
	令和4年度	3.00	回		
活動指標	指標の説明(指標式)				

6	直接事業費計	前年度決算額	262,170 円	決算額	182,000 円
---	--------	--------	-----------	-----	-----------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	262,170	182,000	69.4 %	229,000
	一般財源②	262,170	182,000	69.4 %	229,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	1,060,887	1,429,402	134.7 %	
	総合計(①+⑤)	1,323,057	1,611,402	121.8 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	1,323,057	1,611,402	121.8 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	441,019	537,134	121.8 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	農業用水の適切な維持管理を図っていくため、その担い手である愛知用水東郷利水組合の活動を効果的に支援していく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	愛知用水東郷利水組合の活動を支援することで、当組合の安定的な運営に寄与していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 231

1	事業名	商工一般管理事業	コード	01	07	01	01	02	-
2	担当部課	経済環境部	産業振興課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	02 商工業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	商工業者、職員
2	働きかける相手(対象)	職員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	創業支援及び町内企業の雇用増進を図ることを目的に商工行政全般を円滑に推進できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	商工一般事務事業 (1) 産業立地に関する情報収集等のため、愛知県産業立地推進協議会に負担金を支払いました。 (2) 日進市、豊明市、長久手市、みよし市及び東郷町で構成する尾三商工研究会で情報交換を行いました。 ア 第1回 令和4年6月1日 イ 第2回 令和5年2月2日 (3) 8市町(大府市、豊明市、東郷町、みよし市、日進市、長久手市、瀬戸市及び尾張旭市) 合同地元就職フェアを開催し、就労支援を実施しました。 ア 開催日 令和5年2月23日 イ 開催場所 ウィンクあいち (4) 愛知県信用保証協会と連携し、企業を目指す方を支援するため、創業支援セミナーを開催しました。 ア 開催日 令和4年12月3日 イ 開催場所 東郷町民会館	

5	指標名	地元就職フェア参加町内企業数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	社 6.00	社 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	地元就職フェアに参加した町内企業数	令和2年度	社 5.00	社
			令和3年度	社 6.00	社
			令和4年度	社 7.00	社

6	直接事業費計	前年度決算額	43,773 円	決算額	96,940 円
---	--------	--------	----------	-----	----------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	43,773	96,940	221.5 %	112,000
	一般財源②	43,773	96,940	221.5 %	112,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	2,040,168	3,195,136	156.6 %	
	総合計(①+⑤)	2,083,941	3,292,076	158.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	2,083,941	3,292,076	158.0 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	347,324	470,297	135.4 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	3市1町で策定している創業支援計画に基づき、商工会が実施している創業支援セミナーに参加しました。 また、8市町合同の地元就職フェアを開催し就労支援を実施しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	商工業の振興と発展のため、今後も近隣自治体との連携を密にとる必要があります。また、研修等に積極的に参加し、職員の知識の向上を図る必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	合同地元就職フェアをより魅力あるイベントとして実施できるよう、参加企業のPR方法などを検討します。 また、創業支援及び町内企業の雇用増進を図ることができるよう、近隣市町との情報共有を密とし、必要な支援策などを検討します。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	商工業の振興、発展のため、様々な事例に対応できるよう、職員の知識の向上に努めます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（ 令和4年度 ）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 232

1	事業名	情報公開・個人情報保護事業	コード	01	02	01	01	03	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	01 協働のまちづくりを進める						
		施策の展開方向	② 広報の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町が保有する情報又は町が保有する本人の情報を知りたいと思う人
2	働きかける相手(対象)	町が保有する情報・情報公開請求者、職員、行政機関
3	どのような状態にしたいのか(意図)	情報公開条例の適正な解釈運用を図るとともに、町が保有する情報（不開示情報を除く。）を住民等が容易に取得できるようにします。また、個人情報の保護については、個人情報を適切に扱い、情報が漏えいすることがないように啓発します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	情報公開・個人情報保護事業 (1) 情報公開事業 ア 情報公開条例に基づく開示請求に対して開示・不開示の決定を行いました。 義務公開の請求件数 (7) 町長 14件（全部開示 6件、一部開示 2件、不開示 4件、取下げ 2件） (4) 教育委員会 4件（全部開示 1件、一部開示 2件、不開示 1件） 議会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会に対しての請求はありませんでした。 イ 情報公開の任意開示申出に対し、開示・不開示の決定を行いました。 町長 2件（全部開示 1件、一部開示 1件） ウ 町の情報を住民等の閲覧に供するための町政資料コーナーを維持しました。 資料数 303件（令和5年3月31日現在） (2) 個人情報保護事業 ア 自己情報の開示、訂正及び利用停止請求はありませんでした。 イ 情報公開・個人情報保護について、主任・主事級職員及び保育士を対象に研修を行いました。（令和4年5月25日、同年6月30日実施）	
---	-----------------------	---	--

5	指標名	情報開示請求件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	33.00	件 個別計画による目標値はありません。
	活動指標 (指標式)	情報公開制度及び個人情報保護制度による開示請求件数（任意開示申出を含む。）	令和2年度	50.00	件
			令和3年度	15.00	件
			令和4年度	20.00	件

6	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円
---	--------	--------	-----	-----	-----

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	0	0	0.0 %	140,000
	一般財源②	0	0	0.0 %	140,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	1,462,187	1,646,952	112.6 %	
	総合計(①+⑤)	1,462,187	1,646,952	112.6 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	1,462,187	1,646,952	112.6 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	97,479	82,348	84.5 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	令和3年度と同様に令和4年度も審査請求は無く、東郷町情報公開・個人情報保護審査会を開催することがなかったため、直接事業費がかかりませんでした。 情報公開制度・個人情報保護制度に関する職員研修を2回実施しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	今後も開かれた行政を推進するため、行政情報の開示に努めるとともに、個人情報の保護について法令に基づき適切に運用していく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	情報公開及び個人情報公開請求に対して開示事務を適正に実施します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	引き続き職員研修を実施し、制度に対する職員の理解の向上を図ります。 令和5年の改正個人情報保護法の施行に向け、情報収集等に努めるとともに、関係例規の改正作業を実施します。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 233

1	事業名	人権擁護委員活動事業	コード	01	02	08	01	04	-
2	担当部課	企画部	地域協働課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	02 自分らしく輝ける社会づくりを進める						
		施策の展開方向	① 平和の啓発と人権の尊重						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	人権擁護委員、小中学校児童生徒、町民
3	どのような状態にしたいのか(意図)	人権に関する啓発が行われ、町民が暮らしやすい健全な生活を保てるようにするとともに、人権の大切さや重要性を人権に関する作品の創作を通じて児童・生徒に理解されるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	人権擁護活動事業 (1) 相談所を開設しました。 ア 人権擁護委員の日 (年1回 6月) イ 人権週間 (年1回 12月) ウ 人権相談 (年10回) (2) 啓発活動を実施しました。 ア 全国中学生人権作文コンテスト 作文を町内3中学校へ募集依頼し、177点の応募がありました。 また、応募者に参加賞を配布しました。 イ 人権を理解する作品コンクール 書道・ポスター・標語作品を町内3中学校及び町内6小学校に募集依頼し、1,111点の応募がありました。 ウ 人権教室 人権への理解を深める授業の一環として、兵庫小学校の4年生を対象に人権教室を実施しました(参加者103名)。 エ 東郷町文化産業まつり啓発活動 人権特設ブースを設置し、人権クイズ・アンケートの実施、啓発資材の配布を行いました(参加者92名)。 (3) 人権擁護を目的とする名古屋人権擁護委員協議会及び愛知地区委員会に負担金を支出しました。 (4) 東郷町イメージキャラクターのトッピーが名古屋法務局長から人権広報大使に委嘱されました(令和4年9月2日から令和5年9月28日までの1年間)。	
---	-----------------------	--	--

5	指標名	人権擁護委員の活動回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	35.00	回
	指標の説明 (指標式)	人権擁護委員の相談業務、各種会議出席、人権教室開催等の活動回数	令和2年度	24.00	回
			令和3年度	28.00	回
			令和4年度	31.00	回
6	直接事業費計	前年度決算額	230,353 円	決算額	233,533 円

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	230,353	233,533	101.4 %	242,000
	一般財源②	230,353	233,533	101.4 %	242,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	5,135,003	5,143,038	100.2 %	
	総合計(①+⑤)	5,365,356	5,376,571	100.2 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	5,365,356	5,376,571	100.2 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	191,620	173,438	90.5 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	町民の多くが認識している東郷町イメージキャラクター「トッピー」が人権広報大使に委嘱されたことで、町民が人権について考える機会を設けることができました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	人権に関する啓発が行われ、町民が暮らしやすい健全な生活を保てるようにするとともに、人権の大切さや重要性を児童・生徒に理解してもらう必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	新型コロナウイルス感染症の行動規制が緩和されたことに伴い、きらきらこども人権教室を再開します。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	令和6年度は人権啓発活動地方委託事業の実施年度のため、人権啓発活動ネットワーク協議会と連携して啓発を実施します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	名古屋法務局から、人権広報大使として東郷町イメージキャラクター「トッピー」への委嘱式を行い、各種人権啓発活動に参加することで、啓発効果の向上を目指します。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 234

1	事業名	議長交際費事業	コード	01	01	01	01	03	-
2	担当部課	議会事務局	議会事務局						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町行政又は町議会の運営に係る公益団体及び個人
2	働きかける相手(対象)	町行政又は町議会の運営に係る公益団体及び個人
3	どのような状態に したいのか(意図)	町行政又は町議会の運営に係る公益団体及び個人との良好な関係を築けるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	議長交際費事業 (1) 葬儀香料 3件 (2) 供花代 2件 (3) 会費 0件 (合計) 5件

5	指標名	支出件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	26.00	件
活動指標 (指標式)	指標の説明	会費、葬儀香料、供花代の 件数の合計	令和2年度	2.00	件
			令和3年度	0.00	件
			令和4年度	5.00	件

6	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	71,500 円
---	--------	--------	-----	-----	----------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	0	71,500	0.0 %	250,000
	一般財源②	0	71,500	0.0 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	250,000
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	309,431	232,779	75.2 %	
	総合計(①+⑤)	309,431	304,279	98.3 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	309,431	304,279	98.3 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	60,856	0.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	新型コロナウイルス感染症の行動規制が緩和されたことにより一般葬が増加したため、葬儀にかかる香料及び供花の件数が増加し、直接事業費が増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	町行政及び町議会の運営に係る公益団体及び個人との良好な関係を築けるようにします。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	引き続き町行政及び町議会の運営に係る公益団体及び個人との良好な関係を築けるようにします。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	町行政又は町議会の運営に係る公益団体及び個人との良好な関係を築けるようにします。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 235

1	事業名	総務一般管理事業	コード	01	02	01	01	02	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	庁舎内職員
2	働きかける相手(対象)	共通消耗品・共通印刷物・例規類・保存文書・発送文書・保険・郵便
3	どのような状態にしたいのか(意図)	職員の事務処理の効率化を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	総務一般管理事業 (1) 庁舎内共通事務用品等購入 庁舎内で使用する共通事務用品等を購入しました。 また、再生紙、再生材を使用した製品等エコマーク製品の積極的な購入に努め、使用頻度の少ない消耗品等は購入を控えました。 (2) 文書の收受事務等 ア 郵便物等の收受及び差出を行いました。 イ 保存文書を保存年限ごとに管理し、廃棄文書を整理しました。 ウ 主事級職員を対象に文書事務に関する研修を実施しました。(令和4年9月20日実施) (3) 例規集保守管理 ア WEB版例規集の加除を実施し、町ホームページ上に掲載及びシステムの保守管理を行いました。(加除回数 3回) イ 冊子による例規集を5部作成しました。 (4) 損害賠償責任保険加入事務 町民等に対して、町所有又は管理する施設及び町業務の遂行上に起因して損害賠償責任が生じた場合の損害を補填するため、全国町村会総合賠償補償保険に加入しました。 (5) 法制執務関係事務 ア 官報がWEB上で検索できる情報サービスの提供を受け、法制執務の事務効率を図りました。 イ 係長・主査級職員を対象に法制執務に関する研修を実施しました。(令和4年9月20日実施) (6) 弁護士委託事務 町が抱える法律の相談を法律事務所に委託しました。(相談件数 延べ25件) (7) 地方行財政懇談会 参加回数 4回(6/7、11/10、12/8、2/14) (8) 行政不服審査会 尾三地区自治体間連携に基づき豊明市及び日進市と共同設置している行政不服審査会を2回開催しました。	
---	-----------------------	---	--

5	活動指標 指標の説明 (指標式)	共通事務件数 庁舎内の共通の事務事業の件数(共通事務用品等購入、文書の收受・発送、例規集、損害賠償責任保険、弁護士委託)	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	5.00	件 個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	5.00	件
			令和3年度	5.00	件
			令和4年度	5.00	件

6	直接事業費計	前年度決算額	27,098,791 円	決算額	33,844,880 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	27,098,791	33,844,880	124.9 %	31,632,000
	一般財源②	27,098,791	33,844,880	124.9 %	31,632,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	14,053,240	10,458,141	74.4 %	
	総合計(①+⑤)	41,152,031	44,303,021	107.7 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	41,152,031	44,303,021	107.7 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	8,230,406	8,860,604	107.7 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	弁護士委託事務について、係争中の個別事案が結審したことなどにより、直接事業費が増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	事業費の削減及び事務の効率化を図るため、消耗品の購入について在庫管理を適切に行い、必要最小限の購入に努めます。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	郵便事務の効率化に向け、マニュアルを作成します。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	消耗品等の在庫管理を適切に行います。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	消耗品の管理や郵便の差出等の業務の効率化に向け検討します。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 236

1	事業名	財政一般管理事業	コード	01	02	01	03	01	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町、職員
2	働きかける相手(対象)	職員、関係協議会及び公社
3	どのような状態に したいのか(意図)	財務会計制度を適正かつ正確に運用し、財政業務が円滑に実施できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	財政一般管理事業 (1) 図書購入や、実務提要等の追録加除を実施しました。 (2) 豊明市、日進市、みよし市及び長久手市と財政事務の円滑な推進を図るため、尾三地区財政担当者研究会に参加しました。 なお、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により総会及び研究会を書面により実施しました。 <内容> 総会 決算報告、役員選出、予算案・事業計画案の承認 第1回 見積徴取事務について など 第2回 電子決裁について など (3) 尾張土地開発公社に対し管理運営費用の負担金を支払い、公社の健全な運営に努めました。 (4) 地方自治法第243条の3及び東郷町財政状況の公表に関する条例第2条第1項の規定に基づき、財政状況を5月及び11月に公表しました。	

5	指標名	合同研修実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	2.00	件
	令和2年度	2.00	件		
	令和3年度	2.00	件		
	令和4年度	2.00	件		
活動指標	指標の説明 (指標式)				
6	直接事業費計	前年度決算額	1,712,555 円	決算額	1,764,887 円

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	1,712,555	1,764,887	103.1 %	1,760,000
	一般財源②	1,712,555	1,764,887	103.1 %	1,760,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	7,879,564	6,752,500	85.7 %	
	総合計(①+⑤)	9,592,119	8,517,387	88.8 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	9,592,119	8,517,387	88.8 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	4,796,060	4,258,694	88.8 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	新型コロナウイルス感染症の影響により尾三地区財政担当者研究会を対面形式で開催することはできませんでしたが、書面開催及びロゴチャットを活用することにより、財政に関する各自治体の状況など情報交換をすることができました。 また、受益者負担の適正化を図るため、使用料等の見直しを実施しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	補助金、負担金及び交付金について、時代に即した内容とするため、補助金事務の適正化を図る必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	補助金等の事務の適正化を図るため、補助金調書を作成し、補助金額等の検証を行います。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	補助金見直し及び使用料等見直しを適宜実施し、時代に即した財政運営を目指します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	尾三地区の情報交換方法として、ロゴチャットの活用を検討します。 また、受益者負担適正化のため、使用料の見直し案を作成します。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 237

1	事業名	会計処理事業	コード	01	02	01	04	02	-
2	担当部課	会計課	会計課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	納入義務者(納税者、諸収入金の納入者)債権者(支払の相手先)
2	働きかける相手(対象)	納入義務者(納税者、諸収入金の納入者)債権者(支払の相手先)
3	どのような状態にしたいのか(意図)	迅速かつ正確な会計処理事務を遂行できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	会計処理事業 (1) 収納事務 ア 迅速かつ正確な会計窓口業務を遂行しました。 イ 領収済通知書仕分け業務、口座振替データを分割統合する業務、地方税共通納税システムを利用して収納した公金のデータを分割統合する業務等を委託により処理しました。 (委託処理件数分のみ 223,601件) (2) 支払事務 ア 各課支出命令書 (7) 月当たり5回程度の会計課作成データでの口座振込 17,496件 (4) 担当課作成データでの口座振込 280件 イ 窓口払 297件 ウ 納付書支払 2,681件 エ 給与支払 延べ件数 3,161件 (3) 県証紙の売捌きをしました。(手数料 67,199円) (4) 源泉徴収事務(法定調書報告人数 1,803人分)
---	-----------------------	--

5	指標名	処理件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	236,645.00	件
活動指標	指標の説明 (指標式)	収入・支出の合計件数	令和2年度	237,666.00	件
			令和3年度	243,022.00	件
			令和4年度	247,516.00	件

6	直接事業費計	前年度決算額	20,351,312 円	決算額	26,426,408 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	20,351,312	26,426,408	129.9 %	25,650,000
	一般財源②	20,351,312	26,426,408	129.9 %	25,650,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	33,881,335	33,791,883	99.7 %	
	総合計(①+⑤)	54,232,647	60,218,291	111.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	54,232,647	60,218,291	111.0 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	223	243	109.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	キャッシュレス化の推進及び納税者の利便性の向上のため、地方税共通納税システムによる軽自動車税・固定資産税の納付を開始したことや、口座振替依頼の伝送方式をADP通信へ移行する必要があるため、これらに対応する総合収納システムの改修を行った結果、直接事業費が増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	慣例的に行われてきた財務会計システムの運用方法について、システムの仕様を開発元から情報収集するなどして、より効率的にシステムを運用できるよう研究する必要があります。 令和4年度から開始した公会計財務作成業務の委託により、本業務に関わる時間外勤務時間の減少するなど、業務が効率化されました。令和5年度以降も引き続き、効率化を進めます。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	指定金融機関である三菱UFJ銀行が、令和6年10月から振込手数料等の改定(増額)を予定しているため、手数料を軽減する方法についての検討を行います。 納付済通知書や口座振替などの納付情報を集約し、財務会計システムへ受け渡す役割を担っている総合収納システムの提供が今後終了となる可能性が高く、代替サービスによる運用に備え、準備を進めます。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	引き続き、適正な会計事務を実施します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	公会計財務書類作成業務がより効率的に行えるよう、財務会計システムの更新について積極的に関わっていきます。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 238

1	事業名	庁舎維持管理事業	コード	01	02	01	05	01	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	来庁者及び職員
2	働きかける相手(対象)	来庁者、職員、庁舎及び設備
3	どのような状態にしたいのか(意図)	省エネを徹底し、環境に配慮した効率的な庁舎維持管理を進めるとともに、行政サービスの提供の場となる庁舎の機能及び庁舎内環境の維持を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	庁舎管理事業 (1) 庁舎維持管理事業 ア 庁舎の機能を維持するため、電気設備・機械設備等の保守点検を行いました。 イ 庁舎の光熱水費等の支払い等を委託し、町民会館南駐車場の舗装修繕や中庭駐車場の区画線の引き直し等を行いました。 ウ 庁舎の防犯対策のため、機械警備を委託しました。 (2) 駐車場借地事業 役場庁舎等の来庁者及び公用車の車庫に利用するため、町民会館南駐車場(1,091㎡)、中部児童館南駐車場(1,283㎡)、東羽根穴駐車場(2,094㎡)及び公用車駐車場(38㎡)用地を賃借しました。 (3) 庁舎改修等事業 ア 老朽化した庁舎正面玄関ホール等の空調設備を更新しました。 イ 旧庁舎1・2階南壁面に防鳥ネットを設置し、庁舎の保全を図りました。 ウ 庁舎2階から4階の照明をLEDに交換し、省エネ化を図りました。 エ 機構改革に伴い、庁舎の看板作成や電話配線の改修工事を行いました。 (4) 備品整備事業 庁舎内の備品の老朽化等に伴い、新たに備品を購入しました。 ア 事務机 10台 イ 事務椅子 23脚 ウ 会議室用ホワイトボード 1台 エ 三連パーテーション 1台 オ 紙折機 1台 カ 石油ファンヒーター 3台 (5) 庁舎内事務機器賃借等事業 庁舎内の事務機器の賃借を継続しました。 主な事務機器 ・コピー機 9台(内ファクシミリ複合機5台) ・住民サービス用コピー機、印刷機、卓上丁合機、ファクシミリ 各1台 (6) 宿直業務委託事業 役場の夜間窓口や庁舎の施錠・開錠などの対応等として宿直業務をシルバー人材センターに委託しました。(常時2人体制)	
---	-----------------------	---	--

5	指標名	経常的な業務委託の件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	件 8.00	件 個別計画による目標値はありません。
	活動指標 指標の説明 (指標式)	庁舎管理を委託している業務の件数	令和2年度	件 8.00	件
			令和3年度	件 8.00	件
			令和4年度	件 9.00	件

6	直接事業費計	前年度決算額	101,220,169 円	決算額	113,319,891 円
---	--------	--------	---------------	-----	---------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	101,220,169	113,319,891	112.0 %	204,464,000
	一般財源②	101,220,169	113,319,891	112.0 %	204,464,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	7,148,470	6,670,153	93.3 %	
	総合計(①+⑤)	108,368,639	119,990,044	110.7 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	108,368,639	119,990,044	110.7 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	13,546,080	13,332,227	98.4 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	各種設備の修繕等により庁舎改修費が増加したことや光熱水費の高騰などに伴い、直接事業費が増加しました。 庁舎2階から4階の蛍光灯をLED化し、コスト削減に向けた取組を進めました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	老朽化が進む庁舎建物や設備の修繕等を、長寿命化計画に基づき計画的に進めていく必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	庁舎屋上の防水機能の回復を図るため、新庁舎の防水工事を施工し、旧庁舎の工事に向けた設計等を行っていきます。また、老朽化した旧庁舎2階のトイレを改修し、多目的トイレも設置することで、来庁者の利便性向上を図っていきます。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	庁舎の機能を維持していくため、修繕や備品整備等を計画的に行っていきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	庁舎2階から4階の蛍光灯をLED化し、コストの削減を図っていきます。また、老朽化した空調機器の更新や庁舎屋上の防水機能低下の復旧工事に向けた設計等を行っていきます。

内部事務評価表（ 令和4年度 ）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 239

1	事業名	財産管理事業	コード	01	02	01	05	02	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町有財産である動産及び不動産
3	どのような状態に したいのか(意図)	管理コストの低減を図るとともに、財産を適切に管理します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>1 普通財産管理事業</p> <p>(1) 普通財産(土地)を有効に利用するため、14件貸し付けしました。</p> <p>(2) 旧老人憩の家を解体し、跡地を整備しました。</p> <p>2 車両管理事業</p> <p>公用車を安全に運用するため適切な管理に努めました。</p> <p>(1) 老朽化した公用車をリースにより1台更新しました。</p> <p>(2) 車検・法定点検延台数 33台</p> <p>(3) 故障・事故等修理延台数 9台</p> <p>(4) 自動車保険(自賠責・自動車損害共済)に加入しました。</p> <p>(5) 町行政バスの運行管理業務を委託しました。</p> <p>(6) 公用車の燃料費を支出しました。</p> <p>(7) 道路交通法施行規則の改正に対応するため、アルコール検知器を35台購入しました。</p>
---	-----------------------	--

5	活動指標	指標名	公用車(バスを除く。)の年間総走行距離	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	km	105,123.00	km	個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	km	89,002.00	km	
			令和3年度	km	87,220.00	km	
			令和4年度	km	89,636.00	km	

6	直接事業費計	前年度決算額	21,559,222 円	決算額	38,999,900 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	21,559,222	38,999,900	180.9 %	25,680,000
	一般財源②	21,559,222	38,999,900	180.9 %	25,680,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	6,254,912	6,176,067	98.7 %	
	総合計(①+⑤)	27,814,134	45,175,967	162.4 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	27,814,134	45,175,967	162.4 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	319	504	158.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方(見直し)や事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	旧老人憩の家の解体工事を行ったことに伴い、直接事業費が増加しました。 また、公用車の適正利用と安全運転意識の向上を図るため、職員に周知・啓発を行うとともに、道路交通法施行規則の一部改正に伴い必要となる、運転前後の酒気帯び有無を確認するための検知器を整備しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	普通財産については、保有資産の活用を進めるため貸付けを行うとともに、草刈り等を委託し、適正な維持管理を行っていく必要があります。 また、公用車については、使用年数に応じて計画的な更新を進めていく必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	公用車の更新に当たり、ハイブリッド車など燃費効率や環境に配慮した車両を導入します。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	公用車更新の際には小排気量の車両に切り替えるなど、環境性能の高い車両を計画的に導入していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	道路交通法施行規則の一部改正に伴い、公用車の運転前後における酒気帯びの有無を確認することが義務づけられたため、円滑に対応できるよう、検知器の整備や記録データの管理を行っていきます。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 240

1	事業名	契約管理事業	コード	01	02	01	05	03	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	入札契約に関する事務
3	どのような状態に したいのか(意図)	契約の規模に応じて適切な方法で業者を選定することにより、公共工事等の品質を確保しつつ、低廉かつ透明性の高い契約を行っていきます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	契約事務事業 (1) 入札を131件（不調9件含む）執行しました。 ア 制限付き一般競争入札 0件 イ 事後審査型制限付き一般競争入札 3件 ウ 総合評価落札方式(特別簡易型)による指名競争入札 0件 エ 上記以外の指名競争入札 128件 入札については、一部未対応の案件を除き電子入札により実施しました。 (ア) 工事 35件 (イ) 業務等 96件 (2) 契約事務を執行しました。 (3) あいち電子自治体推進協議会に対して電子調達共同システム(CALS/EC、物品等)の負担金を支払いました。 (4) 契約管理システムの使用を長期継続賃貸借契約で継続し、保守を委託しました。 (5) 東郷町公契約条例に基づき、特定の公契約については労働条件報告書の提出を求めるなど、労働者の適正な労働環境の確保に向けた取組を行いました。	
---	-----------------------	--	--

5	指標名	当該年度における入札実施 件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	95.00	件
活動指標	指標の説明 (指標式)		令和2年度	104.00	件
			令和3年度	101.00	件
			令和4年度	131.00	件

6	直接事業費計	前年度決算額	3,760,725 円	決 算 額	3,915,808 円
---	--------	--------	-------------	-------	-------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	3,760,725	3,915,808	104.1 %	4,237,000
	一般財源②	3,760,725	3,915,808	104.1 %	4,237,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	9,504,216	9,552,317	100.5 %	
	総合計(①+⑤)	13,264,941	13,468,125	101.5 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	13,264,941	13,468,125	101.5 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	131,336	102,810	78.3 %		

Ⅲ. (Check)内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	案件内容に応じた契約方法により、入札事務を適正に執行しました。 また、令和5年4月1日からの入札・契約関係書類の押印廃止に向けて、要領等の改正を行いました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	契約の性質や目的に応じた効果的な契約方法の採用や、建設業における長時間労働や担い手不足の課題解決に向けて、適正な工期設定や施工時期の平準化などの取組を進めていく必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	適切な契約方法により入札を執行するため、各種法令の確認や要領の見直しを行っていきます。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	事後審査型一般競争入札の適用案件の拡大など、近隣市などの状況も確認しながら検討していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	入札・契約関係書類の押印廃止に向けて、関係要領等の見直しを行っていきます。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 241

1	事業名	企画調整一般管理事業	コード	01	02	01	06	02	-
2	担当部課	企画部	企画情報課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民、職員
2	働きかける相手(対象)	職員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	事務事業の評価を行い、効率的で効果的な町行政全般にわたる政策が、スムーズに推進されるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	企画調整一般管理事業 (1) 各種シンクタンク等が主催する研修会等へ11回参加しました。 (2) 政策会議の開催 第2次東郷町男女共同参画プラン中間見直し版(案)など4案件について開催しました。 (3) パブリックコメント制度の運用 第2次東郷町男女共同参画プラン中間見直し版(案)など2案件において実施しました。(提出意見数0件) (4) 事務改善奨励規程 職員自らが積極的に事務事業を改善しようとする意識の高揚を図るとともに、行政運営の効率化と住民サービスの向上を目的として表彰を行いました。(改善提案等件数66件、表彰件数10件) (5) 東郷町イメージキャラクター「トッピー」によるPR活動 イメージキャラクター「トッピー」の周知及び東郷町の広報活動を行いました。出演回数9回 トッピーイラストの使用(一般利用18件、町利用22件) (6) 広告掲載審査 広報紙、ホームページ、自治体案内図など各種媒体への広告掲載申込みに対して審査を行いました。 申込み件数28件、掲載会社数延べ93社(団体) (7) 第6次総合計画の推進並びに実施計画書の作成 第6次総合計画に掲げた将来都市像の実現のため、財政計画との整合を図りながら、第2次実施計画書(令和5年度から7年度)を取りまとめ、町ホームページで公表しました。(171事業) (8) 行政評価の実施 令和3年度に実施した全ての事務事業を対象に行政評価を実施しました。評価に当たっては、各課とヒアリングを行い、評価結果を報告書として取りまとめ、町政資料コーナーやホームページで公表しました。 336事業(一般事業168事業、内部事務108事業、内部事務実績55事業、建設事業5事業) (9) 総合教育会議の開催 1回 教育分野におけるまちづくり及び教職員の在校時間(時間外勤務)について協議を行いました。 (10) 東郷町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略検証会議の開催 「第2期東郷町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関する効果検証を書面により開催しました。 (11) 東郷町子ども議会の開催 町内在住の小学5年生から中学2年生までの6人の子ども議員が、一人ずつ質問や提案を行い、町長や幹部職員等が丁寧に答えました。(質問等の件数 11件) (12) デジタルトランスフォーメーションの推進 デジタルトランスフォーメーションを推進するため、各取組における具体的な手法等の検討を進めました。 作業部会(4部会) 7回
---	-----------------------	--

5	活動指標	指標名	実施計画計上事業	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			指標の説明 (指標式)	令和元年度	事業 192.00	事業	個別計画による目標値はありません。
				令和2年度	事業 167.00	事業	
				令和3年度	事業 189.00	事業	
				令和4年度	事業 171.00	事業	
6	直接事業費計	前年度決算額	2,823,220 円	決算額	748,132 円		

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	2,823,220	748,132	26.5 %	16,361,000
	一般財源②	2,823,220	748,132	26.5 %	16,361,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	21,223,937	21,939,282	103.4 %	
	総合計(①+⑤)	24,047,157	22,687,414	94.3 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	24,047,157	22,687,414	94.3 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	127,234	132,675	104.3 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	活動実績やコストに影響を及ぼした要因 東郷町施設サービス株式会社に対する新型コロナウイルス感染症対策に係る施設休業分の減収補填額が無くなったため、直接事業費が減少しました。 多様化する行政サービスへの課題に対応し、効率的な行政運営を推進するとともに、本町が直面する重要課題への取組を加速化させるため、組織機構改革を実施しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	多様化する行政サービスに対応するため実施した組織機構改革に続き、新たな組織に基づいた全庁的な事業の見直しが必要です。 新型コロナウイルス感染症により新しい生活様式が確立されたことから、これに対応した地域活性化及び人口減少対策に町全体で取り組んでいく必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	限りある財源を有効活用し、予算配分の選択と集中により行政サービスの最適化を図り、あわせて職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けた業務量の縮減に資することを目的に、全庁的な事業見直しを行います。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	第6次東郷町総合計画に掲げる各施策について進捗管理等を定期的に行い、将来都市像の実現に向けて推進していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	限られた情報資源(ヒト・モノ・カネ・情報)を効率的に活用できる組織とするため、組織機構改革を行います。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 242

1	事業名	町長交際費事業	コード	01	02	01	08	10	-
2	担当部課	企画部	人事秘書課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町政運営に係る公益団体及び個人
2	働きかける相手(対象)	町政運営に係る公益団体及び個人
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町政運営に係る公益団体及び個人との良好な関係を築きます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	町長交際費事業 (1) 町長交際費として下記のとおり支出しました。 ア 香料 9件 イ 会費 3件 ウ 供花代 5件 エ 見舞金 0件 オ 激励金 6件 カ その他 0件 合計 23件 (2) 町民ふれあい年始会を町・東郷町商工会・JA あいち尾東農業協同組合東郷支店の三者で開催しました。 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、縮小開催としました。 ア 日時 令和5年1月4日(水) イ 場所 いこまい館多目的室A ウ 参加者 90名(うち役場招待者58名)	

5	指標名	支払件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	32.00	件
活動指標 (指標式)	香料、会費、供花代、見舞金、激励金等の支払件数の合計		令和2年度	17.00	件
			令和3年度	14.00	件
			令和4年度	23.00	件

6	直接事業費計	前年度決算額	142,988 円	決算額	261,898 円
---	--------	--------	-----------	-----	-----------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	142,988	261,898	183.2 %	455,000
	一般財源②	142,988	261,898	183.2 %	455,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	1,267,495	2,090,350	164.9 %	
	総合計(①+⑤)	1,410,483	2,352,248	166.8 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	1,410,483	2,352,248	166.8 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	100,749	102,272	101.5 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	ふれあい年始会について、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、前年度同様に実施しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	町長交際業務については、対面を基本としていたコロナ禍前とは環境が異なることから、その時々な社会情勢に応じた方法で対応していきます。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	町長交際費の支出に関する内規等に基づき、適正に執行管理していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	アフターコロナとなりつつある状況を鑑み、開催会場や開催方法などを含め規模等について、三者で打合せを行いながら検討を重ね実施していきます。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 243

1	事業名	愛知県町村会運営事業	コード	01	02	01	08	11	-
2	担当部課	企画部	人事秘書課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	職員、町民
2	働きかける相手(対象)	各省庁、政党、国会議員等
3	どのような状態に したいのか(意図)	町村を中心とした地方自治の振興、発展に向けた政策に関する各種要望等について、町村会にて調査、審議し、当面する諸課題の解決を目指します。調査や国等への要望について検討し、情報交換等を行い、県内町村との連携を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	愛知県町村会運営事業 愛知県町村会の主催する総会、研修、各種会議に参加しました。 また、全国町村長大会において各省庁等に対して要望すべき事項の実現について働きかけを行いました。 (1) 全国町村長大会への出席 令和4年11月17日、ホテルニューオータニ（東京都千代田区）へ愛知郡町村会長が出席しました。 (2) 令和4年度愛知県町村会会費負担金の納入 394,000円を支出しました。 (3) 愛知県町村会理事会等への出席 総会、研修、各種会議等へ延べ24名が出席しました。 なお、研修や会議はオンライン形式や書面会議も含みます。 (4) 愛知県町村会を通じ、本町からは国、県に対して、「都市計画道路名古屋春木線の整備及び国道153号豊田西バイパスの6車線化について」及び「長寿命化対策等の施設修繕に対する予算確保及び交付基準の見直しについて」の支援を要望しました。		

5	指標名	県町村会主催行事等への参加	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	人 23.00	人 個別計画による目標値はありません。
	活動指標 指標の説明 (指標式)	県町村会主催行事等へ参加した町長を含む職員の延べ人数	令和2年度	人 19.00	人
			令和3年度	人 18.00	人
			令和4年度	人 24.00	人
6	直接事業費計	前年度決算額	394,000 円	決算額	424,410 円

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	394,000	424,410	107.7 %	533,000
	一般財源②	394,000	424,410	107.7 %	533,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	844,997	2,090,350	247.4 %	
	総合計(①+⑤)	1,238,997	2,514,760	203.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	1,238,997	2,514,760	203.0 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	68,833	104,782	152.2 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	町村会主催の会議、研修等へ出席することで、必要な行政情報を得るとともに、国や県等への要望を適切に行っていく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	町村会を通じて、県内町村と情報交換等を行い、連携を図るとともに、国や県等への各種要望等を適切に行い、本町における課題の解決を図っていきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 244

1	事業名	賦課徴収一般管理事業	コード	01	02	02	01	02	-
2	担当部課	総務部	税務課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	職員
2	働きかける相手(対象)	町税の各税目に共通する消耗品、備品等
3	どのような状態に したいのか(意図)	職員が課税事務等を円滑に実施できる環境を整えます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	税務一般管理事業 (1) 適正な賦課徴収を執行する上で法制度の遵守並びに適切な解釈が必要であり、また、税制改正等に適切に対応するため、関係法令集及び参考図書等を購入しました。 (2) 地方税法等の改正に伴い、東郷町税条例等を改正しました。	

5	指標名	参考図書等購入冊数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	冊 5.00	冊
令和2年度	冊 5.00	冊			
令和3年度	冊 4.00	冊			
令和4年度	冊 4.00	冊			

6	直接事業費計	前年度決算額	1,475,860 円	決算額	1,486,845 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	1,475,860	1,486,845	100.7 %	1,632,000
	一般財源②	1,475,860	1,486,845	100.7 %	1,632,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	317,186	318,279	100.3 %	
	総合計(①+⑤)	1,793,046	1,805,124	100.7 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	1,793,046	1,805,124	100.7 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	448,262	451,281	100.7 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	制度改正等情報の正確な把握に努め、税制改正等に迅速かつ的確に対応していく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	制度改正等情報の正確な把握に努め、税制改正等に迅速かつ的確に対応していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 245

1	事業名	町民税等賦課徴収事業	コード	01	02	02	02	01	-
2	担当部課	総務部	税務課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	個人町民税、法人町民税、軽自動車税、町たばこ税の納税義務者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	自主財源を確保するため、関係法令等に基づき適正な賦課を行います。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 町民税関係事業 (1) 所得、課税証明書等交付事務 (所得証明書交付件数 1,848件、課税・非課税証明書交付件数 3,000件、その他 30件) (2) 町県民税申告、確定申告受付事務 ア 役場大会議室において、税務署による確定申告の相談受付に協力しました。 協力期間 令和5年2月16日から令和5年2月28日まで (相談受付件数 132件) イ 確定申告におけるe-Tax入力作業及び窓口対応のために、会計年度任用職員を2名任用しました。 (延任用日数 35日) (3) 住民税等の課税資料をデータ化し適正に管理しました。 (4) 自治体からの文書による所得照会に対し回答しました。
		2 町民税等賦課徴収事業 (1) 個人町県民税賦課事務 ア 給与支払報告書、年金支払報告書、確定申告書、町県民税申告書等により当初賦課決定をし、賦課決定通知書及び納税通知書を発送しました。(普通徴収 4,734人、特別徴収 18,408人分) イ 修正申告又は異動処理等により、賦課更正決定(月例作業)をしました。 ウ 全ての課税資料により課税内容確認、非違事項の調査を行いました。 エ 給与支払報告書、課税資料等の整理等のため、会計年度任用職員8名を任用しました。(延任用日数 428日) (2) 法人町民税申告納付受付事務 課税法人に対し確定申告書、予定申告書等を送付しました。(送付件数 1,498件) (3) 軽自動車税賦課事務 ア 窓口において原動機付自転車等の発生、異動及び消滅処理を行いました。(751件) イ 愛知県軽自動車協会からの軽自動車異動等の報告により、異動処理を行いました。(4,377件) (4) 町たばこ税申告納付事務 町たばこ税申告納付(申告事業所数 2件、申告本数 43,140,218本)

5	活動指標 (指標式)	前年度住民税申告者への住民税申告書送付件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	876.00 件	個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	749.00 件	
			令和3年度	776.00 件	
			令和4年度	719.00 件	

6	直接事業費計	前年度決算額	10,026,552 円	決算額	11,224,165 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	10,026,552	11,224,165	111.9 %	11,916,000
	一般財源②	-16,750,553	-11,008,602	65.7 %	-12,448,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	26,777,105	22,232,767	83.0 %	24,364,000
	概算人件費⑤	38,617,374	41,137,629	106.5 %	
	総合計(①+⑤)	48,643,926	52,361,794	107.6 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	21,866,821	30,129,027	137.8 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	28,179	41,904	148.7 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	電子申告システムの利便性を高めるために必要な開発に係る地方税共同機構への負担金が増額となったため、直接事業費が増加しました。 所得税の確定申告について、円滑に進むよう事前予約制を導入しました。また、確定申告を従来の相談会場のほか、スマートフォンを使って申告をサポートする取組を実施しました。 令和5年1月より町LINE公式アカウントから、税の証明書の申請受付を行い、利便性の向上を図りました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	電子申告及びキャッシュレス納付の普及に伴い、申告義務者の利便性向上のため、制度の周知を図ります。また、事務処理業務も多様化することから、効率的に行えるよう職員の知識を向上させるとともに、各職員の知識差を平準化する必要があります。 確定申告については、スマートフォン申告を始めとする電子申告をさらに推進させるため、丁寧な説明や案内をしていきます。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	役場での確定申告について、電子化に伴い申告会場に出かけなくても済むよう、税務署と協力するなどして、スマートフォンやタブレット等を用いた申告方法を周知します。 住民の利便の向上のため、各種申告申請手続きの電子化に向けて、国の進める電子化に対応します。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	地方税法等関係法令の改正に基づき、公平かつ適正な賦課を行っていく必要があります。 令和7年度末までに行うシステムの標準化に向けその内容を把握するとともに、通常の事務を効率的に行えるよう、事務を精査する必要があります。役場での確定申告会場の利用に係る事前予約制について、電子申請の導入を検討します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	役場での確定申告会場の利用に係る事前予約制について、農業や各種事業者の申告へ拡大します。また、電子化に伴い、申告会場に出かけなくても済むよう、税務署と協力するなどして、スマートフォンやタブレット等を用いた申告方法を浸透させる必要があります。 一部の証明書の発行について、住民の利便の向上のため、電子申請を導入します。 今後も関係法令等に基づき公平かつ適正な賦課を行い、地方税法等の改正に誤りなく対応する必要があります。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 246

1	事業名	固定資産税賦課徴収事業	コード	01	02	02	02	02	-
2	担当部課	総務部	税務課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	固定資産税の納税義務者(土地・家屋・償却資産)
3	どのような状態にしたいのか(意図)	自主財源を確保するため、固定資産税・都市計画税については、関係法令等に基づき現況に合った適正な課税を行います。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 固定資産税関係事業 (1) 評価証明書等交付事務(評価証明書交付件数 1,153件、公租公課証明書交付件数 416件、物件証明書交付件数 5件、住宅用家屋証明件数 296件、無登録証明件数 48件) (2) 公図、名寄帳写しの交付事務(公図写し交付件数 241件、名寄帳写し交付件数 450件) (3) 土地・家屋台帳等の閲覧(閲覧件数 214件) (4) 土地・家屋台帳の異動加除等を処理するため、会計年度任用職員を1人任用しました。(延任用品数 52日)	
		2 固定資産税・都市計画税賦課徴収事業 (1) 固定資産税・都市計画税の課税明細書及び納税通知書を発送しました。(通知書発送件数 17,754件) (2) 固定資産(土地・家屋)の現況を把握するため、現地調査を実施しました。 (3) 新築家屋等の適正な賦課をするため、家屋評価調査を実施しました。(調査件数 342件) (4) 令和6年度評価替え(土地)のため、用途地区・状況類似区分図の作成、路線価図の作成、路線価敷設システムの更新等の評価業務を委託しました。 (5) 賦課期日現在の図面を整備するため、登記申請書を基に固定資産図面の加除業務を委託しました。 (6) 令和6年度評価替え(土地)のため、標準宅地の不動産鑑定評価、山林、田及び畑の鑑定評価の各業務をそれぞれ委託しました。 (7) 固定資産税・都市計画税を適正に賦課するため、鑑定評価価格の時点修正業務を委託しました。 (8) 事務を効率的に実施するため、航空写真撮影業務を日進市、みよし市及び長久手市と共同実施しました。	

5	指標名	固定資産税賦課件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	17,328.00	件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	固定資産税の当初賦課件数	令和2年度	17,409.00	件	
			令和3年度	17,621.00	件	
			令和4年度	17,754.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	24,400,900 円	決算額	42,932,924 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	24,400,900	42,932,924	175.9 %	45,225,000
	一般財源②	23,522,840	29,443,019	125.2 %	28,235,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	878,060	13,489,905	1,536.3 %	16,990,000
	概算人件費⑤	56,221,185	54,744,077	97.4 %	
	総合計(①+⑤)	80,622,085	97,677,001	121.2 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	79,744,025	84,187,096	105.6 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	4,526	4,742	104.8 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	<p>近隣自治体と合同で行っている航空写真撮影業務について今年度から幹事自治体となったこと及び評価替えのため3年ごとに行う鑑定評価業務の実施により直接事業費が増加しました。</p> <p>賦課物件については、土地の筆数の増加及び新築家屋の増加により、活動指標が向上しました。</p> <p>令和5年度から全国的に開始される共通納税システムの税目拡大に伴い、固定資産税・都市計画税の納付に対応できるよう、納付書及び印字項目の変更・追加を行いました。</p>	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	<p>固定資産税・都市計画税の賦課の適正化を図るため、引き続き町内全体の土地利用状況及び家屋の異動状況を賦課期日現在で正確に把握する必要があります。</p> <p>適正な賦課や正確な現状把握を推進するため、業務内容や事務の見直しを継続的に実施する必要があります。</p>	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	<p>東郷中央土地区画整理事業の進捗や動向を注視し、仮換地課税の時期、課税方法等を検討するとともに、関係地権者への周知、評価に向けた調査等を行い、適切な賦課に向けて事務内容の整理等を行います。</p> <p>未登記家屋の異動情報について、正確に把握できるよう引き続き申告や届出等の周知方法について検討します。</p>
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	<p>固定資産評価替え業務は高度な複合的作業であることから、引き続き近隣市との調整、電算システムの活用、業務委託等の事務の効率化を図るとともに、複数の職員での確認等により適切な課税を行い、納税義務者に対して課税への信頼を得るための仕組みを研究します。</p> <p>東郷中央土地区画整理事業について、進捗や動向を把握し、仮換地課税に向け、効率的な課税準備を行います。</p> <p>また、税制改正等に対応していくとともに、影響を鑑みながら、地価動向や固定資産の軽減制度による税収の見込みについて分析していきます。</p>

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	<p>東郷中央土地区画整理事業の進捗や動向を注視し、仮換地課税の時期、課税方法等を検討するとともに、関係地権者への説明、評価に向けた調査等を行い、適切な賦課に向けて準備を行います。</p>

内部事務評価表（ 令和4年度 ）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 247

1	事業名	戸籍住基一般管理事業	コード	01	02	03	01	02	-
2	担当部課	福祉部	住民課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民等
2	働きかける相手(対象)	住民課職員
3	どのような状態に したいのか(意図)	戸籍等に関する知識を身に付け職員の資質向上を図ることにより、戸籍・住民基本台帳事務が円滑に実施できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	戸籍等一般事務事業 法務局主催研修及び愛豊戸籍住民基本台帳事務研究会事業等に参加しました。 愛豊戸籍住民基本台帳事務研究会等の負担金を支出しました。 また、通常事務に係る消耗品等の購入を行いました。 (1) 研修等参加件数 ア 法務局主催研修 6件(対面4件、Web2件) イ 愛豊戸籍住民基本台帳事務研究会 6件(対面4件、書面2件) ウ 愛知戸籍住民基本台帳事務協議会 5件(書面5件) エ その他 8件(対面2件、書面4件、Web2件) 計 25件 (2) 負担金 愛豊管内における事務研究調査及び職員の資質向上を図るため、愛豊戸籍住民基本台帳事務研究会負担金を支出しました。	
---	-----------------------	--	--

5	指標名	研修等参加延べ件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	30.00	件 個別計画による目標値はありません。
	活動指標 指標の説明 (指標式)	令和2年度	11.00	件	
		令和3年度	23.00	件	
		令和4年度	25.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	284,575 円	決算額	215,835 円
---	--------	--------	-----------	-----	-----------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	284,575	215,835	75.8 %	17,695,000
	一般財源②	284,575	215,835	75.8 %	9,382,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	8,313,000
	概算人件費⑤	5,923,452	7,116,643	120.1 %	
	総合計(①+⑤)	6,208,027	7,332,478	118.1 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	6,208,027	7,332,478	118.1 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	269,914	293,299	108.7 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	戸籍、住民基本台帳に関する研究会や情報交換会、書面での事例研究等により、スキルアップを図りました。 窓口での手数料のキャッシュレス決済について、利用可能な決済サービスの種類を拡大したことで、住民の利便性向上に繋がりました。 愛豊戸籍住民基本台帳事務研究会の事務局となったため、上部組織及び構成市町との連絡調整等の事務が増加し、概算人件費が増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	年々複雑化する戸籍の受理審査や住民基本台帳の処理案件に対応するため、他市町の職員との事務協議会は有益な情報を得たり専門知識を習得する貴重な機会となっています。 窓口体制の改善、事務の効率化及び近隣市との連携などを研究し、窓口サービスの向上を図っていく必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	戸籍、住民基本台帳に関する研究会や情報交換会に積極的に参加し、スキルアップを図ります。 死亡届提出後の様々な申請や届出に関する手続きを分かりやすく住民に案内するためのハンドブックの作成の準備を進めていきます。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	今後も職員の知識向上を目指し、積極的に研究会や情報交換会に参加します。 マイナンバーカードを活用した住民サービスの利用拡大については、各種協議会を通じ近隣自治体等の情報を収集していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	各種協議会を通じ、個人番号カードの普及拡大について、近隣市町の情報を収集し、出張申請等共同での事業展開を検討します。 窓口での手数料の支払方法について、QRコード決済サービスの拡充を行います。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 248

1	事業名	戸籍事務事業	コード	01	02	03	01	03	-
2	担当部課	福祉部	住民課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民等
2	働きかける相手(対象)	戸籍届出書提出対象者、戸籍証明書請求者、町民又は本町に本籍のある人
3	どのような状態にしたいのか(意図)	戸籍届出書の審査受付、戸籍の記録整備、証明書発行等の事務を、迅速かつ正確に処理し、戸籍事務を円滑に実施します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	戸籍関係事務事業 戸籍届出書の審査受付、戸籍の記録整備、人口動態調査事務、戸籍証明書の発行を行いました。	
		(1) 届出件数	
		ア 出生	362件
		イ 婚姻	331件
		ウ 離婚	107件
		エ 死亡	408件
		オ 入籍	56件
		カ 転籍	298件
		キ 養子縁組	22件
		ク 養子離縁	7件
		ケ その他	137件
		計	1,728件
		(2) 処理件数	
		ア 新戸籍編成	336件
		イ 戸籍全部消除	229件
		計	565件
		(3) 諸証明件数	
		ア 全部事項証明(戸籍謄本)	5,122件(内 休日証明発行 50件)
		イ 全部事項証明(除籍謄本)	956件(内 休日証明発行 1件)
		ウ 個人事項証明(戸籍抄本)	754件(内 休日証明発行 9件)
		エ 個人事項証明(除籍抄本)	29件(内 休日証明発行 0件)
		オ 改製原謄抄本	1,223件(内 休日証明発行 1件)
		カ 身元証明	285件(内 休日証明発行 3件)
		キ その他証明	
		(7) 記載事項証明	0件(内 休日証明発行 0件)
		(4) 受理証明	141件(内 休日証明発行 0件)
		(ウ) 届出書に基づく証明	50件(内 休日証明発行 0件)
		計	8,560件(内 休日証明発行 64件)

5	指標名	戸籍届出件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	1,893.00 件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	出生・婚姻・離婚・死亡・ 転籍等の戸籍届出書の年間 受理件数	令和2年度	1,811.00 件	
			令和3年度	1,777.00 件	
			令和4年度	1,728.00 件	

6	直接事業費計	前年度決算額	4,157,145 円	決算額	16,088,437 円
---	--------	--------	-------------	-----	--------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	4,157,145	16,088,437	387.0 %	8,721,000
	一般財源②	521,042	2,168,236	416.1 %	5,012,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	3,636,103	13,920,201	382.8 %	3,709,000
	概算人件費⑤	18,490,775	17,144,641	92.7 %	
	総合計(①+⑤)	22,647,920	33,233,078	146.7 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	19,011,817	19,312,877	101.6 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	10,699	11,176	104.5 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	複雑化する戸籍の届出に迅速かつ的確に対応できるよう研修会や研究会等に参加しました。 戸籍システムの賃貸借期間満了に伴う機器の更新を行いました。 東郷和合知々釜土地区画整理事業に伴う地番変更事務を行いました。 戸籍法の改正に伴うシステム改修を行ったことにより、直接事業費が増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	社会の多様化や国際化により、複雑化する戸籍事務は高度な専門知識が要求されるため、各種研修に参加し職員のスキルアップを図りました。 戸籍システムの更新においては、次回更新時に標準準拠システムを導入する必要があるため、賃貸借の期間について他のシステムとの調整を図りました。 戸籍法改正に伴う情報連携等、次年度以降開始する新たな事務の運用に向け、確実に対応できる体制を構築していく必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	戸籍法の改正に伴い、個人番号との連携のための新たな事務の運用に向け、試行運用及び本格運用を行います。 戸籍の氏名振り仮名の法制化に向け、システム改修及び登録業務に係る情報を収集・把握し所要の準備を行います。 東郷中央土地区画整理事業に伴う換地処分公告に向けた現状把握のため、区域内に該当する戸籍一覧を最新情報に更新します。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	戸籍法の改正に伴う連携事務の本格運用を行います。 引き続き、戸籍の氏名振り仮名法制化の施行や標準準拠システムの導入に係る情報を収集・把握し、適切に運用してまいります。 引き続き、東郷中央土地区画整理事業に伴う字名地番変更に係る準備を進めてまいります。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	戸籍システムの賃貸借期間満了に伴い機器の更新を行います。 戸籍法の改正に伴い、個人番号との連携のためのシステム改修を行います。 東郷知々釜土地区画整理事業に伴い、該当区域内の戸籍について地番変更事務を行います。また、東郷中央区画整理区域内に該当する戸籍について、最新情報を調査・把握し、一覧を更新します。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 249

1	事業名	住民基本台帳事務事業	コード	01	02	03	01	04	-
2	担当部課	福祉部	住民課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民等
2	働きかける相手(対象)	転入出等届出書提出者、印鑑登録申請者、住基証明書請求者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	転入出等届出の受付、印鑑登録、住基関係証明書の発行、電子申請による住民票交付、個人番号カード(マイナンバーカード)の交付等の事務を、迅速かつ正確に処理し、住民基本台帳事務を円滑に実施します。また、個人番号カードの普及を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	住民基本台帳関係事業 転入出届出受付、印鑑登録、住民基本台帳関係の事務処理、人口動向調査事務及び住民基本台帳に関する証明書の発行を行いました。また、平成27年度から始まった個人番号(マイナンバー)制度について、引き続き個人番号カードの交付を実施しました。なお、個人番号カードについては、第2第4土曜日の休日証明窓口(休日交付)に加え、第3木曜日の平日夜間窓口、第1日曜日に休日臨時窓口を開設し、個人番号カードの普及に努めました。																																																	
		<p>(1) 届出件数</p> <table border="0"> <tr><td>ア 転入</td><td>1,621件</td></tr> <tr><td>イ 転出</td><td>1,219件</td></tr> <tr><td>ウ 転居</td><td>303件</td></tr> <tr><td>エ 世帯変更</td><td>129件</td></tr> <tr><td>オ 転出(法第24条の2)</td><td>278件</td></tr> <tr><td>カ 職権修正</td><td>1,840件</td></tr> <tr><td>キ 出生</td><td>280件</td></tr> <tr><td>ク 死亡</td><td>382件</td></tr> <tr><td>ケ 帰化</td><td>3件</td></tr> <tr><td>計</td><td>6,055件</td></tr> </table> <p>(2) 印鑑登録件数</p> <table border="0"> <tr><td>ア 登録</td><td>1,653件 (内 休日窓口登録 47件)</td></tr> <tr><td>イ 廃止</td><td>448件</td></tr> <tr><td>ウ 転出</td><td>736件</td></tr> <tr><td>エ 死亡</td><td>326件</td></tr> <tr><td>オ 氏変更</td><td>34件</td></tr> <tr><td>カ その他</td><td>5件</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,202件 (内 休日窓口登録 47件)</td></tr> </table> <p>(3) 諸証明等件数</p> <table border="0"> <tr><td>ア 住民票閲覧</td><td>2,784件</td></tr> <tr><td>イ 住民票写し等</td><td>20,117件 (内 休日証明発行 243件 内 広域交付 20件)</td></tr> <tr><td>ウ 印鑑登録証明</td><td>12,401件 (内 休日証明発行 185件)</td></tr> <tr><td>エ 戸籍附票の写し</td><td>1,255件 (内 休日証明発行 7件)</td></tr> <tr><td>オ 転出証明</td><td>1,219件</td></tr> <tr><td>カ その他証明</td><td>680件 (内 休日証明発行 0件 内 記載事項証明 452件)</td></tr> <tr><td>キ 個人番号カード</td><td>10,980件 (内 休日交付 818件 内 平日夜間 190件 内 休日臨時 482件)</td></tr> <tr><td>計</td><td>49,436件 (内 休日証明等発行 1,735件)</td></tr> </table>		ア 転入	1,621件	イ 転出	1,219件	ウ 転居	303件	エ 世帯変更	129件	オ 転出(法第24条の2)	278件	カ 職権修正	1,840件	キ 出生	280件	ク 死亡	382件	ケ 帰化	3件	計	6,055件	ア 登録	1,653件 (内 休日窓口登録 47件)	イ 廃止	448件	ウ 転出	736件	エ 死亡	326件	オ 氏変更	34件	カ その他	5件	計	3,202件 (内 休日窓口登録 47件)	ア 住民票閲覧	2,784件	イ 住民票写し等	20,117件 (内 休日証明発行 243件 内 広域交付 20件)	ウ 印鑑登録証明	12,401件 (内 休日証明発行 185件)	エ 戸籍附票の写し	1,255件 (内 休日証明発行 7件)	オ 転出証明	1,219件	カ その他証明	680件 (内 休日証明発行 0件 内 記載事項証明 452件)	キ 個人番号カード	10,980件 (内 休日交付 818件 内 平日夜間 190件 内 休日臨時 482件)
ア 転入	1,621件																																																		
イ 転出	1,219件																																																		
ウ 転居	303件																																																		
エ 世帯変更	129件																																																		
オ 転出(法第24条の2)	278件																																																		
カ 職権修正	1,840件																																																		
キ 出生	280件																																																		
ク 死亡	382件																																																		
ケ 帰化	3件																																																		
計	6,055件																																																		
ア 登録	1,653件 (内 休日窓口登録 47件)																																																		
イ 廃止	448件																																																		
ウ 転出	736件																																																		
エ 死亡	326件																																																		
オ 氏変更	34件																																																		
カ その他	5件																																																		
計	3,202件 (内 休日窓口登録 47件)																																																		
ア 住民票閲覧	2,784件																																																		
イ 住民票写し等	20,117件 (内 休日証明発行 243件 内 広域交付 20件)																																																		
ウ 印鑑登録証明	12,401件 (内 休日証明発行 185件)																																																		
エ 戸籍附票の写し	1,255件 (内 休日証明発行 7件)																																																		
オ 転出証明	1,219件																																																		
カ その他証明	680件 (内 休日証明発行 0件 内 記載事項証明 452件)																																																		
キ 個人番号カード	10,980件 (内 休日交付 818件 内 平日夜間 190件 内 休日臨時 482件)																																																		
計	49,436件 (内 休日証明等発行 1,735件)																																																		

5	活動指標 指標の説明 (指標式)	転入出届等の異動者数 転入・転出・転居・職権修正・出生・死亡等の異動件数の合計	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	6,352.00 件	個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	5,940.00 件	
			令和3年度	17,150.00 件	
			令和4年度	6,055.00 件	

6	直接事業費計	前年度決算額	32,828,881 円	決算額	19,215,426 円
---	--------	--------	--------------	-----	--------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	32,828,881	19,215,426	58.5 %	5,033,000
	一般財源②	2,573,497	-5,810,614	-225.8 %	3,368,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	30,255,384	25,026,040	82.7 %	1,665,000
	概算人件費⑤	30,017,493	32,671,862	108.8 %	
	総合計(①+⑤)	62,846,374	51,887,288	82.6 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	32,590,990	26,861,248	82.4 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1,900	4,436	233.5 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	マイナンバーカード普及拡大のため、町内商業施設等で他市と合同出張申請を実施しました。マイナポイントを活用したマイナンバーカード普及活動として、広報紙やホームページで情報を掲載し、チラシやポスターを各所に設置することで周知を図りました。マイナンバーカードの申請、交付事務及びマイナポイント申込み補助の業務が大幅に増加したため、概算人件費が増加しました。住民の利便性向上のためマイナンバーカードの申請支援事務を郵便局に委託しました。東郷和合知々釜土地区画整理事業に伴う地番変更事務を行いました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	マイナンバーカード普及拡大活動とマイナポイント第2弾の申込みの影響で、マイナンバーカードの申請及び交付事務が大幅に増加しています。また、マイナンバーカード所有者の増加に伴い、電子証明書更新事務や転入者のマイナンバーカード継続利用手続、券面変更手続も大幅に増加しています。マイナンバーカードに係る手続は、迅速で正確な対応が必要なため、職員のスキルアップ及び運用体制の強化を図る必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	マイナポイント第2弾の申請期間延長に係る窓口の体制強化のため、会計年度任用職員を追加任用します。 東郷中央土地区画整理事業に伴う字名地番変更について、対象者の情報収集や現地確認等を行い、事務に遺漏がないよう準備を進めていきます。 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律(マイナンバー法)等の一部改正により、住民票や戸籍の附票等に氏名の振り仮名を記載するためのシステム改修が必要なため、各種情報を収集し、所要の準備を行っていきます。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	住民基本台帳ネットワークシステムのコミュニケーションサーバーの大幅な更改を行う必要があるため、情報を収集、把握し、令和7年2月の更改に向けて所要の準備を行っていきます。 基幹業務システムにおける住民記録システム、印鑑登録システム等の標準化について、関係部署と調整を進めていきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	個人番号カードに係る窓口の体制強化のため、会計年度任用職員を追加雇用します。また、マイナポイント事業に対応するため、操作端末を増台して窓口混雑の緩和を図ります。さらに、個人番号カード出張申請についても、自治会、老人クラブ、町内企業等に積極的に声がけを行います。 知々釜土地区画整理事業の換地処分に伴う住居表示の変更事務については、事務に遺漏がないよう関係部署と綿密に調整を行います。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 250

1	事業名	選挙管理委員会運営事業	コード	01	02	04	01	01	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	有権者
2	働きかける相手(対象)	有権者
3	どのような状態に したいのか(意図)	選挙関係法規に基づき、選挙管理委員会に関する事務を適正に管理執行するとともに、選挙時には、選挙情報を有権者等に情報提供します。また、検察審査員候補者予定者及び裁判員候補者予定者のくじを適正に行います。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	選挙管理委員会運営事業 選挙管理委員会を13回開催し、次の案件を決定し又は実施しました。 (1) 選挙人名簿登録及び登録抹消(定時登録) 町内に住民票が作成され引き続き3か月以上の住所がある日本国籍を有する者を登録しました。 また、本町から転出して4か月以上の日本国籍を有する者を抹消しました。 6月・9月・12月・3月における選挙人名簿の登録者数を決定しました。 (令和5年3月定時登録者数34,765人) (2) 在外選挙人名簿登録及び登録抹消 町内に最終住所があった日本国籍を有する者が日本国外へ転出し、3か月経過した者のうち在外選挙人名簿への登録申請があったものを登録しました。 また、登録された者が国内へ転入し、4か月経過した者を抹消し、定時登録時に在外選挙人の数を決定しました。 (令和5年3月定時登録者数28人) (3) 検察審査会検察審査員候補予定者くじの実施 令和4年9月の定時登録で選挙人名簿に登録された者の中から、くじによって10人の検察審査員の候補者予定者を選定し、名古屋第一検察審査会事務局に報告しました。 (4) 裁判員制度裁判員候補予定者くじの実施 令和4年9月の定時登録で選挙人名簿に登録された者の中から、くじによって67人の裁判員の候補者予定者を選定し、名古屋地方裁判所に報告しました。		
---	-----------------------	--	--	--

5	活動指標 指標の説明 (指標式)	選挙管理委員会開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	回 11.00	回 個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	回 4.00	回
			令和3年度	回 8.00	回
			令和4年度	回 13.00	回

6	直接事業費計	前年度決算額	436,253 円	決算額	563,678 円
---	--------	--------	-----------	-----	-----------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	436,253	563,678	129.2 %	537,000
	一般財源②	355,391	406,186	114.3 %	454,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	80,862	157,492	194.8 %	83,000
	概算人件費⑤	893,558	988,171	110.6 %	
	総合計(①+⑤)	1,329,811	1,551,849	116.7 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	1,248,949	1,394,357	111.6 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	156,119	107,258	68.7 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	東郷町長選挙、参議院議員通常選挙、愛知県知事選挙及び定例事務に当たり、選挙管理委員会事務を適正に遂行しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	引き続き、厳正かつ公平な選挙の執行のため、選挙管理委員会の適正な運営に努めていく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	各種選挙、検察審査会及び裁判員制度の適正な実施に努めます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（ 令和4年度 ）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 251

1	事業名	参議院議員通常選挙執行业務	コード	01	02	04	03	01	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	有権者
2	働きかける相手(対象)	有権者
3	どのような状態に したいのか(意図)	公平公正かつ効率的な選挙事務を遂行します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	参議院議員通常選挙執行业務 令和4年7月10日に参議院議員通常選挙を執行しました。 (1) 告示日 令和4年6月22日 (2) 投票日 令和4年7月10日 期日前投票期間 令和4年6月23日から令和4年7月9日まで (3) 選挙公報発行部数 19,000部 (4) 入場整理券を各世帯へ送付しました。 (5) 投票所設営数 ア 13投票所(区) (投票時間 午前7時から午後8時まで) イ 期日前投票所 東郷町役場1階ロビー (投票時間 午前8時30分から午後8時まで) (6) ポスター掲示場数 89か所 (7) 啓発 公用車3台に啓発看板及び拡声器を設置し、啓発活動を行いました。 (8) 投票状況 ア 当日有権者数 34,761人(男 17,297人、女 17,464人) イ 投票者数 (7) 参議院議員愛知県選挙区選出議員選挙 19,615人(男 9,846人、女 9,769人) (4) 参議院議員比例代表選出議員選挙 19,616人(男 9,846人、女 9,770人) ウ 投票率 (7) 参議院議員愛知県選挙区選出議員選挙 56.43% (4) 参議院議員比例代表選出議員選挙 56.43% (9) 開票 ア 開票開始日時 令和4年7月10日 午後9時から イ 開票結果 (7) 参議院議員愛知県選挙区選出議員選挙 投票総数 19,615票(有効投票数 19,052票、無効投票数 563票) (4) 参議院議員比例代表選出議員選挙 投票総数 19,616票(有効投票数 19,022票、無効投票数 594票)	
---	-----------------------	---	--

5	活動指標 指標の説明 (指標式)	参議院議員通常選挙における選挙人名簿登録者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	人 34,554.00	人 個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	人 0.00	人
			令和3年度	人 0.00	人
			令和4年度	人 34,845.00	人

6	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	15,707,868 円
---	--------	--------	-----	-----	--------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	0	15,707,868	0.0 %	0
	一般財源②	0	310,889	0.0 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	15,396,979	0.0 %	0
	概算人件費⑤	0	2,698,949	0.0 %	
	総合計(①+⑤)	0	18,406,817	0.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	0	3,009,838	0.0 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	86	0.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	選挙の種類により公示日(告示日)から選挙期日までの期間、選挙の事務内容が異なるため、選挙ごとに事業経費が異なります。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	選挙の実施及び準備に係る期間が長いことなどから、職員の事務従事時間が長く、長時間労働となっている状況であるため、より効率的に選挙事務を行えるよう研究していく必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	職員の事務従事の時間短縮のため、選挙事務の効率化について研究していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 252

1	事業名	愛知県知事選挙事業	コード	01	02	04	04	01	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	有権者
2	働きかける相手(対象)	有権者
3	どのような状態に したいのか(意図)	公平公正かつ効率的な選挙事務を遂行します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	愛知県知事選挙執行业業 令和5年2月5日に愛知県知事選挙を執行しました。	
		(1) 告示日 令和5年1月19日 (2) 投票日 令和5年2月5日 期日前投票期間 令和5年1月20日から令和5年2月4日まで (3) 選挙公報発行部数 19,000部 (4) 入場整理券を各世帯へ送付しました。 (5) 投票所設置数 ア 13投票所(区) (投票時間 午前7時から午後8時まで) イ 期日前投票所 東郷町役場1階ロビー (投票時間 午前8時30分から午後8時まで) (6) ポスター掲示場数 89か所 (7) 啓発 公用車3台に啓発看板及び拡声器を設置し、啓発活動を行いました。 (8) 投票状況 ア 当日有権者数 34,591人(男 17,226人、女 17,365人) イ 投票者数 13,972人(男 6,864人、女 7,108人) ウ 投票率 40.39% (9) 開票 ア 開票開始日時 令和5年2月5日 午後9時から イ 開票結果 投票総数 13,972票(有効投票数 13,631票、無効投票数 341票)	

5	活動指標 指標の説明 (指標式)	愛知県知事選挙における選挙人名簿登録者数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	人	0.00	個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	人	0.00	
			令和3年度	人	0.00	
			令和4年度	人	34,776.00	

6	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決 算 額	12,517,254 円
---	--------	--------	-----	-------	--------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	0	12,517,254	0.0 %	0
	一般財源②	0	0	0.0 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	12,517,254	0.0 %	0
	概算人件費⑤	0	2,698,949	0.0 %	
	総合計(①+⑤)	0	15,216,203	0.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	0	2,698,949	0.0 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	78	0.0 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	選挙の種類により公示日(告示日)から選挙期日までの期間、選挙の事務内容が異なるため、選挙ごとに事業経費が異なります。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	選挙の実施及び準備に係る期間が長いことなどから、職員の事務従事時間が長く、長時間労働となっている状況であるため、より効率的に選挙事務を行えるよう研究していく必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	職員の事務従事の時間短縮のため、選挙事務の効率化について研究していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 253

1	事業名	県議会議員一般選挙事業	コード	01	02	04	05	01	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	有権者
2	働きかける相手(対象)	有権者
3	どのような状態に したいのか(意図)	公平公正かつ効率的な選挙事務を遂行するための準備をします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	愛知県議会議員一般選挙執行事業 令和5年4月9日に執行予定の愛知県議会議員一般選挙の準備を行いました。 (1) 告示日 令和5年3月31日 (2) 投票日 令和5年4月9日 (3) ポスター掲示場数 89か所 本選挙は、告示日において立候補者数が選挙をすべき人数（2人）を超えなかったため、無投票でした。	

5	指標名	愛知県議会議員一般選挙における選挙人名簿登録者数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	人 0.00	人	個別計画による目標値はありません。
活動指標 (指標式)	指標の説明	選挙時登録における選挙人名簿登録者数	令和2年度	人 0.00	人	
			令和3年度	人 0.00	人	
			令和4年度	人 34,796.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決 算 額	1,475,425 円
---	--------	--------	-----	-------	-------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	0	1,475,425	0.0 %	0
	一般財源②	0	0	0.0 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	1,475,425	0.0 %	0
	概算人件費⑤	0	539,790	0.0 %	
	総合計(①+⑤)	0	2,015,215	0.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	0	539,790	0.0 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	16	0.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方(見直し)や事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	選挙の種類により公示日(告示日)から選挙期日までの期間、選挙の事務内容が異なるため、選挙ごとに事業経費が異なります。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	選挙の実施及び準備に係る期間が長いことなどから、職員の事務従事時間が長く、長時間労働となっている状況であるため、より効率的に選挙事務を行えるよう研究していく必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	職員の事務従事の時間短縮のため、選挙事務の効率化について研究していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 254

1	事業名	町長選挙事業	コード	01	02	04	06	01	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	有権者
2	働きかける相手(対象)	有権者
3	どのような状態に したいのか(意図)	公平公正かつ効率的な選挙事務を遂行します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	東郷町長選挙執行事業 令和4年4月24日に東郷町長選挙を執行しました。 (1) 告示日 令和4年4月19日 (2) 投票日 令和4年4月24日 期日前投票期間 令和4年4月20日から令和4年4月23日まで (3) 選挙公報発行部数 19,000部 (4) 入場整理券を各世帯へ送付しました。 (5) 投票所設置数 ア 13投票所(区) (投票時間 午前7時から午後8時まで) イ 期日前投票所 東郷町役場1階ロビー (投票時間 午前8時30分から午後8時まで) (6) ポスター掲示場数 89か所 (7) 啓発 公用車3台に啓発看板及び拡声器を設置し、啓発活動を行いました。 (8) 投票状況 ア 当日有権者数 34,198人(男 16,995人、女 17,203人) イ 投票者数 15,330人(男 7,304人、女 8,026人) ウ 投票率 44.83% (9) 開票 ア 開票開始日時 令和4年4月24日 午後9時から イ 開票結果 投票総数 15,330票(有効投票数 15,152票、無効投票数 178票)	
---	-----------------------	---	--

5	活動指標 指標の説明 (指標式)	東郷町長選挙における選挙人名簿登録者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	人 0.00	人 個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	人 0.00	人
			令和3年度	人 0.00	人
			令和4年度	人 34,743.00	人

6	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	13,237,396 円
---	--------	--------	-----	-----	--------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	0	13,237,396	0.0 %	0
	一般財源②	0	13,237,396	0.0 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	0	3,470,078	0.0 %	
	総合計(①+⑤)	0	16,707,474	0.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	0	16,707,474	0.0 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	481	0.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	選挙の種類により公示日(告示日)から選挙期日までの期間、選挙の事務内容が異なるため、選挙ごとに事業経費が異なります。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	選挙の実施及び準備に係る期間が長いことなどから、職員の事務従事時間が長く、長時間労働となっている状況であるため、より効率的に選挙事務を行えるよう研究していく必要があります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	職員の事務従事の時間短縮のため、選挙事務の効率化について研究していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 255

1	事業名	統計事務管理事業	コード	01	02	05	01	02	-
2	担当部課	企画部	企画情報課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	国、県、町、統計を利用する人
2	働きかける相手(対象)	町民、関係機関等、登録統計調査員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	統計調査員の資質向上を図り、統計調査を円滑に実施できるようにします。東郷町の現況と推移発展を掲載した基本的な統計資料を作成することで、行政施策の立案や基礎資料、民間事業所の事業活動など幅広く活用できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 統計調査員関係事業 (1) 常任統計調査員の資質向上に資することを目的とした常任登録統計調査員研修会について、令和4年5月19日に開催しました。 (2) 常任登録統計調査員9名に報償費を支払いました。
		2 統計一般事務事業 (1) オープンデータの推進 ア 近隣7市町で構成する「オープンデータ推進会議」に3回参加しました。(オンライン3回) イ 昨年度に引き続き、「東郷の統計」のデータをPDF形式のほかエクセル形式でもホームページに掲載しました。 (2) 「東郷の統計」を作成し、町ホームページに掲載しました。 (3) 市町村民所得推計事務を行いました。 (4) データの利活用を推進するため、地域情報化アドバイザー制度を利用し、職員向けに研修を実施しました。

5	活動指標	指標名	東郷町常任登録統計調査員の人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	人 10.00	人	個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	人 10.00	人	
			令和3年度	人 9.00	人	
			令和4年度	人 9.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	77,240 円	決算額	75,680 円
---	--------	--------	----------	-----	----------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	77,240	75,680	98.0 %	90,000
	一般財源②	77,240	75,680	98.0 %	90,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	4,480,609	5,093,048	113.7 %	
	総合計(①+⑤)	4,557,849	5,168,728	113.4 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	4,557,849	5,168,728	113.4 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	506,428	574,303	113.4 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	令和4年度に実施された統計調査に常任登録統計調査員を任命し(就業構造基本調査調査員5名)、統計調査事務の円滑な実施に寄与しました。 昨年度に引き続き、「東郷の統計」について、データの利活用を目的とし、ホームページにPDFデータだけでなくエクセルデータでも掲載しました。また、ファイルサーバーにも掲載し、職員が閲覧・活用できる状態にしました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	プライバシー意識の高まりや、新型コロナウイルス感染症による影響で調査への協力拒否や調査の説明の難しさから、調査環境悪化による調査員の人員確保が難しくなっています。 今後も円滑な調査実施のため、新たな調査員の確保に努めるとともに調査員の資質向上のため、調査員を対象とした研修会を実施します。 オープンデータの推進に関しては、近隣6市と連携し、公開済みのデータの更新やデータの活用について研究し、利便性の向上を図ります。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	常任登録統計調査員へ研修会を実施し、調査について知っていただく機会を設け、円滑な調査を実施します。 職員を対象としたデータ利活用研修を行い、データ利活用を進めていきます。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	登録統計調査員の統計知識の習得及び資質の向上を目的に、研修会を開催します。また、登録統計調査員の人員を確保するため、広報、ホームページ等において統計調査事務の重要性を広く周知し、調査員の募集を行います。 オープンデータや統計調査結果等データの利活用の促進のため、引き続き調査研究を行い、実施に向け準備をしていきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	常任登録統計調査員へ研修会を実施し、調査について知っていただく機会を設け、円滑な調査を実施します。 データ利活用に対する意識改革に繋がるよう、職員を対象とした研修を行い、データ利活用推進の機運を高めていきます。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 256

1	事業名	基幹統計調査事業	コード	01	02	05	02	01	-
2	担当部課	企画部	企画情報課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	国、県、町、町民
2	働きかける相手(対象)	町内の世帯または事業所などの統計調査対象者
3	どのような状態に したいのか(意図)	各統計調査で正確なデータを収集することにより国、県、市町村での各種計画の策定、社会政策の立案に活用できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>1 就業構造基本調査【所管：総務省統計局】</p> <p>(1) 調査期日：令和4年10月1日現在</p> <p>(2) 調査員数：調査員5人</p> <p>(3) 調査内容 国民の就業及び不就業の状態を調査することで、全国及び地域別の就業構造を実態を明らかにするため、総務大臣が選定した町内5調査区に居住する15歳以上の世帯員を対象に調査しました。</p> <p>(4) 実施件数：準備調査(世帯名簿作成)289世帯、実地調査(国の規定による方法で抽出)80世帯</p> <p>(5) 調査対象者数等：153名(回答者数：128名、拒否等25名)</p>	
		<p>2 令和5年住宅・土地統計調査単位区設定【所管：総務省統計局】</p> <p>(1) 設定期日：令和5年2月1日現在</p> <p>(2) 指導員数：指導員5人</p> <p>(3) 設定内容：令和5年住宅・土地統計調査実施のため調査員が担当する調査区域を明確にし、調査の円滑な実施と結果精度の向上を図るため実施しました。</p> <p>(4) 調査区数：44調査区</p>	

5	活動指標 (指標式)	基幹統計調査のオンライン回答件数と調査員回収等調査票の提出件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	件 328.00	件 個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	件 16,776.00	件
			令和3年度	件 846.00	件
			令和4年度	件 128.00	件

6	直接事業費計	前年度決算額	1,493,713 円	決算額	458,880 円
---	--------	--------	-------------	-----	-----------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	1,493,713	458,880	30.7 %	1,569,000
	一般財源②	-19,699	0	0.0 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	1,513,412	458,880	30.3 %	1,569,000
	概算人件費⑤	13,756,257	11,753,187	85.4 %	
	総合計(①+⑤)	15,249,970	12,212,067	80.1 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	13,736,558	11,753,187	85.6 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	16,237	91,822	565.5 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	令和3年度は町内のすべての事業所・企業を対象とした調査であり、令和4年度に実施した調査は町内80世帯を対象とした調査でした。調査対象・規模が違いため、調査実施件数・活動指標は減少しました。 調査員への調査内容の詳細な説明を行い、円滑に調査が実施できました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	今後も調査回答者の負担軽減・利便性の向上及び調査業務の効率化につながるインターネット回答を積極的に推進していきます。 また、基幹統計調査の趣旨や重要性を理解してもらうために、広報紙等を活用して町民に広く統計調査の内容を周知します。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	令和5年度に実施される基幹統計調査を円滑に実施するため、経験年数の長い指導員から助言等を生かし、調査員がより適切な調査がしやすい環境を作ります。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	個人情報の適切な取扱いに慎重に対処しつつ町民に広く統計調査の趣旨及び重要性を周知する方法を検討します。また、正確かつ効率的な統計調査をより推進するため、オンライン調査による回答を促進します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	令和4年度に実施される基幹統計調査を円滑に実施するため、調査区の駐在員への通知や広報掲載を実施し、広く周知します。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 257

1	事業名	監査委員事務局運営事業	コード	01	02	06	01	02	-
2	担当部課	監査委員事務局	監査委員事務局						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	職員、財政援助団体
3	どのような状態にしたいのか(意図)	行政事務が公正で合理的かつ効率的に行われているかどうかについて監査等を行い、町長及び議長に監査等結果を報告し、行政の適正化を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	監査委員事務局運営事業 (1) 監査等(監査、検査及び審査)を次のとおり実施しました。 ア 例月出納検査(一般会計・特別会計、公営企業会計)を毎月実施しました。(計24回) (結果)指摘事項2件、検討事項なし イ 定期監査を9月から1月まで10課を対象に実施しました。(計10回) 高齢者支援課始め10課 (結果)指摘事項なし、検討事項なし ウ 随時監査(物品管理監査)を実施しました。(計1回) 物品管理監査(会計課内金庫 4月26日実施) (結果)指摘事項なし、検討事項なし エ 財政援助団体等の監査を4団体実施しました。(計4回) (ア) (公社)東郷町シルバー人材センター(産業振興課 1月30日実施) (結果)指摘事項なし、検討事項なし (イ) 東郷町施設サービス棟(いこまい館 健康推進課 1月30日実施) (結果)指摘事項なし、検討事項なし (ウ) 東郷町職員互助会(人事秘書課 2月22日実施) (結果)指摘事項なし、検討事項1件 (エ) 社会福祉協議会(福祉課 2月27日実施) (結果)指摘事項なし、検討事項なし オ 決算審査を6月23日から7月26日まで(内10日間)全課を対象に実施しました。(計28回) (結果)指摘事項3件、検討事項1件 カ 財政健全化法に基づく審査及び基金運用状況審査を7月26日に実施しました。(各1回) (結果)指摘事項なし、検討事項なし (2) 監査委員の職務執行に係る事項を協議するため、監査委員協議会を開催しました。(計12回)		
---	-----------------------	---	--	--

5	指標名	監査等(監査、検査及び審査)の実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	回 79.00	回	個別計画による目標値はありません。
活動指標 (指標式)	指標の説明	例月出納検査、定期監査、随時監査、行政監査、財政援助団体等の監査、特別監査(住民監査請求等)、決算審査及び財政健全化法に基づく審査、基金運用状況審査の合計回数	令和2年度	回 70.00	回	
			令和3年度	回 76.00	回	
			令和4年度	回 69.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	1,286,329 円	決算額	1,206,633 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	1,286,329	1,206,633	93.8 %	1,508,000
	一般財源②	1,286,329	1,206,633	93.8 %	1,508,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	18,645,204	10,917,714	58.6 %	
	総合計(①+⑤)	19,931,533	12,124,347	60.8 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	19,931,533	12,124,347	60.8 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	262,257	175,715	67.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	令和4年度監査計画及び監査実施計画に掲げる基本方針や重点項目着眼点に目を向け監査等を実施しました。引き続き東郷町監査基準に基づき新たな計画を立て、監査等の実施体制を充実させていきます。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	決算審査意見書の内容を見直し、分かりやすく整理します。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	正確かつ効率的な監査の実施に向け、愛知県町村監査事務研究会(12町村)、知多監査事務研究会(9市町等)に参加し、構成市町等の職員と積極的に情報交換を行っていきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 258

1	事業名	検査事務事業	コード	01	02	06	01	03	-
2	担当部課	監査委員事務局	監査委員事務局						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	工事(業務)等担当課職員、工事(業務)等請負業者
3	どのような状態に したいのか(意図)	検査を通して契約内容の適正な履行と品質を確保するとともに、職員の工事・委託業務等の監理技術水準の向上を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	検査事務事業 (1) 入札契約案件の検査を97件実施しました。 ア 工事の検査 (ア) 完了検査 28件 (総務財政課始め7課) (イ) 中間検査 0件 (ウ) 出来形検査 0件 イ 委託業務、物品等購入の検査 (ア) 完了検査 66件 (人事秘書課始め16課) (イ) 出来形検査 3件 (都市整備課、学校教育課) (ウ) 一部竣工検査 0件 (2) 県下検査事務連絡協議会(構成:名古屋市を除く53市町村の内、尾張地域部会11市町)尾張地域部会(書面会議)に1回出席しました。		

5	指標名	入札契約案件の検査実施件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	件 89.00	件
令和2年度	件 98.00	件			
令和3年度	件 89.00	件			
令和4年度	件 97.00	件			

6	直接事業費計	前年度決算額	17,380 円	決算額	21,260 円
---	--------	--------	----------	-----	----------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	17,380	21,260	122.3 %	22,000
	一般財源②	17,380	21,260	122.3 %	22,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	4,428,236	4,523,053	102.1 %	
	総合計(①+⑤)	4,445,616	4,544,313	102.2 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	4,445,616	4,544,313	102.2 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	49,951	46,849	93.8 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	新型コロナウイルス感染症も5類に引き下げられたため、今後は県主催の臨場検査などの研修会に積極的に参加します。 また、県下検査事務連絡協議会尾張地域部会(12市町等)の構成市町の職員と情報を共有しながら職員の検査技術向上に努めていきます。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	引き続き、職員の検査技術向上を図るため、研修会等への参加や他市町等との情報交換を積極的に進めていきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 259

1	事業名	固定資産評価審査委員会運営事業	コード	01	02	06	01	04	-
2	担当部課	監査委員事務局	監査委員事務局						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	固定資産を所有する者
2	働きかける相手(対象)	固定資産評価審査委員会の委員、税務課職員、審査申出人
3	どのような状態にしたいのか(意図)	固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服について、中立的・専門的な立場から審査・決定することにより、固定資産税における課税の公平性を確保します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	固定資産評価審査委員会運営事業	
		(1) 固定資産評価審査委員会 委員長選任のための委員会を4月27日に開催しました。(1回) (2) 固定資産評価審査 審査申出はありませんでした。	

5	指標名	委員会開催件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	1.00	件
令和2年度	0.00	件			
令和3年度	1.00	件			
令和4年度	1.00	件			
	指標の説明 (指標式)	固定資産評価審査委員会の 会議開催件数			

6	直接事業費計	前年度決算額	19,500 円	決算額	19,500 円
---	--------	--------	----------	-----	----------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	19,500	19,500	100.0 %	39,000
	一般財源②	19,500	19,500	100.0 %	39,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	233,065	155,968	66.9 %	
	総合計(①+⑤)	252,565	175,468	69.5 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	252,565	175,468	69.5 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	252,565	175,468	69.5 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	委員会では、勉強会として審査の流れや固定資産税の評価方法等の確認を行っていますが、引き続き勉強会の内容を工夫するなどして、委員と事務局員の知識の向上を図っていきます。	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	固定資産税審査申出書(土地、家屋、償却資産)の申出書提出時の受付マニュアルを作成し、受付事務を円滑に行えるようにします。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	引き続き、固定資産税における課税の公平性を確保するため固定資産評価審査委員会を開催します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 260

1	事業名	人事一般管理事業	コード	01	02	01	08	02	-
2	担当部課	企画部	人事秘書課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	② 行政組織の適正化と人材育成						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	職員（正職員及び会計年度任用職員）
2	働きかける相手(対象)	職員（正職員及び会計年度任用職員）
3	どのような状態にしたいのか(意図)	職員の人事管理及び労務管理を適正に行い、効率的な行政運営が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	人事一般管理事業 人事給与システムにより効率的に給与支払事務を行いました。また、庶務管理システムにより職員の人事管理及び労務管理を適正に行い、関係機関（共済組合、退職手当組合）との連絡調整を適正かつ効率的に進めました。 (1) 職員数の状況（令和4年4月1日現在） 正職員 308名（男 136名 女 172名） (2) 採用及び退職の状況（令和4年度中）																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>一般事務</th> <th>保育士</th> <th>児童厚生員</th> <th>栄養士</th> <th>技師</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規採用</td> <td>14名</td> <td>6名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>23名</td> </tr> <tr> <td>退職</td> <td>8名</td> <td>4名</td> <td>1名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>14名</td> </tr> </tbody> </table> (3) 職種別職員数の状況（令和4年4月1日現在） 一般事務職 194名（うち育児休業等代替任期付職員7名） 技師 15名 医師 1名 保健師 16名 看護師 4名 保育士 67名（うち育児休業等代替任期付職員1名） 児童厚生員 5名 栄養士 3名 合計 305名（町長、副町長及び教育長を除く。） (4) 会計年度任用職員の状況（令和4年4月1日現在） 398名							一般事務	保育士	児童厚生員	栄養士	技師	合計	新規採用	14名	6名	0名	1名	2名	23名	退職	8名	4名	1名	0名
	一般事務	保育士	児童厚生員	栄養士	技師	合計																				
新規採用	14名	6名	0名	1名	2名	23名																				
退職	8名	4名	1名	0名	1名	14名																				

5	活動指標 指標の説明 (指標式)	正規職員数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	人 310.00	人 個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	人 306.00	人
			令和3年度	人 312.00	人
			令和4年度	人 308.00	人

6	直接事業費計	前年度決算額	97,650,484 円	決算額	102,428,285 円
---	--------	--------	--------------	-----	---------------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	97,650,484	102,428,285	104.9 %	112,130,000
	一般財源②	97,650,484	102,428,285	104.9 %	112,130,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	28,729,893	32,191,390	112.0 %	
	総合計(①+⑤)	126,380,377	134,619,675	106.5 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	126,380,377	134,619,675	106.5 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	405,065	437,077	107.9 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	<p>会計年度任用職員システム(人事給与システム)について、共済組合法の改正に伴う改修が必要となり、これを実施したことで直接事業費が増加しました。 定年引上げに伴う役職定年、給与制度、再任用制度等の改正を実施しました。 職員採用試験の第1次試験の実施方法をSPI3に変更したことにより、応募者が増加しました。</p>	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	<p>職員採用試験をSPI3に変更したことにより多くの人が受験できる環境が整い、より優秀な人材確保に繋がりました。 引き続き、職員の適正な人員確保に努めるとともに法改正に対しても適切に対応していきます。</p>	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	<p>定年引上げに伴う制度改正に対応するため、人事給与システムを改修するとともに職員への情報提供、意思確認を進めます。 また、会計年度任用職員へ勤勉手当を支給するため、人事給与システム改修の準備を進めます。</p>
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	<p>定年引上げに伴う定員管理について、中長期的な観点からの適正な定員管理が必要であり、一定の新規採用職員を継続的に確保できるようにしていきます。 定年引上げに伴う職員への情報提供及び意思確認を円滑に進めていきます。</p>

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	<p>定年引上げに伴う役職定年、給与制度、再任用制度等の改正を実施し、職員への情報提供及び意思確認が円滑にできるよう準備を進めます。 職員採用試験の内容を見直すことにより、幅広い受験の機会を確保し、応募者の増加を図ります。</p>

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 261

1	事業名	職員福利厚生事業	コード	01	02	01	08	03	-
2	担当部課	企画部	人事秘書課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	② 行政組織の適正化と人材育成						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	職員及び職員の家族
2	働きかける相手(対象)	職員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	福利厚生事業として職員及び職員と家族の交流を進め、職員の健康保持及び増進を図り心身ともに健康で職務に専念できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	職員福利厚生事業 (1) 互助会助成事業 職員互助会が企画・実施する事業に対し助成しました。 ア 互助会会員数 313名(派遣職員5名を含む。)(令和4年4月1日現在) イ 助成対象事業 福利厚生事業 (2) 健康診断事業 福利厚生事業として、職員の健康保持及び増進を図るため、健康診断等を実施しました。 また、月1回安全衛生委員会を開催し、職員の健康管理、安全及び衛生に関する事項について審議しました。 ア 健康診断受検者 242名(正職員65名、会計年度任用職員177名) イ 人間ドック受検者 240名(脳ドック受検者49名を含む。) ウ ストレスチェック受検者 398名(正職員278名、会計年度任用職員120名)	

5	指標名	健康診断の受検者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	人 441.00	人 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	健康診断及び人間ドックの 合計受検者数	令和2年度	人 441.00	人
			令和3年度	人 471.00	人
			令和4年度	人 482.00	人
6	直接事業費計	前年度決算額	8,755,818 円	決算額	8,715,496 円

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの 推移	直接事業費①(②+③+④)	8,755,818	8,715,496	99.5 %	7,888,000
	一般財源②	8,755,818	8,715,496	99.5 %	7,888,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	6,337,476	6,271,050	99.0 %	
	総合計(①+⑤)	15,093,294	14,986,546	99.3 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	15,093,294	14,986,546	99.3 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	32,045	31,092	97.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	<p>互助会事業では、運営委員会において社会情勢に配慮した事業の検討を行い実施しました。 時間外勤務の多い職員に対し、産業医による面談を勧め、職員の健康管理に努めました。</p>	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	<p>互助会事業は、社会情勢に応じた事業を検討し、職員の福利厚生を図っていきます。 また、引き続き職員の健康保持及び増進を図るため、健康診断の受検環境を整えていきます。</p>	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	<p>職員の健康増進を図るため、社会保険に加入している30歳以上の会計年度任用職員について、正職員と同様に人間ドックを受検できるようにします。</p>
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	<p>長時間労働やメンタルヘルス不調による健康リスク上昇を防ぐため、医師による面接指導を適切に実施していきます。</p>

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 262

1	事業名	町主催研修事業	コード	01	02	01	08	05	-
2	担当部課	企画部	人事秘書課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	② 行政組織の適正化と人材育成						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	職員及び町民
2	働きかける相手(対象)	職員
3	どのような状態に したいのか(意図)	時代の要請に対応できる人材育成に取り組みます。また、組織力の向上を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	町主催研修事業	
		(1) 職員研修は、職員個人の能力と意欲の向上を図り、人と組織の不断の成長と活性化を目的として、自己啓発、職場研修（OJT）、職場外研修（OffJT）の3つを柱として実施しました。毎年策定する研修計画に基づき人材育成に取り組みました。 (2) 新規採用職員研修や人事考課者初任者研修、町行政の中核を担う職員の意識改革や能力向上を図るとうごうリーダー塾などの多様な職員研修を実施しました。 【研修受講者数】 ア 新規採用職員研修 14名 イ 人事考課初任者研修 3名 ウ 新規採用職員のためのOJT担当者研修 6名 エ 情報公開・個人情報保護研修 26名 オ 分かりやすい説明の仕方研修 39名 カ 法制執務研修 18名 キ 文書・法規研修 11名 ク 財務研修 9名 ケ 税・収納研修 23名 コ とうごうリーダー塾 27名 合計 176名	

5	活動指標 指標の説明 (指標式)	研修への参加者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		研修へ参加した職員の延べ人数	令和元年度	人 256.00	人	個別計画による目標値はありません。
			令和2年度	人 82.00	人	
			令和3年度	人 162.00	人	
			令和4年度	人 176.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	172,396 円	決算額	170,760 円
---	--------	--------	-----------	-----	-----------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	172,396	170,760	99.1 %	408,000
	一般財源②	172,396	170,760	99.1 %	408,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	2,957,488	2,926,490	99.0 %	
	総合計(①+⑤)	3,129,884	3,097,250	99.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	3,129,884	3,097,250	99.0 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	19,320	17,598	91.1 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	職員の説明能力向上のため、わかりやすい説明の仕方研修を実施しました。 また、業務上必要な研修として、税・収納研修、法制執務研修などを業務担当課に協力を仰ぎながら実施しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	町行政の推進のため、実務能力の向上や意識改革を図る研修計画を策定し、時世に合わせた研修を実施することで、職員の能力と意欲の向上を図っていく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	引き続き、実務研修や意識改革を図る研修など、時世や階層に合わせた適切な研修を検討し、人材育成を図っていきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 263

1	事業名	尾張東部研修協議会主催研修事業	コード	01	02	01	08	06	-
2	担当部課	企画部	人事秘書課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	② 行政組織の適正化と人材育成						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	職員及び町民
2	働きかける相手(対象)	職員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	職階層職員ごとに要求される知識等を同じような環境にある近隣市町の職員と合同で研修を行うことで、参加者に刺激を与え、行政視野の拡大を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	尾張東部研修協議会主催研修事業 尾張東部研修協議会（瀬戸市・尾張旭市・豊明市・日進市・長久手市・東郷町・愛知中部水道企業団）の主催による各種研修に参加しました。 【研修受講者数】															
		<table border="0"> <tr><td>(1) 新規採用職員前期研修</td><td>13名</td></tr> <tr><td>(2) 新規採用職員後期研修</td><td>14名</td></tr> <tr><td>(3) 一般職員前期研修</td><td>8名</td></tr> <tr><td>(4) 一般職員中期研修</td><td>4名</td></tr> <tr><td>(5) 一般職員後期研修</td><td>14名</td></tr> <tr><td>(6) 新任係長研修</td><td>9名</td></tr> <tr><td>(7) 現任係長研修</td><td>3名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>65名</td></tr> </table>	(1) 新規採用職員前期研修	13名	(2) 新規採用職員後期研修	14名	(3) 一般職員前期研修	8名	(4) 一般職員中期研修	4名	(5) 一般職員後期研修	14名	(6) 新任係長研修	9名	(7) 現任係長研修	3名	合計
(1) 新規採用職員前期研修	13名																
(2) 新規採用職員後期研修	14名																
(3) 一般職員前期研修	8名																
(4) 一般職員中期研修	4名																
(5) 一般職員後期研修	14名																
(6) 新任係長研修	9名																
(7) 現任係長研修	3名																
合計	65名																

5	指標名	研修への参加者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	人 57.00	人	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	研修へ参加した職員の延べ人数	令和2年度	人 18.00	人	
			令和3年度	人 73.00	人	
			令和4年度	人 65.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	368,600 円	決算額	451,400 円
---	--------	--------	-----------	-----	-----------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	368,600	451,400	122.5 %	925,000
	一般財源②	368,600	451,400	122.5 %	925,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	2,534,990	2,508,420	99.0 %	
	総合計(①+⑤)	2,903,590	2,959,820	101.9 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	2,903,590	2,959,820	101.9 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	39,775	45,536	114.5 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	新型コロナウイルス感染症に配慮してオンライン開催としていた研修を一部対面開催で再開したため、直接事業費が増加しました。 効率的に研修を開催するため、研修内容に応じてオンラインや分散開催での研修を実施しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	尾張東部研修協議会主催研修では、階層別に必要となる知識、技能の習得に加え、他団体との情報交換の意義もあるため、引き続き職員の受講に努めます。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	尾張東部研修協議会幹事会等において研修内容を検証し、より効果の高い研修を実施していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの 推移	直接事業費①(②+③+④)	14,470	42,440	293.3 %	125,000
	一般財源②	14,470	42,440	293.3 %	125,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	1,858,993	1,839,508	99.0 %	
	総合計(①+⑤)	1,873,463	1,881,948	100.5 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	1,873,463	1,881,948	100.5 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	56,772	43,766	77.1 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	新型コロナウイルス感染症に配慮して中止されていた研修が再開したため、直接事業費が増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	研修センター主催研修は、専門性が高く、より実践的な内容が多いことから、従来の集合研修に加えて、オンライン研修も活用し、参加可能な研修を確保していきます。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	引き続き、研修内容及び種類の充実を市町村研修担当者会議で要望するとともに、職員からの研修への参加要望を適切に把握し、受講希望に合った研修への参加機会を確保していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（ 令和4年度 ）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 265

1	事業名	派遣研修事業	コード	01	02	01	08	08	-
2	担当部課	企画部	人事秘書課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	② 行政組織の適正化と人材育成						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	職員及び町民
2	働きかける相手(対象)	職員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	職員の行政視野を広めるとともに、高度な研修を受け知識等を修得することで、今後の町政が抱える困難な課題に取り組むことができる職員を養成します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	派遣研修事業 愛知県実務研修生の派遣、日本経営協会等の研修参加により、専門的、実務的な能力の向上を図りました。 【研修受講者数】 (1) 愛知県実務研修生 1名 (2) 市町村共済組合主催研修 7名 (3) 市町村アカデミー 2名 合計 10名	

5	指標名	研修への参加者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	人 12.00	人	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	研修へ参加した職員の延べ人数	令和2年度	人 4.00	人	
			令和3年度	人 7.00	人	
			令和4年度	人 10.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	6,220 円	決算額	83,040 円
---	--------	--------	---------	-----	----------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	6,220	83,040	1,335.0 %	1,448,000
	一般財源②	6,220	83,040	1,335.0 %	1,448,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	2,112,492	2,090,350	99.0 %	
	総合計(①+⑤)	2,118,712	2,173,390	102.6 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	2,118,712	2,173,390	102.6 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	302,673	217,339	71.8 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	新型コロナウイルス感染症に配慮して中止されていた研修が再開したため、直接事業費が増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	研修参加については、研修内容及び職員の参加希望を考慮し、年齢や性別にとらわれずに参加できるようにしていきます。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	より効果の高い研修が受講できるよう、派遣先、方法、内容などを検討します。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 266

1	事業名	特別職報酬等審議会運営事業	コード	01	02	01	08	09	-
2	担当部課	企画部	人事秘書課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	② 行政組織の適正化と人材育成						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	特別職の職員
2	働きかける相手(対象)	特別職報酬等審議会委員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	特別職の職員の報酬を近隣市町との均衡を図りながら、社会情勢に適応した適正な額にします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	特別職報酬等審議会関係事業 特別職報酬等審議会を開催し、町議会議員の報酬月額並びに町長、副町長及びの給料月額について、適正かどうかを 諮問し答申を得ました。 (1) 開催日 令和5年1月20日(金) (2) 委員数 8名 (3) 諮問事項 東郷町議会議員の報酬及び特別職の給料の額について	

5	指標名	特別職報酬等審議会開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	1.00	回
	指標の説明 (指標式)	年間の開催回数	令和2年度	2.00	回
			令和3年度	1.00	回
			令和4年度	1.00	回
個別計画による目標値はありません。					

6	直接事業費計	前年度決算額	56,000 円	決算額	56,000 円
---	--------	--------	----------	-----	----------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	56,000	56,000	100.0 %	57,000
	一般財源②	56,000	56,000	100.0 %	57,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	675,997	668,912	99.0 %	
	総合計(①+⑤)	731,997	724,912	99.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	731,997	724,912	99.0 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	731,997	724,912	99.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	特別職の給料及び議員報酬について、委員会の意見に基づき適切に事業を実施していきます。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	特別職の給料及び議員報酬について、委員会の意見に基づき適切に事業を実施していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（ 令和4年度 ）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 267

1	事業名	予算編成執行管理事業	コード	01	02	01	03	02	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③ 安定した財政運営						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民、職員
2	働きかける相手(対象)	職員、町全体の予算
3	どのような状態に したいのか(意図)	より効率的・効果的で適正な予算編成及び執行管理を行います。また、弾力的な財政運営を確保するとともに、交付税、地方債等の歳入を確保します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	予算編成執行管理事業 (1) 効率的な財政運営と適正な財政管理に努めました。 (2) 令和5年度予算書及び予算説明書を145部作成しました。 (3) 令和3年度の自治行政の実績に関する調書(白書)を130部作成しました。 (4) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に従い、健全化判断比率を算出し公表等を行いました。 ア 監査委員による審査を受けました。 イ 議会へ報告しました。 ウ 広報及び町ホームページに掲載し公表しました。 (5) 決算統計の調査項目が追加されることに伴い、財務会計システムの改修を行いました。	

5	指標名	経常収支比率	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	% 91.20	% 80.00	【～令和2年度】 第5次東郷町総合計画 目標値 80%
	指標の説明 (指標式)	経常経費充当一般財源÷経常一般財源総額×100	令和2年度	% 89.00	% 80.00	【令和3年度～】 第6次東郷町総合計画 目標値 設定なし
			令和3年度	% 86.70	%	
			令和4年度	% 91.60	%	
6	直接事業費計	前年度決算額	5,149,844 円	決算額	5,999,110 円	

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	5,149,844	5,999,110	116.5 %	5,884,000
	一般財源②	5,149,844	5,999,110	116.5 %	5,884,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	12,915,986	13,505,001	104.6 %	
	総合計(①+⑤)	18,065,830	19,504,111	108.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	18,065,830	19,504,111	108.0 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	208,372	212,927	102.2 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	<p>光熱費高騰等の影響により、活動指標は低下しました。なお、活動指標である経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断する指標であり、人件費、扶助費、公債費等の義務的な経費が増加すると比率は高くなり、財政運営は硬直化します。 また、令和4年5月に町長選挙が実施されたことから、肉付け予算を編成しました。</p>	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input type="checkbox"/>	<p>個別査定方式による当初予算編成は、要求に対して細かく査定することとなり、経費の見直しなどを通じ職員のコスト意識を全庁的に高めることに寄与しています。しかしながら、細かく査定することで各部署における事業実施の柔軟性及び機動性が抑制され、新しい発想による事業案が発生しにくい状況にあります。 個別査定方式の意義を職員に周知し、新しい発想や独創性を阻害するものではないことを理解させる必要があります。</p>	
一部見直し <input checked="" type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	<p>令和5年度に組織機構改革を実施したことから、新しい組織に対応した予算科目に変更し、令和6年度当初予算を編成します。 また、企画情報課にて実施する事業の見直しについて、課間の連携を密にするとともに、見直し結果を適切に反映させた令和6年度当初予算を編成します。</p>
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	<p>令和2年度当初予算編成から当初予算編成方法を、各課に予算を配分する「枠配当方式」から全事業を査定する「個別査定方式」に変更し、事業費の適正化に取り組んでいます。 より効果的な予算編成方法を研究し、予算の適正化を図ります。</p>

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	令和4年度については、町長2期目の初年度となることから、政策公約等を適切に反映させた予算編成を実施します。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 268

1	事業名	資金管理運用事業	コード	01	02	01	04	02	99
2	担当部課	会計課	会計課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③ 安定した財政運営						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	指定金融機関及びその他の金融機関
3	どのような状態に したいのか(意図)	指定金融機関等に資金の預入れを行い、資金を安全で有益に運用できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	資金管理運用事業 基金及び歳計現金について定期預金の預入れを行い、安全で有利な資金の運用管理をしました。	
		(1) 基金運用利子 ア 財政調整基金 394,124円 イ 診療所財政調整基金 36,336円 ウ 土地開発基金 60,616円 エ 公共施設整備基金 157,752円 オ 図書館整備基金 56円 カ 介護給付準備基金 19,681円 キ 減債基金 258,460円 ク 国保財政調整基金 20,473円 (2) 歳計現金運用利子 0円 資金運用益 計 947,498円	

5	指標名	資金運用益	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	円 1,611,253.00	円 個別計画による目標値はありません。
	活動指標 指標の説明 (指標式)	令和2年度	円 1,540,186.00	円	
		令和3年度	円 1,106,441.00	円	
		令和4年度	円 947,498.00	円	

6	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円
---	--------	--------	-----	-----	-----

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	0	0	0.0 %	0
	一般財源②	0	0	0.0 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	3,504,966	3,495,712	99.7 %	
	総合計(①+⑤)	3,504,966	3,495,712	99.7 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	3,504,966	3,495,712	99.7 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	3	4	133.3 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	令和3年度と比較し、定期預金の利率が低下したことで、活動指標が低下しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	日本銀行の低金利政策が継続されており、定期預金の利率は低下したままとなっています。その状況下でも、歳入・歳出の時期の把握に努め、効率的で安全かつ有利な資金運用を行う必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	歳入・歳出の時期の把握に努め、定期預金のみではなく、債券の購入についても検討を行い、効率的な資金運用に努めます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 269

1	事業名	建設事業分公債費元金事業	コード	01	12	01	01	01	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③ 安定した財政運営						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	公債費元金
3	どのような状態に したいのか(意図)	借り入れた建設事業分公債費元金の償還を遅滞なく行うための財源を確実に確保します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	建設事業分公債費元金事業 (1) 地方債(建設事業分元金)を293,472,947円償還しました。 (2) 令和4年度末現在高 ア 令和3年度末現在高 4,059,510,595円 イ 元金償還額 293,472,947円 ウ 令和4年度借入額 398,300,000円 エ 令和4年度末現在高 4,164,337,648円	

5	指標名	地方債償還額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	円 174,537,817.00	円 個別計画による目標値はありません。
	活動指標 指標の説明 (指標式)	当該年度に償還した地方債 元金の額	令和2年度	円 208,929,411.00	円
			令和3年度	円 272,044,362.00	円
			令和4年度	円 293,472,947.00	円
6	直接事業費計	前年度決算額	272,044,362 円	決算額	293,472,947 円

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	272,044,362	293,472,947	107.9 %	305,839,000
	一般財源②	272,044,362	293,472,947	107.9 %	305,839,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	568,629	576,433	101.4 %	
	総合計(①+⑤)	272,612,991	294,049,380	107.9 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	272,612,991	294,049,380	107.9 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1	1	100.0 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか?	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	1件の償還が令和3年度中に終了しましたが、令和4年度から新たに13件の償還が開始したため、直接事業費は増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	老朽化している公共施設の修繕等を進める必要があるため、今後も高い水準で推移する見込みです。 基金の投入や国・県の補助金等を活用し、過度に将来負担が大きくなるよう注意しつつ、事業費の年度間の平準化を図るなど計画的に進めていく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	借入額と償還額のバランスに配慮した借入を進めていきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 270

1	事業名	その他公債費元金事業	コード	01	12	01	01	02	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③ 安定した財政運営						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	公債費元金
3	どのような状態に したいのか(意図)	借り入れた減税補填債及び臨時財政対策債に係る公債費元金の償還を遅滞なく行うための財源を確実に確保します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	その他(減税補填等)公債費元金事業 (1) 地方債(減税補填等元金)を563,671,497円償還しました。 ア 減税補填債(注1) 25,767,187円 イ 臨時財政対策債(注2) 537,904,310円 (2) 令和4年度末現在高 ア 令和3年度末現在高 6,419,673,413円 イ 元金償還額 563,671,497円 ウ 令和4年度借入額 183,900,000円 エ 令和4年度末現在高 6,039,901,916円	
		注1 減税補填債 国の施策による住民税の減税措置による地方公共団体の減収額を埋めるために、地方財政法第5条の特例として発行された地方債 注2 臨時財政対策債 地方一般財源の不足に対処するため、投資的経費以外の経費にも充てられる地方財政法第5条の特例として発行される地方債 平成13年度以降、地方交付税制度において通常収支の財源不足額のうち、財源対策債等を除いた額を国と地方で折半し、国負担分は一般会計からの加算(臨時財政対策分)、地方負担分は臨時財政対策債により補填することとされました。実際の借入の有無にかかわらず、当該年度の発行可能額の元利償還金相当額は後年度基準財政需要額に全額算入されます。	

5	指標名	地方債償還額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	円 480,393,478.00	円 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	当該年度に償還した地方債元金の額	令和2年度	円 504,774,938.00	円
			令和3年度	円 545,979,919.00	円
			令和4年度	円 563,671,497.00	円
6	直接事業費計	前年度決算額	545,979,919 円	決算額	563,671,497 円

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	545,979,919	563,671,497	103.2 %	542,670,000
	一般財源②	545,979,919	563,671,497	103.2 %	542,670,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	568,629	576,433	101.4 %	
	総合計(①+⑤)	546,548,548	564,247,930	103.2 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	546,548,548	564,247,930	103.2 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1	1	100.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	2件の償還が令和3年度中に終了し、令和4年度から新たに3件の償還が開始したため、直接事業費は増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	財源不足を補うために借り入れている臨時財政対策債の起債残高は、令和4年度から減少に転じたものの、当該借入は、国税の収入状況や地方自治体における財政需要の影響により、増加する可能性もあることから、残高に注意して借入を行う必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	借入額と償還額のバランスに配慮した借入を進めていきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 271

1	事業名	建設事業分公債費利子事業	コード	01	12	01	02	01	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③ 安定した財政運営						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	公債費利子
3	どのような状態にしたいのか(意図)	借り入れた建設事業分公債費元金に伴う利子の償還を遅滞なく行うための財源を確実に確保します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	建設事業分公債費利子事業 地方債利子(建設事業分)を15,639,892円償還しました。	

5	指標名	地方債利子償還額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	円 17,393,215.00	円	個別計画による目標値はありません。
令和2年度	円 16,652,414.00	円				
令和3年度	円 15,999,523.00	円				
令和4年度	円 15,639,892.00	円				
	指標の説明 (指標式)	当該年度に償還した地方債利子の額				
6	直接事業費計	前年度決算額	15,999,523 円	決算額	15,639,892 円	

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	15,999,523	15,639,892	97.8 %	16,115,000
	一般財源②	15,999,523	15,639,892	97.8 %	16,115,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	568,629	576,433	101.4 %	
	総合計(①+⑤)	16,568,152	16,216,325	97.9 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	16,568,152	16,216,325	97.9 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1	1	100.0 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	利率見直しにより利子償還額が減少したため、直接事業費は減少しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	老朽化している公共施設の修繕等を進める必要があるため、今後も高い水準で推移する見込みです。 基金の投入や国・県の補助金等を活用し、過度に将来負担が大きくなるよう注意しつつ、事業費の年度間の平準化を図るなど計画的に進めていく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	借入額と償還額のバランスに配慮した借入を進めていきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 272

1	事業名	その他公債費利子事業	コード	01	12	01	02	02	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③ 安定した財政運営						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	公債費利子
3	どのような状態に したいのか(意図)	借り入れた減税補填債及び臨時財政対策債の元金に係る公債費利子の償還を遅滞なく行うための財源を確実に確保します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	その他(減税補填等)公債費利子事業 地方債利子(減税補填債等分)を11,578,939円償還しました。	
		(この欄は、評価対象年度にどのようなことを実施したのかを記載してください)	

5	指標名	地方債利子償還額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	円 28,072,284.00	円	個別計画による目標値はありません。
令和2年度	円 21,695,293.00	円				
令和3年度	円 15,815,448.00	円				
令和4年度	円 11,578,939.00	円				
活動指標	指標の説明 (指標式)	当該年度に償還した地方債利子の額				
6	直接事業費計	前年度決算額	15,815,448 円	決算額	11,578,939 円	

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	15,815,448	11,578,939	73.2 %	10,548,000
	一般財源②	15,815,448	11,578,939	73.2 %	10,548,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	568,629	576,433	101.4 %	
	総合計(①+⑤)	16,384,077	12,155,372	74.2 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	16,384,077	12,155,372	74.2 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	1	1	100.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	利率見直しにより利子償還額が減少したため、直接事業費は減少しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	財源不足を補うために借り入れている臨時財政対策債の起債残高は、令和4年度から減少に転じたものの、当該借入は、国税の収入状況や地方自治体における財政需要の影響により、増加する可能性もあることから、残高に注意して借入を行う必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	借入額と償還額のバランスに配慮した借入を進めていきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 273

1	事業名	財政調整基金積立金事業	コード	01	13	01	01	01	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③ 安定した財政運営						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	財政調整基金
3	どのような状態にしたいのか(意図)	安定的な一般財源を確保するため、基金積立方針で定めた目標額まで積み増します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	財政調整基金利子積立金事業 (1) 財政調整基金利子を394,124円積み立てました。 (2) 基金残高 ア 令和3年度末残高 1,333,844,720円 イ 令和4年度中増減 (7) 決算積立 935,693,600円 (イ) 予算積立 0円 (ウ) 利子積立 394,124円 (エ) 取崩し 106,952,000円 ウ 令和4年度末残高 2,162,980,444円	

5	指標名	財政調整基金残高	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	千円 1,129,059.00	千円 1,400,000.00	基金管理方針（令和4年9月策定）における目標値 1,000,000千円
	指標の説明 (指標式)	年度末基金残高	令和2年度	千円 1,092,199.00	千円 1,500,000.00	
		令和3年度	千円 1,333,845.00	千円 1,000,000.00		
		令和4年度	千円 2,162,980.00	千円 1,000,000.00		

6	直接事業費計	前年度決算額	379,865 円	決算額	394,124 円
---	--------	--------	-----------	-----	-----------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	379,865	394,124	103.8 %	1,000
	一般財源②	0	0	0.0 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	379,865	394,124	103.8 %	1,000
	概算人件費⑤	243,698	247,043	101.4 %	
	総合計(①+⑤)	623,563	641,167	102.8 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	243,698	247,043	101.4 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	基金の現金を金融機関等の定期預金で効率的に運用したことに加え、令和4年度は決算剰余金の積立額が増加したことから、期末残高が増加しました。 また、平成27年度に策定した基金積立方針について、積立だけでなく取崩しも含めた複合的な方針である基金管理方針に改定しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	財政調整基金は毎年度の財源調整に使用するほか、大規模災害時の減収等に対応するためのものであるため、基金管理方針を見直しながら管理していく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	基金管理方針について、おおむね3年毎に見直しを行い、計画的な積立及び取崩しを実施していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	平成27年度に策定した基金積立方針を令和3年度に改定しましたが、積立だけでなく取崩しも含めた複合的な方針に改定します。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 274

1	事業名	減債基金積立金事業	コード	01	13	01	02	01	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③ 安定した財政運営						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	減債基金
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町債の償還に必要な財源を計画的に確保するため、基金積立方針で定めた目標額まで積み増します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	減債基金利子積立金事業	
		(1) 減債基金利子を258,460円積み立てました。	
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	(2) 基金残高	
		ア 令和3年度末残高 727,154,056円	
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	イ 令和4年度中増減	
		(7) 決算積立 0円 (4) 予算積立 0円 (ウ) 利子積立 258,460円 (I) 取崩し 0円	
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	ウ 令和4年度末残高 727,412,516円	

5	指標名	減債基金残高	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	千円 464,353.00	千円 470,000.00	【～令和3年度】 基金積立方針 目標値 470,000千円
	指標の説明 (指標式)	年度末基金残高	令和2年度	千円 464,817.00	千円 550,000.00	【令和4年度～】 基金管理方針 目標値 設定なし
			令和3年度	千円 727,154.00	千円 470,000.00	
			令和4年度	千円 727,413.00	千円	
6	直接事業費計	前年度決算額	227,154,056 円	決算額	258,460 円	

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	227,154,056	258,460	0.1 %	1,000
	一般財源②	0	0	0.0 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	227,154,056	258,460	0.1 %	1,000
	概算人件費⑤	243,698	247,043	101.4 %	
	総合計(①+⑤)	227,397,754	505,503	0.2 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	243,698	247,043	101.4 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	基金の現金を金融機関等の定期預金で効率的に運用したことから、基金残高が増加しました。 また、平成27年度に策定した基金積立方針について、積立だけでなく取崩しも含めた複合的な方針である基金管理方針に改定しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	セントラル開発等に係る借入の償還が本格化していることに加え、東郷町公共施設等総合管理計画に基づく公共施設等の整備により、公債費の増加が見込まれます。 行政サービスの質の維持・向上のため、適切に当基金を管理・運用する必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	基金管理方針について、おおむね3年毎に見直しを行い、計画的な積立及び取崩しを実施していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	平成27年度に策定した基金積立方針を令和3年度に改定しましたが、積立だけでなく取崩しも含めた複合的な方針に改定します。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 275

1	事業名	公共施設整備基金積立金事業	コード	01	13	01	03	01	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③ 安定した財政運営						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	公共施設整備基金
3	どのような状態に したいのか(意図)	公共施設を整備するための財源を確保します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	公共施設整備基金利子積立金事業	
		(1) 公共施設整備基金利子を157,752円積み立てました。	
		(2) 基金残高	
		ア 令和3年度末残高	902,314,374円
		イ 令和4年度中増減	
		(ア) 利子積立	157,752円
		(イ) 予算積立	0円
		(ウ) 取崩し	0円
		ウ 令和4年度末残高	902,472,126円

5	指標名	公共施設整備基金残高	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和元年度	千円 306,363.00	千円 370,000.00	【～令和3年度】 基金積立方針 目標値 350,000千円
活動指標 (指標式)	指標の説明	年度末基金残高	令和2年度	千円 309,440.00	千円 440,000.00	【令和4年度～】 基金管理方針 目標値 設定なし
			令和3年度	千円 902,314.00	千円 350,000.00	
			令和4年度	千円 902,472.00	千円	

6	直接事業費計	前年度決算額	592,874,197 円	決算額	157,752 円
---	--------	--------	---------------	-----	-----------

項目		令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	592,874,197	157,752	0.0 %	1,000
	一般財源②	0	0	0.0 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	592,874,197	157,752	0.0 %	1,000
	概算人件費⑤	243,698	247,043	101.4 %	
	総合計(①+⑤)	593,117,895	404,795	0.1 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	243,698	247,043	101.4 %	
(参考) 活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	0	0	0.0 %		

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	基金の現金を金融機関等の定期預金で効率的に運用したことから、基金残高が増加しました。 また、平成27年度に策定した基金積立方針について、積立だけでなく取崩しも含めた複合的な方針である基金管理方針に改定しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	東郷町公共施設等総合管理計画に基づく公共施設等の整備により、整備費の増加が見込まれます。 行政サービスの質の維持・向上のため、適切に当基金を管理・運用する必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	基金管理方針について、おおむね3年毎に見直しを行い、計画的な積立及び取崩しを実施していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	平成27年度に策定した基金積立方針を令和3年度に改定しましたが、積立だけでなく取崩しも含めた複合的な方針に改定します。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 276

1	事業名	土地開発基金積立金事業	コード	01	13	01	04	01	-
2	担当部課	総務部	総務財政課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③ 安定した財政運営						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	土地開発基金
3	どのような状態に したいのか(意図)	公用若しくは公共の用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要のある土地をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	土地開発基金利子積立金事業 (1) 土地開発基金利子を60,616円積み立てました。 (2) 基金残高 ア 令和3年度末残高 (ア) 現金 101,697,873円 (イ) 土地 2,783.89㎡(宅地 359.89㎡、田 2,424㎡) イ 令和4年度利子積立て 60,616円 ウ 令和4年度末残高 (ア) 現金 101,758,489円 (イ) 土地 2,783.89㎡(宅地 359.89㎡、田 2,424㎡)	

5	指標名	土地開発基金残高	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	千円 101,517.00	千円 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	年度末基金(現金)残高	令和2年度	千円 101,638.00	千円
			令和3年度	千円 101,698.00	千円
			令和4年度	千円 101,758.00	千円

6	直接事業費計	前年度決算額	59,540 円	決算額	60,616 円
---	--------	--------	----------	-----	----------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	59,540	60,616	101.8 %	1,000
	一般財源②	0	0	0.0 %	0
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	59,540	60,616	101.8 %	1,000
	概算人件費⑤	243,698	247,043	101.4 %	
	総合計(①+⑤)	303,238	307,659	101.5 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	243,698	247,043	101.4 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	2	2	100.0 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方を見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	基金の現金を金融機関等の定期預金で効率的に運用したことにより積立額が増加しました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	土地を先行取得する際に活用する基金であることから、事業の円滑な執行を図るため、基金管理方針に基づき、適切に管理していく必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	基金管理方針について、おおむね3年毎に見直しを行い、計画的な積立及び取崩しを実施していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 277

1	事業名	広域行政事業	コード	01	02	01	06	03	-
2	担当部課	企画部	企画情報課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基本施策	05 多様な組織の連携を強化する						
		施策の展開方向	① 近隣自治体間の行政連携						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	尾張東部地域内の住民及び名古屋市近隣市町村の住民
2	働きかける相手(対象)	尾張東部地域内の企画担当職員及び名古屋市近隣市町村
3	どのような状態にしたいのか(意図)	尾張東部地域の市町の職員間で、各市町の事業展開や広域的な連携等について意見交換を密にするとともに、住民サービスの向上が図られるようにします。また、名古屋市近隣市町村と広域的な連携や課題整理などを行い住民サービスの向上が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	広域行政事業	
		<p>(1) 尾張東部地区企画担当事務連絡協議会（瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町で構成）新型コロナウイルス感染症の高い感染者数の推移を鑑み書面開催となり、各市町から提出された身近な課題等に対して加盟市町における実施状況等を確認することができました。</p> <p>(2) 名古屋市近隣市町村事務連絡会、広域連携に関する研究会及びワーキンググループ 名古屋市近隣市町村の連携を深めることと将来の広域連携の課題整理などを行うために各種研修会等に参加しました。</p> <p>ア 名古屋市近隣市町村長懇談会 1回 イ 広域連携研究会 3回 ウ ワーキンググループ 2回</p> <p>(3) 尾三地区自治体間連携推進会議 自治体間を越えた様々な連携や共助による協働のまちづくりが求められていることから、行政の効率化や共通した問題解決の取り組みに対応するため、尾三地区自治体間連携推進会議等に参加しました。</p> <p>ア 尾三地区自治体間連携推進会議 1回 イ 尾三地区自治体間連携副市長・副町長会議 3回 ウ 尾三地区自治体間連携首長会議 1回 エ 尾三地区自治体間連携推進研修会 1回</p> <p>(4) 地域活性化センター 毎月1回発行される情報誌「地域づくり」で全国の自治体の活動内容を参考にしながら、今後の東郷町の事業展開について研究を行いました。</p>	

5	活動指標	指標名	会議等の出席回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				令和元年度	回 19.00	回	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)		令和2年度	回 16.00	回	
				令和3年度	回 13.00	回	
				令和4年度	回 13.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	83,000 円	決算額	73,000 円
---	--------	--------	----------	-----	----------

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの推移	直接事業費①(②+③+④)	83,000	73,000	88.0 %	83,000
	一般財源②	83,000	73,000	88.0 %	83,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	0	0	0.0 %	0
	概算人件費⑤	3,537,225	3,134,230	88.6 %	
	総合計(①+⑤)	3,620,225	3,207,230	88.6 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	3,620,225	3,207,230	88.6 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	278,479	246,710	88.6 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	コロナ禍における参加可能な方法が確立され、コロナ禍を理由に中止となる会議等がなくなったことから、活動指標に変更はありませんでした。 名古屋市との広域連携研究会ワーキンググループ等にオンラインで参加したことにより、引き続き自治体間運営についての情報収集を行うことができました。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	尾張東部地区や尾三地区の自治体間連携を深めつつ、その他の自治体との連携も視野に入れ、広域連携に関する意見交換や連携事業の検討を積極的に行う必要があります。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度(令和5年度)の改善内容	特にありません。
2 来年度(令和6年度)以降の方向性	近隣市町との連携を深め、全国の連携事業について積極的に情報収集を行い、導入の可能性について検討していきます。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
一部見直し	引き続き、コロナ禍における参加可能な方法を積極的に活用し、広域連携に関する研修への参加や近隣自治体等との情報交換を行います。

内部事務評価表（令和4年度）

I. 内部事務の目的体系

事業No.: 278

1	事業名	自衛官募集事業	コード	01	02	07	04	01	-
2	担当部課	総務部	安全安心課						
3	総合計画の 施策体系	基本目標	-						
		基本施策	-						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	自衛官入隊有資格者
2	働きかける相手(対象)	自衛官入隊有資格者、自衛隊入隊予定者
3	どのような状態に したいのか(意図)	日本の平和と独立を守る自衛隊の人材を確保します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	自衛官募集事業 自衛官の募集記事を広報紙に、年間3回掲載するとともに啓発資材を配布し、自衛官の募集に努めました。	

5	指標名	自衛官募集記事の掲載回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			令和元年度	8.00	回 個別計画による目標値はありません。
	活動指標 指標の説明 (指標式)	令和2年度	8.00	回	
		令和3年度	6.00	回	
		令和4年度	3.00	回	
6	直接事業費計	前年度決算額	42,445 円	決算額	61,902 円

	項目	令和3年度	令和4年度	対前年比	令和5年度
7 コストの 推移	直接事業費①(②+③+④)	42,445	61,902	145.8 %	46,000
	一般財源②	5,445	6,902	126.8 %	9,000
	起債③	0	0	0.0 %	0
	その他④	37,000	55,000	148.6 %	37,000
	概算人件費⑤	407,963	411,013	100.7 %	
	総合計(①+⑤)	450,408	472,915	105.0 %	
	町費投入額(②+③+⑤)	413,408	417,915	101.1 %	
(参考)	活動1単位当たりコスト(対町費投入額)	68,901	139,305	202.2 %	

Ⅲ. (Check) 内部事務の評価

1 評価の視点	活動指標を向上させる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	業務内容(委託内容等)の見直しにより効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	実施主体(外部委託等)の変更により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	仕事のやり方の見直しや事務改善により効率化できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	類似の目的を持つ他の事務事業と統合・連携できる余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
	事業の内容を部分的に縮小・廃止する余地はあるか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
2 活動実績やコストに影響を及ぼした要因 改善や創意工夫を行った内容や新規事業、その効果等	特にありません。	
3 総合評価	4 総合評価コメント	
継続実施 <input checked="" type="checkbox"/>	引き続き、自衛隊募集の啓発を実施します。	
一部見直し <input type="checkbox"/>		
抜本的見直し <input type="checkbox"/>		
他事業と統合 <input type="checkbox"/>		
休廃止 <input type="checkbox"/>		

Ⅳ. (Action) 改革・改善の内容

1 本年度 (令和5年度) の改善内容	特にありません。
2 来年度 (令和6年度) 以降の方向性	自衛隊法に基づく事務であるため、継続して行います。

【参考】

前年度評価	前年度行政評価において、本年度に取り組むとした改善内容
継続実施	特にありません。